

ヲ加ヘタルモノナルニ於テ其ノ價格ノ傍ニ F. O. B. 即チ「フリー、オン、ボード」ナル略字ヲ附記シ又其ノ價格カ前記 F. O. B. ノ外ニ保險料、船賃其ノ他到着港迄ノ諸費ヲモ含ムモノナルニ於テハ其ノ價格ノ傍ニ C. I. F. 即チ「コスト、インシユランス、フレイト」ナル略字ヲ附記スヘキモノトス

叙上略字ノ附記ハ要スルニ一般商取引上之カ計算ヲ明瞭且容易ナラシムル一種ノ符號タルニ過キス然ルニ學者動モスレハ斯ル瑣々タル符號ヲ主題トシ之ヲ仕入書ノ種類區分ノ要素ニ援用シ前記一、T. O. B. 値段ノモノニ對シテハ之ニ T. O. B. 仕入書ナル名稱ヲ付シ二ノ F. O. B. 値段ノモノニ對シテハ F. O. B. 仕入書ナル名稱ヲ付シ又三ノ C. I. F. 値段ノモノニ對シテハ C. I. F. 仕入書ナル名稱ヲ付シ恰モ仕入書ニハ叙上三種各別ニ相異レル態様ヲ有スルモノアルカノ如ク叙說シ爲ニ讀者ヲシテ往々之ニ惑ハシムル處ナキニシモアラサルモ叙上略字ハ單ニ仕入書記載要項中唯僅ニ取引値段ノ基礎内容ノ表示タルニ過キス從テ仕入書記載ノ全體ノ上ヨリ之ヲ觀ルモ又仕入書樣式ノ上ヨリ之ヲ觀ルモ其ノ間何等ノ差異アルモノニアラス

若シ強テ仕入書ヲ數種ニ分類セントセハ斯ル方法ニ依ルヨリハ多少仕入書ノ樣式ヲ異ニスル發行商事務機關ノ種類ニ依リ之ヲ分類スル方寧ロ實用的區分ニ近シトス之カ一例ヲ舉クレハ製造元發行ノ仕入書ハ普通之ヲ「マニユフアクチュアー」仕入書又ハ「メイカース」仕入書ト稱シ發賣元發行ノ仕入書ハ普通之ヲ原仕入書ト稱シ委託販賣店ノ發行スル仕入書ハ普通之ヲ「コンミツシヨナ」仕入書ト稱シ又本支店關係間ニ於テ發行スル仕入書ハ普通之ヲ本店若ハ支店出シ仕入書ト稱ス

而シテ此等仕入書ハ内地商取引上其ノ相手方ノ如何ニ依リ其ノ孰レカノ一ヲ相手方ニ提示シ之カ商談ヲ進ムルノ唯一ノ材料ニ供セラルルモノニシテ其ノ内商取引上當事者間ニ於テ最モ有力ニシテ且信ヲ置カルルモノハ「マニユフアクチュアー」仕入書若クハ「オリヂナル」仕入書ナルモ此ノ二種ノ仕入書ハ商機竝商談上極秘ヲ要スルモノナルヲ以テ相手方ノ如何ニ依テハ一般之カ提示ヲ爲ササルヲ常トス

左ニ參照ノ爲メ仕入書樣式ノ二、三ノ例ヲ掲ケ關稅法ニ於テ仕入書トシテノ效力アルモノト然ラサルモノトヲ區別ス

樣式一、本仕入書ハ本支店間ノ關係ニシテ眞實賣渡關係ヲ生セス且ツ一種ノ送狀ニ類スル值段書ニ過キササルヲ以テ仕入書トシテノ效力ヲ有セス此ノ場合ニハ樣式二乃至四ニ示スカ如キ仕入書ノ孰レカ其ノ一ヲ添付スルヲ要ス

13E

1ime street, E. C.
London, May 25th, 1922.

O. Watanuki & Co.,

Invoice of 2 cases of pens bought by order of Messrs. O. Watanuki & Co., Yokohama, and shipped for their account and risk per S. S. "Tokyo-Maru" to Yokohama

2 Cases Steel Pens.

AW 1/2

AW1, 100 Boxes en cont'g 1 Gross Steel Pen "G" @ 2/0	£ 10	0	0		
AW2, 100 " " " " " " "J" @ 1/6	7	10	0	£ 17	10
Packing		5	0		
Freight		1	6		
Insurance			10		
Total.				£17	17 4

E. & O. E.

London, May 25th, 1922.

O. Watanuki & Co.,

per pro. T. Kaner.

備考 筆嘴ハ金製ノモノハ従價五割ナルモ他ハ従量税毎「グロース」拾錢ナルヲ以テ其ノ品質並ニ課税ノ標準タル「グロース」ハ明確ニ記入ヲ要ス

様式二、本仕入書ハ製造元若クハ販賣元ノ作製ニ係ル仕入書ニシテ效力アルモノ但シ署名ナキ場合ハ效力ヲ有セス

Messrs. O. Watanuki & Co.,

Birmingham, May 25th, 1922.

1ime Street, London

England.

Bought of Hinks, Well & Co.,

Stationery Manufacturers, or whole Sale Agent.

2 Cases Steel Pens.

AW 1/2

AW1, 100 Boxes en cont'g 1 Gross Steel Pen "G" @ 2/0	£ 10	0	0		
AW2, 200 " " " " " " "J" @ 1/6	7	10	0		
				£ 17	10
					0

E. & O. E.

Birmingham, May 25th, 1922.

Hinks, Wall & Co.,

per pro. B. James.

様式三、本仕入書ハ委託販賣人ノ作製ニ係ル仕入書ニシテ有效ト認メラルルモ尙此外ニ原仕入書ヲ添付スレハ一層確實ニシテ疑ヒノ餘地ナシ

D. Duff & Co., Ltd.

The Foreign & Colonial Importers Buying Agency.

Invoice of Goods purchased by D. Duff & Co., by instructions and for account of Messrs.

O. Watanuki & Co., Yokohama.

Shipped per S. S. "Tokyo-Maru" from Liverpool to Yokohama.

2 Cases Steel Pens.

£ 1/2

£	10	0	0		
£	17	10	0		
£	18	4	6		

£	10	0	0		
£	17	10	0		
£	18	4	6		

E. & O. E.

London, May 25th, 1922.

D. Duff & Co., Ltd.

per Pro. J. Cornish.

様式四、本仕入書ハ製造業者又ハ販賣元ト直接取引スル場合ニ於テ製造業者又ハ販賣元業者
カ作製スル仕入書ニシテ有效ナルモノ但シ諸費ハ可成明細ニ記入シC. I. E. 即チ諸

第五章 貨物 第五節 仕入書

費ヲ込メテノ價格ハ之ヲ避クルヲ要ス

Messrs. O. Watanuki & Co.,

London, May 25th, 1922

Yokohama.

Bought of William Teapes & Co., Ltd.

Paper makers, whole sale & export stationers.

Invoice of 2 Cases Steel Pens shipped per N. S "Tokyo-Maru"

2 Cases Steel Pens.

** 1/2

** 1. 100 Boxes ea cont'g 1 Gross Steel Pen "G" @ 2/0 $\frac{1}{2}$	£ 10	4	2			
** 2. 100 " " 1 " " " "J" @ 1/6 $\frac{1}{2}$	7	14	2	£ 17	18	4

O. I. F.

E. & O. E.

London, May 25th, 1922.

William Teapes & Co., Ltd.

per pro. B. Cornes.

備考 E. & O. E. へ Errors and Omission Excepted、略字ニシテ誤謬脱漏ハ此ノ限リニ在ラスノ意義

C. I. F. へ Cost, Insurance, Freightノ略字ニシテ諸費(保険料、船賃)ヲ含メタル價格ノ意義

F. O. B. へ Free on boardノ略字ニシテ本船積込費(本船渡シ)迄加ヘタル價格

Per Pro へ Per Procurationノ略字ニシテ代理ノ意義

四、仕入書運送状及送状ノ区分

仕入書ノ意義ニ關シテハ本節第一項ニ述フル處アルヲ以テ茲ニ之ヲ贅セサルモ動モスレハ仕入書ト送状即チ船積送状(Shipping Invoice)トヲ混視シ又一方商法規定ノ運送状ニ對シテモ通俗之ヲ送状ト稱スルヨリ當業者動モスレハ此ノ三者ヲ同一視スル虞ナキニシモアラサルヲ以テ左ニ其ノ異同ノ大要ヲ述フルニ

元來運送状ハ商法第三百三十二條規定ノ如ク運送人ノ要求ニ依リ荷送人之ヲ作製シ運送人ニ交付スル證書ナルニ反シ前者船積送状(以下單ニ送状ト稱ス)ハ運送人ニハ何等ノ關係ヲ有セス荷

送人カ直接荷受人ニ交付スル書類ナルコトト又第二ノ相異ハ運送狀ハ商法ニ於テ之ニ記載スヘキ事項ノ要件ヲ定メ若シ之カ法定要件ヲ缺クニ於テハ運送狀トシテノ效力ヲ有セシメサルカ如キ嚴格ナル規定アルモ前者送狀ハ商習慣ニヨリ各自任意ノ發行ニ係リ内容區々ニシテ從テ法定要件タルモノナシ又第三ノ相異ハ運送狀ハ運送人ヨリ荷受人ニ對シ之カ發行ノ請求權ヲ與フルト共ニ一方荷送人ニ對シテハ運送人カ之カ發行ノ請求アル場合ニ於テハ必ス運送狀ヲ作成交付スルノ義務ヲ有セシメタル證書ナルニ反シ前者送狀ハ之カ作成交付ニ關スル權利義務ニ關シテハ法規上何等ノ拘束ナク其ノ發行交付ハ全ク商習慣ニ基キ荷送荷受兩者間ノ合意若ハ一方行爲ニ依リ發セラレルモノトス又第四ノ相違ハ運送狀ハ商法ノ規程ニ依リ陸上運送ノ場合ノミニ限定セラレルニ反シ前者送狀ハ船積輸送ノ場合ノミニ限ラレル等ノ差アルヲ以テ彼此同一視スルコトナカルヘシ

又仕入書ト送狀トハ叙上述フルカ如ク兩者孰レモ私法上別段ノ規定ナキヲ以テ法律的解釋ハ之ヲ別物トシ實際上ニ於ケル見地ヨリ之ヲ觀ルニ前者仕入書ハ賣渡人ヨリ買受人ニ交付セラレル證書ニシテ後者送狀ハ荷送人ヨリ荷受人ニ交付セラレル點ニ於テ大ニ異ル處アルモ兩者孰レモ值段書タル點ト尙荷送人カ同時ニ賣渡人タル場合ニ於ケル送狀ハ一方仕入書トシテノ效力ヲ有スル點ニ於テ兩者相似タル處少ナカラス而テ稅關ニ提出セラレル仕入書ハ此種ニ屬スルモノ多シトス

第六節 積 戻

一、積戻ノ意義

關稅法ニ於テ積戻ト稱スルハ輸入手續未済貨物ヲ外國ニ向ケ積戻スルノ謂ナルモ其ノ積戻場所ハ必シモ原產地若クハ原仕入地タルヲ要セス只其ノ移送貨物カ輸入手續未済ナルコトト移送ノ目的地カ外國ナルコトト二條件ヲ具備スルモノニアラサレハ之ヲ積戻ト稱スルコトヲ得ス從テ一旦輸入シタル貨物ヲ或ル事情ノ下ニ再ヒ外國ニ積戻ス場合ノ如キハ普通商業上俗ニ之ヲ積戻ト稱スルモ該貨物ハ一旦輸入シテ既ニ内國貨物トナリタルモノナルヲ以テ此ノ場合ニ於テハ關稅法ハ之ヲ輸出ト認ム

又誤テ陸揚シタル場合若ハ商機ノ都合ニ依リ其儘之ヲ内地ノ他ノ開港ニ移送スル場合ノ如キ是亦其ノ仕向カ外國ニアラサルヲ以テ關稅法ニ於テハ之ヲ運送ト稱ス（第六章運送ノ部參照）尤モ此ノ場合ニ於ケル例外トシテハ之カ移送ニ當ル船舶カ元ト積來リシ船舶ナルカ又ハ同一會社ノ船舶ナルニ於テハ便宜之ヲ積戻ト認ムルコトナキニシモ非ルモ要スルニ關稅法上ニ於ケル積戻ノ意

義ハ主トシテ其ノ貨物カ輸入手數未濟ナル所謂外國貨物ニシテ且ツ其ノ仕向カ外國ニ在ルコトノ
二要点ニ存ス

二、積 戻 手 續

叙上述フルカ如ク積戻ニハ一、初ヨリ輸入ノ意思ナク更ニ他ノ外國ニ積戻ノ目的ヲ以テ陸揚シ
タルモノト二、初メハ輸入スルノ目的ナリシカ其ノ貨物カ保税地域内ニ在ル間ニ商機ノ都合上又
ハ註文相違等ノ爲メ外國ニ積戻ヲ爲スニ至ルモノト三、誤テ陸揚セラレタルモノトノ三種アルヲ
以テ先ツ之カ積戻手續ヲ述フルニ先チ此等貨物ノ處理上ニ付之ヲ一言スルニ

(イ) 初ヨリ輸入ノ目的ナク所謂中繼貿易ノ目的ニテ陸揚シタルモノ

此ノ場合ハ普通之ヲ積戻ス迄ニハ相當ノ期間アルヲ常トス然ルニ上屋藏置期間ハ極メテ短期間
ニシテ若シ此ノ期間ヲ過クルトキハ收容セラレル危險アルヲ以テ斯ル目的ヲ有スル積戻貨物ハ假
置場ニ藏置スルヲ利便トス尤モ積戻期間カ六ヶ月以上(假置場藏置期間ハ普通六ヶ月詳細ハ第十
章假置場ノ部參照)ニ涉ルモノ若クハ金融ノ關係上倉庫證券ヲ利用スル必要アル場合ニハ保税倉
庫ヲ利用スルモ亦可ナリ

(ロ) 初メハ輸入ノ目的ナリシカ事故ノ爲積戻スモノ

商機ノ都合又ハ注文品相違等ノ爲輸入ヲ見合セ之カ積戻ヲ爲サントスル場合ニハ税金ヲ納付セ
サルヲ要ス一旦税金ヲ納付スルトキハ縦令ヒ貨物ヲ引取ラサルモ税金返戻ノ途少ナキヲ以テ此ノ
場合ニ於テハ直ニ積戻スカ又ハ假置場保證倉庫等ニ入レ置キ商談又ハ交渉ノ決定ヲ待チ然ル後積
戻ヲ爲スヲ利便トス

(ハ) 誤テ陸揚シタルモノ

他ノ港ニ陸揚サルヘキ貨物カ誤テ陸揚セラレタルモノニシテ此ノ場合ハ陸揚後直ニ發見セラレ
ルヲ常トス從テ其ノ期間短キヲ以テ敢テ假置場又ハ保税倉庫ヲ利用スル迄モナク直ニ積戻ノ手續
ヲ爲スヲ利便トス而シテ此ノ場合ハ主トシテ船員又ハ陸揚業者ノ誤ニ出ツルモノニシテ貨主ニハ
何等ノ關係ナシ從テ之カ手續ハ陸揚業者ニ於テ之ヲ爲スヲ常トス

以上何レモ之カ積戻ヲナサントスルニハ積戻申告書ニ式ノ如ク記入シ之ヲ總務課申告受付口ニ
差出シ積戻免狀ノ交付ヲ受ケ該免狀ヲ監視部倉庫係ニ提示シ上屋其他ノ使用料アルトキハ使用料
納付書ニ相當印紙ヲ貼付(消印セス)シテ之ヲ提出シ積込許可證ヲ得テ然ル後積込ムモノトス
假置場又ハ保税倉庫内ニアルモノニ對シテモ別ニ假置場搬出申告又ハ保税倉庫々出申告ノ手續
ヲ要セス單ニ積戻申告書ニ假置場搬入免狀若クハ保税倉庫々入免狀ヲ添へ倉庫係ニ差出シ敷料納

付ノ上該申告書ニ搬出若クハ庫出許可ノ證印ヲ受ケ之ヲ總務課申告受付口ニ提出シ積戻免狀ノ交
付ヲ受ケ更ニ該免狀ヲ倉庫係員ニ示シ積込ノ許可ヲ得テ然ル後積込ムモノトス而シテ積戻ニ關シ
テハ關稅法第三十八條ノ規定ニ依リ總テ輸出ニ關スル規定ヲ準用セラルヘキヲ以テ詳細ノ手續ニ
關シテハ輸出ノ部ヲ參照セラルヘシ

第七節 臨時開廳及時間外仕役手續

臨時開廳トハ稅關ノ休日又ハ稅關定時間外ニ於テ船舶出入港届又ハ貨物ノ検査税金納付等ノ爲
メ特ニ臨時ニ稅關事務ノ開始ヲ必要トスル場合ニ起ルモノニシテ又時間外仕役トハ稅關ノ休日又
ハ日没ヨリ日出迄ノ間ニ於テ貨物ノ積込、引取、發送等ノ爲メ特ニ之カ荷役ヲ要スル場合ニ起ル
事柄ニシテ何レモ之カ特許ヲ受クルニ於テハ前者ノ場合ハ普通稅關ノ開廳中ト同様ニ見做サレ之
ニ關スル貨物ノ荷役ハ自由ニ爲シ得ラルルモノナルヲ以テ臨時開廳ノ特許ヲ得タル場合ハ少クモ
其ノ時間中ハ該貨物ニ對スル仕役ハ特ニ之カ特許ヲ受クルノ必要ナキモノトス左ニ臨時開廳及時
間外仕役ニ區別シ之カ手續ヲ述フ

一、臨時開廳

輸出入貨物及船舶ニ對スル一般執務時間ハ内地稅關ニ於テハ稅關ノ休日ヲ除クノ外午前九時ヨ
リ午後四時迄但シ土曜日ハ午後三時迄朝鮮稅關ニ於テハ同シク稅關休日ヲ除キ五月一日ヨリ十月
卅一日迄ハ午前九時ヨリ午後四時三十分迄十一月一日ヨリ四月卅日迄ハ午前九時三十分ヨリ午後
四時迄但シ土曜日ハ午後三時迄トス

叙上ノ時間内ニ於テハ貨物ニ關スル申告、検査、納稅、免許又ハ船舶ニ關スル噸稅納付、入港
届、積荷目録ノ提出、出港届等ハ本時間内ニ於テ爲ササルヘカラス然ルニ營業者ノ都合ニ依リ前
記時間外ニ於テ臨時開廳ヲナス必要アル場合ニハ關稅法施行規則第七十四條ニ依リ臨時開廳特許
申請書ニ式ノ如ク記入シ之ニ特許手数料相當額ノ收入印紙ヲ貼付シ稅關總務課ニ提出スルヲ要ス
若シ之ニ違反シタル者ハ關稅法第八十一條ニ依リ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處セラルルコトアル
ヘシ特許手数料金額等ニ關シテハ第十二章參照

二、時間外仕役

稅關開廳時間ハ前項ニ述フルカ如クナルモ單ニ貨物ノ陸揚、船積、船卸、引取等ノ荷役ノミニ
關シテハ稅關ノ休日ヲ除クノ外ハ日出ヨリ日没マテハ爲シ得ラルルモノナルヲ以テ此ノ時間以外
即チ日没ヨリ日出迄俗ニ所謂夜業ニ關シテハ其ノ夜業カ前項開廳ノ特許ヲ受クヘキ性質ノモノニ

アラサル例へハ既ニ入港届ヲ了シタル船舶ノ貨物揚卸又ハ輸出入免許濟ノ貨物ノ引取若クハ積込等ノ場合ニ於テハ同法第二十六條ニ依ル時間外仕役ノ特許ヲ受ケサルヘカラス而シテ之カ特許ヲ受クルニハ同法施行規則第三十條ニ依リ時間外仕役特許申請書ニ式ノ如ク記入シ之ニ特許手数料(第十二章參照)相當額ノ收入印紙ヲ貼付シ開應時間中ナルトキハ總務課ニ若シ開應時間外ナルトキハ監視部ニ提出シ之カ特許ヲ受クルヲ要ス若シ之ニ違反シタル場合ハ同法第八十一條ニ依リ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處セラルルコトアルヘシ

第八節 保稅地域

一、保稅地域ノ意義

保稅地域トハ關稅徵收ノ猶豫アル區域ニシテ從テ廣義ニ於テハ彼ノ外國ニ於ケル自由地帶若クハ自由港區ノ如キモ國稅徵收ノ猶豫アル點ヨリ之ヲ觀レハ是亦一種ノ保稅地域タルヲ失ハス然レトモ元來外國ニ於ケル自由地帶若クハ自由港區ノ如キハ關稅法ノ圈外ニ屬シ從テ其ノ地域内ニ於ケル貨物ノ移動、製造、加工、其ノ他船舶繫離ニ關シテハ稅關ハ全ク之ニ干與セサルモ此等自由地域ノ經界線ニ對シテハ陸ニ在リテハ嚴重ナル柵壁ヲ巡ラシ海ニ在リテハ水雷、汽艇等ヲ

配置シ一度此ノ經界線外ヲ出ツルニ當リテハ總テ稅關ノ指揮監督ニ從フヘキ規定ナルヲ以テ廣義ニ於テハ一種ノ保稅地域タルヘキモ關稅法ノ上ニ於ケル保稅地域トハ之ヲ稱スルコトヲ得ス

我國關稅法上ニ於ケル保稅地域ハ同法廿九條ニ「保稅地域ト稱スルハ稅關構内、保稅倉庫、稅關假置場、其ノ他稅關長カ外國貨物ヲ藏置シ得ヘキ場所トシテ指定又ハ特許シタル場所ヲ謂フ」トアリ又同法廿七條ニ「保稅地域内ニ於ケル貨物ノ取扱ハ總テ稅關長ノ指揮ニ從フヘシ」トアルヲ以テ保稅地域内ニ於ケル貨物ノ一切ニ關スル行政ハ稅關圈内ニ在リテ彼ノ外國ニ於ケル自由地域ノ如キ稅關行政ノ及ハサル地帶トハ全ク其ノ趣ヲ異ニス

二、保稅地域ト自由港

元來自由港ハ其ノ目的主トシテ中繼貿易發展ノ助長機關ニ在ルヲ以テ此ノ意味ニ於テ自由港ナルモノハ我國ニ於ケル假置場制ト略其ノ目的ヲ同フス唯異ナル主要點ハ一、前者自由港ハ其ノ地域内ニ於ケル船舶ノ繫離、貨物ノ積卸、其ノ他土地建物ノ賃貸ニ關スル一切ノ行政當該機關カ稅關ニ代フルニ自由港區ノ管理者タル市(外國ニ於テハ多クハ市ニ於テ經營)ニアルコト二、前者自由港ハ前述ノ如ク市タル自治團體カ之ヲ經營シ外國貨物ノ藏置、加工及製造ニ關スル地帶ヲ一定ノ場所ニ集注スル所謂集合主義ナルニ反シ後者ハ當業者各自ノ必要ニ基キ自費經營ノ下ニ隨

所ニ之カ地域ヲ設定シ得ラルル所謂分置主義ノ差アルニ過キス

叙上兩者ノ可否得失ニ關シテハ世上幾多ノ議論アルモ叙上相異ノ二要点ノミニ付キ之ヲ論スレハ第一點タル行政系統ノ相異ハ當業者ニ取リテハ敢テ大ナル利害關係ヲ有スルモノニアラス何トナレハ自由港内ニ於ケル船舶ノ出入、繫離、貨物ノ積卸、藏置其ノ他加工製造等ニ關シテハ市ニ對シ相當ノ手續ヲ要シ之カ指揮監督ヲ受ケ又一方繫船料、噸稅、入出港料、倉庫敷料、土地使用料、貨物検査費、其ノ他一切ノ費用ニ對シテハ之カ納付ノ義務アルヲ以テ結局使用者方面ヨリ之ヲ觀レハ唯其ノ管理者カ稅關ト自治體トノ差アルニ過キス

次ニ第二ノ相異點タル集合及分散兩主義ノ可否得失ニ關シテハ兩者孰レモ一短一長アルヲ免レサルモ要スルニ自由港ハ概シテ港灣樞要ノ地點ヲ相シ茲ニ中繼貿易ノ生命タル中繼貨物並之ニ附帶ノ諸般工場ヲ設備集合スルニ在ルヲ以テ中繼工業貿易ノ機關トシテハ理想的設備ニ近キモ之カ缺點トシテハ叙上ノ如ク港灣樞要ノ位置ヲ占ムル結果トシテ土地建物其ノ他職工賃率カ他地方ニ比シ比較的高率ニ失スルヲ以テ自由港内ノ工場ハ之カ爲メ發展ヲ阻害セラルルコト尠ナカラス之カ適例ヲ舉クレハ模範的自由港タル古キ歴史ヲ有シ世界ニ冠タル獨逸「ハンブルグ」自由港ニ於テストラ同港區内ニ於ケル工業ハ唯一個ノ造船工場ノ外、他ニ見ルヘキモノナキニ徴スルモ自由港

内ニ於ケル中繼貿易主眼ノ工業ニ對シテハ多大ノ期待ヲ爲シ難キ缺陷アリ

後者假置場ハ主トシテ當業者各自ノ獨立經營ニ係ルヲ以テ前者ニ比シ其規模狭小ノ嫌アルモ元來假置場ハ其位置特定のモノニアラサルヲ以テ打算上有利ノ地點隨所ニ之ヲ設置シ得ラルル利便アリ例之ハ低廉ナル水力ヲ利用セントセハ水量豊富ノ山間ニ果タ又露谷ノ地ニ又一方低廉ナル勞力ヲ利用セントセハ是亦寒村偏僻ノ地ニ孰レモ隨所隨時ニ設置シ得ラルル利便アリ

現下我國ニ於ケル港灣設備、海外貿易ノ狀態、其ノ他内地一般ノ產業及交通方面ヨリ之ヲ觀察スルニ我國ニ歐洲大陸ノ規模大ナル自由港制ノ採用ハ敢テ我國產業貿易上焦眉ノ應急設備トハ之ヲ認メ難キノミナラス叙上外國自由港ノ事例ニ徴スルモ自由港設置ノ爲特ニ中繼貿易工業ノ勃興ヲ期待シ難キニ於テハ折角巨額ヲ投シタル自由港設備モ自由港本來使命ノ大半ハ之カ爲メ没却セラルルニ至ルト共ニ尙一方之カ爲メ假置場制ノ廢止ハ當業者ニ甚大ナル影響ヲ及ホスノ虞アルヲ以テ縱令自由港制度ヲ採用スルトシテモ其制度ハ中繼工業ヲ主眼トセス尙一方地方分置ノ假置場制ハ之ヲ廢止セス兩々相俟テ中繼貿易工場ノ助長發展ニ資スルモ亦一種ノ方法タルヲ失ハス

然レトモ現行假置場法ハ時代ノ進歩ニ伴ハサル幾多ノ缺點アルヲ以テ假置場ヲシテ眞ニ中繼貿易ノ助長發展ノ機關タラシメンニハ根本的ニ之カ法律ノ改正ヲ要ス之カ詳細ハ第九章假置場ノ部

ニ於テ述フル處アルヘシ

要スルニ關港法ニ於ケル保稅地域ハ前述ノ如ク例示的形式ニ依リ一、稅關構内ニ、保稅倉庫三、假置場四、其他稅關長カ外國貨物ヲ藏置シ得ヘキ場所トシテ指定又ハ特許シタル場所トアルモ之カ設置ノ公私ニ依リ之ヲ區分スレハ保稅地域ハ一、國家カ一般公共ノ爲設定シタル地域ト二、私人ノ出願ニ依リ特許シタル地域トニ分類セラル前者ハ普通之ヲ一般保稅地域ト稱シ後者ハ之ヲ特別保稅地域ト稱ス左ニ此ノ區分ニ從ヒ之ヲ概說ス

三、一般保稅地域

一般保稅地域トハ前述ノ如ク一般公共ノ爲メ設定シタル場處ニシテ稅關構内ハ勿論官設保稅倉庫及同假置場ノ如キモノ即チ是ナリ而シテ此處ニ貨物ノ陸揚搬入ヲナスニ當リテハ官設保稅倉庫及同假置場ヲ除クノ外稅關上屋ノ如キモノニ對シテハ何等ノ使用手續ヲ要セスシテ自由ニ貨物ノ陸揚搬出入ヲ爲スコトヲ得詳細ハ保稅倉庫、假置場、上屋使用料ノ部參照

四、特許保稅地域

(イ) 一時的

一時的特許地域トハ私人ノ出願ニ依リ一時貨物ヲ陸揚シ又ハ船積ノ爲メ一時的ニ特許シタル場

處ニシテ該貨物ノ引取又ハ發送ノ終了ト同時ニ特許ノ消滅スル地域ヲ謂フ而シテ之カ特許ヲ受クルニハ同法第二十八條ノ規定ニ依リ稅關長ノ特許ヲ受クルヲ要ス而シテ之カ特許ヲ受クルニハ同法施行規則第三十二條ニ依リ特許申請書ニ式ノ如ク記入シ之カ特許ヲ受ケサルヘカラス而シテ此ノ場合ニ於テハ特許手数料ノ外ニ出張旅費ヲ要スルトキハ其ノ實費ヲモ支拂フモノトス詳細ハ第十三章第二節ノ指定地外貨物檢査手数料參照ヲ要ス尙其ノ檢査カ稅關ノ休日又ハ開應時間外ナル場合ニハ前節臨時開應又ハ時間外仕役ノ特許ヲ受ケ之カ特許手数料ノ納付ヲ要ス

(ロ) 繼續的

繼續的特許地域トハ私人ノ出願ニ依リ或種ノ貨物ノ陸揚及藏置ノ爲メ當時之カ使用ヲ特許シタル場所ニシテ私設保稅倉庫、私設假置場及私設上屋ノ如キモノハ皆之ニ屬ス而シテ之カ特許ヲ受クルニハ私設上屋ニ關シテハ同法第二十八條ノ規定ニ依リ前記(イ)ノ場合ト同様ノ手續ヲ爲シ之カ認許ヲ受ケサルヘカラス又保稅倉庫及假置場ニ在リテハ前者ハ第十章第六節後者ハ第九章第六節ノ手續ニ依リ之カ認可ヲ受ケ特許手数料ノ納付ヲ要ス

五、藏置期間

前記保稅地域内ニ於ケル貨物ノ藏置期間ニ關シテハ保稅地域ノ性質及種類等ニ依リ一定セサル

モ官私設保税倉庫ニ受ケル藏置期間ハ二ケ年間ニシテ絶對ニ之カ延期ヲ許サス又官私設假置場ニ於ケル藏置期間ハ普通六ケ月間ナルモ相當事由アルトキハ延期シ得ラル而シテ此ノ以外ニ於ケル税關構内及官私設上屋ハ勿論其他一切ノ保税地域ニ於ケル藏置期間ハ大體ニ於テ一、二週間以内トス而シテ之カ詳細ニ關シテハ各關係事項ノ章ニ於テ述フル處アルヘシ

以上要スルニ保税地域ノ意義、性質及種類ハ前述ノ如クナルヲ以テ輸出入貨物ハ假令形式的ニテモ少クモ一旦保税地域内ニ搬入セラレタル後ニアラサレハ引取若クハ發送スルコトヲ得サルモノトス若シ誤テ此ノ地域ヲ經由セサルニ於テハ關稅法第二十八條ニ依ル税關指定地外ノ交通及貨物揚卸ノ違反トナリ延イテ關稅連脫ノ關係ヲ惹起シ其ノ結果前者ニ於テハ百圓以下ノ罰金後者ハ貨物沒收ノ上税金ノ三倍ニ相當スル罰金ニ處セラルルコトアルヘシ

尙茲ニ一言注意ヲ要スヘキ點ハ世人往々保税地域ヲ以テ外國ニ於ケル或ル制度ノ自由地帶ト同一ニ解釋シ保税地域内ニ於テ税金未納ノ貨物ヲ消費スルハ法規ニ牴觸セサルカ如ク思考スル者ナキニアラサルモ本邦關稅法ニ於ケル保税地域ハ前述ノ如ク單ニ關稅徵收猶豫區域ニ過キス從テ外國ニ於ケル或ル制度ノ下ニアル自由港若クハ自由地帶トハ全ク其ノ性質ヲ異ニスルモノアルノミナラス消費ハ絶對ニ之ヲ禁スル處ナルヲ以テ注意セラルヘシ

第九節 收 容

一、收容ノ意義

收容トハ貨物取締上ノ必要ニヨリ保税地域内藏置ノ法定期間ヲ經過シ之カ處置ヲ爲ササル貨物ニ對シ貨主若クハ利害關係人ノ費用及危險負擔ノ下ニ税關ニ於テ處分スル所謂一種ノ強制處分ナリ而シテ貨物藏置期間ハ官設保税倉庫ニ在リテハ庫入ノ日ヨリ二ケ年以後（私設保税倉庫ノ分ニ對シテハ期間滿了ト同時ニ關稅ヲ徵收シ別ニ收容セス）假置場ニアリテハ搬入ノ日ヨリ六ケ月以後（延期ノ許可ヲ得タルモノヲ除ク）其他以外ノ普通ノ保税地域内即チ上屋等ニ在リテハ搬入ノ日ヨリ七日以後トス尤モ其ノ貨物カ生活力ヲ有スル動植物ナルトキ、腐敗ノ虞レアルトキ又ハ他ノ貨物ヲ害スル虞レアルトキハ前記ノ期間以内ニ於テモ收容セラルルコトアリ

叙上上屋内外ニ於ケル貨物ノ藏置期間ハ法規ノ上ヨリ之ヲ見レハ陸揚後七日ヲ經過スルトキハ何時ニテモ之ヲ收容シ得ラルル規定ナルモ實際現行取扱振ハ鐵物類ハ三、四十日間其他ノ貨物ハ十日乃至二十日間ハ收容セラレサルヲ以テ此ノ期間内ニ引取り得サル事情アルトキハ假置場ニ搬入スル手續ヲ爲スカ若クハ保税倉庫ニ庫入ノ手續ヲ爲スヲ得策トス

二、收容及收容解除手續

税關カ貨物ヲ收容シタルトキハ收容ノ日ヨリ三日以内ニ收容貨物揭示場ニ其ノ收容シタル貨物ノ記號、番號、品名、數量等ヲ揭示シ以テ關係當業者ニ告示ス

叙上收容セラレタル貨物ノ收容ヲ解除セントスルニハ收容貨物解除申告書ニ式ノ如ク記入シ之ニ收容ニ要シタル一切ノ費用及收容敷料ニ相當スル額ノ印紙ヲ貼付シ監視部貨物係當該受付口ニ差出シ收容貨物解除免許ヲ受ク然ル後之カ引取ノ手續ヲ爲スコト尙又解除免許ヲ受ケタル日ヨリ三日以内ニ輸入ナリ又ハ積戻ナリノ相當手續ヲ爲ササルトキハ更ニ收容セララルル危險アルモノトス

三、收容貨物公賣手續

貨物收容ノ日ヨリ六ヶ月以内ニ收容解除ノ申告ヲ爲ス者ナキトキハ關稅ハ其ノ貨物ノ記號、番號、種類、個數等ヲ官報ニ公告シ公告ノ日ヨリ一ヶ月以内ニ尙收容解除ノ申告ヲ爲スモノナキトキハ公賣ニ付ス公賣ハ入札ノ方法ニ依リ稅關直接之ヲ爲スコトアリ或ハ競賣業者ニ委託スルコトアリ後者ノ場合ニ於テハ競賣業者ハ普通之ヲ新聞ニ廣告シ稅關構内指定ノ場所ニ於テ競賣ス尤モ收容貨物カ生活力ヲ有スル動植物ナルトキ、腐敗シ又ハ腐敗ノ虞レアルトキ又ハ倉庫若クハ他ノ

貨物ヲ害スル虞レアルトキハ前記期間ニ拘ラス公告シテ之ヲ競賣ニ付シ若シ公告ノ暇ナキトキハ公賣シタル後公告ス若シ公賣ニ付スルモ買受人ナキ場合ニハ稅關ハ適宜之ヲ處分ス

前記公賣金ノ内ヨリ關稅、敷料、運搬費、公賣手数料其他一切ノ費用ヲ控除シ殘金アル場合ニハ之ヲ供託ス貨主若クハ利害關係人ニシテ該供託金ニ關シ之カ權利ヲ有スル者アルニ於テハ相當ノ證據書類ヲ稅關ニ提出シ供託金ノ領收ヲ爲スコトヲ得尙收容敷料ニ關シテハ第十二章第二節敷料ノ部參照

四、公賣落札引取手續

叙上公賣貨物買入上注意スヘキ事項ハ公賣豫定價格中ニハ關稅（消費稅ヲ除ク）敷料其ノ他一切ノ費用ヲ包含シ居ルヲ以テ買受者ハ該貨物引取ニ際シテハ消費稅アル貨物ヲ除クノ外ハ何等ノ費用ヲ要セサルヲ以テ此ノ計算ノ下ニ於テ入札若ハ競買ヲ爲スヲ要ス

公賣落札者又ハ競落者カ右公賣貨物ヲ引取ラントスルニハ監視部倉庫係員ニ其旨口頭ヲ以テ申出テ競賣貨物通關許可證ヲ受ケ然ル後之カ引取ヲナスモノトス而シテ消費稅納付ヲ要スル貨物ナルトキハ引取申告書ヲ申告書受付口ニ差出シ消費稅ノ納付ヲ要ス消費稅納付手續ニ關スル詳細ハ第八章參照

尙茲ニ注意スヘキハ輸出貨物ニ對シテハ上屋使用料ヲ徵收セス且ツ收容ノ例少ナキヲ以テ收容處分ノ適用ナキカ如ク思考スル者ナキニアラサルモ普通ニハ其ノ積込迅速ニシテ税關内ニ停滯スルコト少ク從テ構内整理上輸入貨物ノ如ク普通之カ收容ヲ勵行スルノ必要ヲ生セサル迄ナルモ若シ月餘ノ久シキニ亘リ之カ積込ヲ爲ササル場合ニハ輸入貨物同様收容ノ虞レナシトセス

第十節 郵便物

外國ヨリ到着ノ郵便物ハ到着ト同時ニ郵便局ニ送付セラレ普通郵便物ヲ除クノ外小包郵便ハ總テ郵便局員之ヲ開封シ税關ノ検査ニ提供ス而シテ検査ノ結果關稅ヲ課スヘキ物品アルトキハ其ノ稅金額ヲ査定シ郵便局ニ通知ス(外國郵便ノ直接到達スル主タル開港及主要ノ都市ニ於ケル郵便局ニハ常時税關吏員出張シ検査事務ヲ執行ス)郵便局ハ之ヲ名宛人ニ通達シ税金納付書ニ税金相當額ノ收入印紙ヲ貼付セシメ之ト引替ニ郵便物ヲ交付スルモノトス尤モ前記検査ハ必ス郵便局員立會ノ上ニアラサレハ行ハサルモノトス

郵便物ニ對シ協定稅率適用方ニ關シテハ關稅法施行規則第一條但書ニ依リ製産原地證明書ヲ提出セストモ其ノ物品カ協定稅率ノ適用ヲ受クヘキモノナルトキハ當然之カ恩霑ニ浴スヘキモノト

ス其他小包郵便物處理上ニ關シテハ税關ト郵便局ト協議決定ス目下其ノ決定ニ係ル處理手續ノ大略ハ左ノ如シ

一、輸入稅ヲ賦課セラレタル小包郵便物ハ郵便局ニ留置キ小包一個毎ニ「小包到着通知書」ナルモノヲ調製シテ之ヲ受取人ニ送付シ税金ニ相當スル收入印紙ヲ該通知書ニ貼付シ差出ストキハ其ノ小包ヲ交付スルコト

一、交付シタル小包ニ對スル「小包到着通知書」ハ郵便局ニ於テ普通使用ノ日附印ヲ以テ其ノ貼付印紙ニ消印ヲ施シタル上關係税關所在地郵便電信局ニ取纏メ大約一船便ノ分纏リ次第當初税關ヨリ發シタル税金通知書ト共ニ税關ニ送付シ其ノ受領證ヲ受クル事

一、小包受取人住所不明等ノ爲メ其ノ處分方ハ差出國へ問合せヲ要スル等ノ事故ニ依リ速ニ徵稅ヲ了シ難キモノアルトキハ其ノ旨税關ニ通知シ置クコト

一、小包受取人ニ送達スルコト能ハス其ノ差出國若クハ他ノ外國へ再發シ若クハ沒收ニ論シ税金徵收シ能ハサルモノナルトキハ其ノ小包ニ關スル税金通知書ニ其ノ事由附記若クハ附箋ノ上之ヲ税關ニ還付スルコト

以上ハ小包郵便ニ對スル關稅徵收上ニ於ケル大體ノ手續ナルモ小包郵便物モ亦一般貨物ト同シ

ク其ノ輸入カ全ク内地消費ノ目的ニアラスシテ直チニ外國ニ輸出スルモノ例之ハ内地ニ於テ加工修繕ヲ施シ更ニ外國ニ仕向ケラルルモノ若クハ商機ノ都合ニ依リ積戻ヲ要スルモノアリ前者ノ場合ハ輸入税ニ相當スル金銀ヲ供託シ引取ルコト後者ノ場合ハ直ニ積戻ノ手續(本章第六節積戻ノ部參照)ヲ爲スコト若シ以上何レモ之カ手續ヲ爲サスシテ輸入税ヲ仕拂ヒタル後ニ於テ其ノ旨ヲ申出ルトモ税金ハ返戻セラレサルモノトス

又都合ニ依リ其ノ一部ヲ輸入シ他ノ一部ハ之ヲ積戻ス場合ニ於テハ輸入税納付前ニ其ノ旨申出テ分割手續ヲ爲シ然ル後引取リ他ハ直ニ積戻スカ若シ然ラサレハ假置場又ハ保税倉庫等ニ預ケ入ルルヲ要ス之カ手續ニ關シテハ第九章假置場及第十章保税倉庫ノ部參照

小包郵便物ニ對スル關稅ハ叙上ノ如クナルモ小包郵便物中ニハ關稅ノ外、内地消費稅ヲ課スヘキ織物及砂糖ノ如キモノアリ而シテ之カ消費稅徵收ニ關シテハ關稅ト同シク稅關官吏之ヲ査定シ輸入稅額ヲ郵便局ニ通知ノ際併セテ之ヲ通知ス郵便局ハ輸入稅徵收ノ際之ト同様收入印紙ヲ貼付セシメ郵便物引渡後之ヲ稅關ニ通知スルモノトス而シテ織物ノ消費稅ハ織物ノ價格ノ百分ノ十、砂糖ハ色相ニ依リ其ノ率ヲ異ニスルモ普通ニ白砂糖ト稱スルモノノ内色相二十一號未滿百斤ハ圓、二十一號以上ノモノ同九圓、氷砂糖、角砂糖ハ同十圓、又骨牌ハ一組ニ付貳拾錢詳細ハ第十

章參照

第十一節 關東州滿洲及南洋群島方面ニ於ケル貨物輸出入

一、現行取扱ノ概要

關東州及滿洲方面ニ對シテハ我國ハ政治上並ニ經濟上特種優越ノ關係ヲ有スルヲ以テ同方面ニ於ケル彼我貿易ニ對シテハ特殊ノ協約ヲ要シ以テ之カ發展振興ニ資セサルヘカラス而シテ之カ發展振興ヲ期センニハ少クモ先ツ内地ニ於テ同方面ヨリ輸入スル物品ニシテ同方面ノ生産ニ係ルモノハ務メテ關稅ノ免除ヲ計リ一方我國ヨリ輸出スル物品ニ對シテハ務メテ彼ノ地關稅ノ輕減免除ヲ協約シ又同方面ニ於ケル關稅行政ニ關シテハ主トシテ邦人ヲシテ之ニ當ラシメ以テ彼我關稅行政ヲシテ圓滿且ツ敏活ナラシメ提携以テ之カ聯絡ヲ圖ルニ存ス

叙上現下此等施設ニ關シテハ大連海關設置並内水汽船航行ニ關スル協定、鮮滿國境通過鐵道貨物關稅輕減取極、國境列車直通運轉協約等アリテ兎ニ角關東租借地内ニ於ケル此等事項ニ關シ支那トノ協約ニ依リ大連稅關長並ニ同稅關職員ハ全部日本人ヲ以テ之ニ充テ且ツ同稅關ト日本官憲

及本邦商人トノ往復文ハ日本文ヲ以テセラルルニ至レリ又貨物ニ關シテハ海路大連ニ輸入スルモノニシテ租借地内ニ於テ消費セラルルモノハ之カ輸入税ヲ要セス(但シ支那内地ニ輸入スルモノハ輸入税ノ納付ヲ要ス)又一方關東州生産ニ係ル貨物ヲ内地(臺灣樺太朝鮮ヲ含ム)ニ輸入スルニ當リ之ニ課スヘキ關稅ハ明治三十九年勅令第二九二號ニ依リ協定稅率ニ依ル低キ稅率ヲ課スルコトトセリ

二、鮮滿國境通過輸出入貨物ニ對スル取極

鮮滿國境通過鐵道貨物關稅輕減ニ關シテハ朝鮮ヨリ若ハ朝鮮ヲ通過シテ滿洲ニ輸入セラレ又ハ滿洲ヨリ朝鮮ニ若ハ朝鮮ヲ通過シテ輸出セララルル貨物ニ對シテハ各海關稅率ノ三分ノ二ノ輸出税又ハ輸入税ヲ課セラルル而シテ之カ申告ハ英文又支那文ヲ以テスルヲ要ス而シテ申告書ニハ必ス鐵道運送狀ノ副本ヲ添ユルヲ要ス其ノ取極條文左ノ如シ

朝鮮ヨリ若ハ朝鮮ヲ通過シテ滿洲ニ輸入セラレ又ハ滿洲ヨリ朝鮮ニ若ハ朝鮮ヲ通過シテ輸出セララルル安東經由鐵道貨物ニ對スル減稅特典ニ關スル取極

第一條 滿洲ヨリ鐵道ニ依リ新義州以遠ノ各地ニ仕向ケラルル有稅貨物及新義州以遠ノ各地ヨリ鐵道ニ依リ滿洲ニ仕向ケラルル有稅貨物ニ對シテハ各海關稅率三分ノ二ノ輸出税又ハ輸入税ヲ

課ス

第二條 新義州ヨリ更ニ鴨綠江水路ニ依リ他ニ輸送センカ爲鐵道ニ依リ滿洲ヨリ輸出セラレ又ハ該水路ニ依リ新義州ニ到着シテ更ニ鐵道ニ依リ滿洲ニ輸入セララルル貨物ハ前記減稅ノ特典ヲ受クルコトヲ得ス

從テ滿洲ヨリ鐵道ニ依リ新義州ニ輸出セララルル一切ノ有稅貨物ニハ關稅全額ヲ課スルモ左記ノ貨物ニ限リ三分ノ一ノ拂戻ヲ爲スモノトス

(イ) 新義州ニ於テ地方的消費ニ供セラルルモノ

(ロ) 滿洲輸出ノ日ヨリ二年以内ニ更ニ鐵道ニ依リ新義州以遠ニ輸送セララルルモノ

前記(イ)ノ貨物ニ關シテハ新義州稅關發給ノ輸入免狀(輸入税仕拂濟ヲ證セルモノ)(ロ)ノ貨物ニ關シテハ安東稅關ヲシテ原輸出貨物タルコトヲ識別セシメ得ルニ必要ナル細目ヲ記載セル新義州關稅發給ノ運送免狀ヲ以テ當該貨物カ關稅三分ノ一ノ拂戻ヲ受クルニ必要ナル條件ヲ具備スルノ證憑ト認ムヘシ

本條第一項ニ記載スルモノヲ除クノ外新義州ヨリ鐵道ニ依リ滿洲ニ輸入セララルル有稅貨物ハ船便ニ依リ到着シタルモノニ非サルコトヲ明記セル新義州稅關發給ノ輸出免狀又ハ運送免狀ヲ添

附スルニ於テハ海關稅率三分ノ二ノ輸入稅ヲ課セラルヘシ

朝鮮稅關手續ニ何等カ變更アリタル場合ニハ本條記載ノ貨物ニ關スル支那海關手續モ亦改正ヲ要スルコトアルヘシ

第三條 三分ノ一減稅ノ特典ヲ受ケテ滿洲ノ内地ニ仕向ケラルル貨物ニ對スル抵代稅ハ海關稅率ノ三分ノ一即チ既納三分ノ二輸入稅ノ半額トス

第四條 三分ノ一減稅ノ特典ヲ受ケテ安東ニ輸入セラレ次テ鐵道ニ依リ滿洲以外ノ條約港若ハ支那本部各省ノ内地ニ仕向ケラレ又ハ海路滿洲若ハ支那本部ニ仕向ケラルル貨物ハ支那海關ニ右既減額ヲ納入スルニ非サレハ條約ノ規定ニ基キ外國輸入品ニ適用セラルヘキ普通ノ稅關取扱ヲ受クルコトヲ得サルモノトス

第五條 申告者ハ英文及支那文ノ申告書ノ外左ノ事項ヲ記載セル鐵道運送狀ノ副本ヲ提出スルコトヲ要ス

出荷者ノ氏名及成ルヘクハ荷受主ノ氏名、發荷地(停車場名)、仕向地(停車場名)、品名、容量、重量、包裝、符號、記號、番號等及成ルヘクハ其ノ價格並鐵道係員ノ署名

第六條 朝鮮稅關及支那海關ハ各其ノ所屬國ノ收入ヲ害スヘキ詐僞行爲ヲ防遏スル爲共助スルノ

主義ヲ承認ス

三、鮮滿國境列車内手荷物検査手續

國境列車直通運轉ニ關スル協約中荷物検査ニ關シテハ安東縣停車場ヲシテ之ニ充テ兩國列車共茲ニ到着スレハ兩國稅關官吏ノ検査ヲ受クルコト而シテ之カ検査ノ順序ハ日本國ヨリ支那ニ輸入セラレルモノハ日本稅關官吏カ検査シタル後支那稅關官吏之ヲ検査シ支那ヨリ日本ニ輸入セラレルモノニ對シテハ支那稅關官吏カ検査シタル後日本稅關官吏之ヲ検査ス而シテ之カ検査取扱方ニ關スル詳細左記ノ如シ

(イ) 安東縣停車場發著ノ旅客攜帶手荷物又ハ附隨小荷物ハ安東縣停車場ニ於テ検査スルコト
(ロ) 安東縣停車場ヲ通過スル旅客ノ攜帶手荷物又ハ附隨小荷物ハ停車中車内ニ於テ検査スルコト

若發車時刻迄ニ検査ヲ了ラサルトキハ稅關官吏ハ其ノ便ニ從ヒ運轉中車内ニ於テ検査ヲ續行シ若ハ攜帶手荷物又ハ附隨小荷物ヲ荷物検査場ニ卸サシメ之ヲ検査スルコト

(ハ) 稅關官吏前記二項ニ依リ検査中有稅品ヲ發見シタルトキハ同物品所持者タル旅客ヨリ直接稅金ヲ徵收スルコト

(ニ) 托送手荷物及小荷物ハ検査ノ爲検査場ニ持來ラシムヘキコト

(ホ) 安東縣停車場發着ノ小荷物及貨物ニ關シテハ荷送人又ハ荷受人ニ於テ通關其ノ他ノ手續ヲ擔任スルコト

(ヘ) 安東縣停車場ヲ通過スル小荷物及貨物ハ南滿洲鐵道株式會社員ニ於テ荷送人又ハ荷受人ノ爲通關手續ヲナシ税關官吏ト立會ノ下ニ其ノ検査ヲ受ケ同會社ニ於テ有税品ノ關稅ヲ立替フルコト

(ト) 南滿洲鐵道株式會社及朝鮮總督府鐵道局ハ税關官吏ヲシテ車内ニ於テ検査ヲ執行スルコトヲ得サシムル爲兩鐵道ノ往復長期無賃乘車券ヲ税關官吏ニ給スルコト

四、關東州租借地稅關規則ノ大要

本規ハ明治四十年都督府第三十八號ヲ以テ發布セラレ其後幾多ノ改正ヲ經現行ニ至レルモノニシテ其ノ内貨物輸出入ニ關スル大要左ノ如シ

一、外國ヨリ輸入セル外國貨物又ハ外國ヨリ輸入セル外國貨物ヲ以テ製造シタル物品ヲ内地ニ輸送セントスルトキハ輸入稅ヲ納付スルコト

一、清國通商港ヨリ輸入セル外國貨物ヲ内地ニ輸送セントスルトキ納稅濟證ヲ所持セサルモノ

ハ輸入稅ヲ納付スルコト

一、清國通商港ヨリ輸入セル外國貨物ニシテ租借地内ニ於テ消費セラレタルトキ若ハ租借地ヨリ再輸出セラレタルトキハ納稅地ノ稅關ニ請求シ税金ノ拂戻ヲ受クルコトヲ得但シ仕出港稅關ノ發行ニ係ル納稅濟證ヲ所持スル場合ニ限ル

一、清國通商港ヨリ輸入セル清國貨物ヲ内地ニ輸送セントスルトキハ納稅濟證ヲ所持スルモノハ沿岸貿易稅ヲ納付スルコト

一、租借地ノ生産物又ハ租借地ノ生産物ヲ以テ製造シタル物品ヲ内地ニ輸送セントスルトキハ輸入稅ヲ納付スルコト

一、清國通商港ヨリ清國貨物ヲ輸入セルトキ納稅濟證ヲ所持セサルモノハ輸入税金ニ相當スル金額ヲ稅關ニ供託スルコト若不正ノ行爲アリタルトキハ貨物并供託金ヲ沒收セララルコトアルヘシ

一、陸路租借地ニ輸入セラレタル清國貨物ヲ輸出セントスルトキハ輸出稅ヲ納付スルコト

一、租借地ノ生産物及租借地ノ生産物若ハ外國ヨリ輸入セル材料ヲ以テ製造シタル物品ヲ輸出セントスルトキハ輸出稅ヲ納付スルニ及ハス但シ日本官憲ノ發行ニ係ル產地證明書ヲ所持ス

ル場合ニ限ル

- 一、内地又ハ海路清國港ヨリ輸入セル材料ヲ以テ製造シタル物品ヲ輸出セントスルトキハ輸出者ノ選擇ニ依リ材料若ハ製造品ニ對シ輸出税ヲ納付スルコト
- 一、清國通商港ニ於テ輸入税ヲ納付シタル外國貨物若ハ輸出税ヲ納付シタル清國貨物ヲ大連ヨリ再輸出セントスルトキハ輸出税ヲ納付スルニ及ハス
- 一、内地ヨリ又ハ内地ニ向テ内地通過規則ニ依リ貨物ヲ輸送セントスルトキハ輸出税又ハ輸入税ノ外ニ通過税ヲ納付スルコト
- 一、海路又ハ陸路ヨリ租借地内ニ阿片ヲ輸入セントスルトキハ直ニ税關ニ届ケ出ツルコト
- 一、阿片ヲ内地ニ輸送セントスルトキハ輸入税并ニ釐金ヲ納付スルコト但シ清國通商港ヨリ輸入セル外國又ハ清國阿片ニシテ納稅濟證ヲ所持スルトキ若ハ戶部證票ノ貼付アルトキハ此ノ限ニアラス
- 一、阿片ヲ内地ニ輸送セムトスルトキハ税金ノ有無ヲ問ハス税關ニ申請シ證票ノ貼付并關印ノ押捺ヲ受クルコト
- 一、内地又ハ清國通商港ヨリ清國阿片ヲ輸入セントスルトキハ納稅濟證ヲ所持セサルモノハ關

税ヲ納付スルコト輸入阿片ニ戶部證票ノ貼付アラサレトキ亦同シ

- 一、武器、彈藥、爆發物及其ノ製造材料ヲ輸入セントスルトキハ税關ノ許可ヲ得タル後ニ非サレハ船卸又ハ陸揚ヲ爲スコトヲ得サルコト
- 一、武器、彈藥、爆發物及其ノ製造材料ハ清國官憲ノ發行ニ係ル護照ヲ所持スル者ニ非サレハ之ヲ内地ニ輸送シ若ハ清國港ニ輸出スルコトヲ得サルコト
- 一、輸入貨物ノ荷受人ハ其ノ貨物ノ内地行ナルト租借地行ナルトヲ問ハス船舶ノ名稱、國籍、貨物ノ仕入地、産出地又ハ製造地、記號番號、品名、箇數、數量及價格ヲ記載シタル報告書ヲ税關ニ提出スルコト

一、貨物ヲ輸出セントスル者ハ輸出申告書ヲ税關ニ提出シ貨物ノ検査ヲ受クヘシ貨物ノ検査終了シタルトキハ申告者ハ税關ノ交付スル關稅納入告知書ニ記載セル税金ヲ税關指定ノ銀行ニ納付シ其ノ領收證ヲ税關ニ提出シ船積許可書ノ交付ヲ受クルコト

- 一、税關ニ於テ適用スル税率左ノ如シ
- 一 輸入外國貨物ニ對シテハ千九百二年ノ正輸入税率
- 二 輸出入清國貨物ニ對シテハ舊清國税率

「ジャンク」ニ依リ輸出入スル貨物ニ對シ特別ノ稅率ヲ適用スル場合ニハ別ニ之ヲ告示ス

- 一、稅關長ノ罰金又ハ沒收ノ處分ニ對シ不服ヲ申立ツル者アルトキハ千八百六十八年五月三十一日北京ニ於テ協定セラレタル罰金及沒收ニ關スル會審規則ノ精神ニ基キ處理スルモノトス

五、關東州租借地輸出入貨物及租借地以外ノ地へ輸送スル貨物申告手續

明治四十四年二月一日以降關東州租借地輸出入貨物及租借地以外ノ地へ輸送スル貨物ニ就テハ關東州租借地稅關假規則第十六條乃至第十九條ニ規定セル報告書及申告書ニハ各其ノ事項ヲ具備シ左記ノ手續ニ依リ大連海關ニ提出スルコト

- 一、關東州租借地稅關假規則第十六條及第十八條ニ依ル船舶積荷目錄ハ第一號樣式ニ依リ二通ヲ提出スルコト
- 一、同規則第十七條ニ依ル荷受人ノ報告書ハ第二號樣式ニ依リ二通ヲ作り荷物搭載船舶ノ入港後三十日以内ニ之ヲ提出スルコト
- 一、同規則第十九條ニ依ル輸出貨物申告書ニハ產地又ハ製造地ヲ記入シ第三號樣式ニ依リ二通ヲ提出スルコト

一、租借地以外ノ地へ輸送スル貨物ニ就テハ第四號樣式ニ依ル報告書ヲ稅關ニ提出シ檢査ヲ經

タル後更ニ其ノ副本ヲ提出スルコト

- 一、租借地以外ノ地へ聯絡輸送スル貨物ニ限リ第二號及第四號ノ樣式ニ依ル報告書ヲ提出スルコトヲ要セス此ノ場合ニ於テハ第五號樣式ニ依ル報告書ヲ提出シ稅關ノ檢査ヲ經タル後更ニ其ノ副本ヲ提出スルコト

一、前各項ノ報告書ノ數量及價格ヲ表示スル數字ハ漢字又ハ亞刺比亞數字トス

一、輸入申告ノ場合ニ於テ申告者ト荷受人ト異ルトキハ其ノ荷受人ノ住所氏名ヲ第二號第四號第五號樣式中「出發地」若ハ仕向地ノ次ニ記載スルコト

一、輸出申告ノ場合ニ於テ申告者ト荷出人ト異ルトキハ其ノ荷出人ノ住所氏名ヲ第三號樣式中「仕向地」ノ次ニ記載スルコト

六、南洋群島

輸出入手續

南洋群島輸出入貨物取扱手續ニ關シテハ大正五年七月南洋群島民政令第十號ニ依リ保稅地域及收容ニ關スル事項ヲ除クノ外ハ總テ内地關稅法及同施行規則ノ各規定ヲ準用スルコトニナレルヲ以テ之ヲ輸出入手續ニ關シテハ一般内地稅關手續ト異ル處ナキモノトス

尙越エテ大正十一年勅令第二百九十五號ヲ以テ南洋群島ニ於ケル關稅ニ關シテハ同法第六十八條乃至第七十三條（關稅賦課ノ異議判定ニ對シ不服ノ場合更ニ大藏大臣ニ訴願スルコトヲ得ルノ件）及第九十九條（開港ノ場所指定其ノ他開港ニ於ケル輸出入貨物ノ種類制限ニ關スル件）ヲ除クノ外關稅法、關稅定率法、及關稅法施行規則ハ全部同島ニ施行セラルルニ至レルヲ以テ内地稅關ト異ル處ナシ

然レトモ同島ニハ南洋群島出港稅令（大正十一年勅令第二百九十六號）ナルモノアリ而シテ之カ品名竝之カ出港手續等ニ關シテハ出港稅ノ部ニ於テ述フル處アルヲ以テ茲ニ贅セサルモ要スルニ其ノ物品ハ主トシテ移出先ニ於テ内國稅ヲ課スル物品ニ限ラルルモノトス

第六章 運送

第一節 運送ノ意義及範圍

普通ニ運送ト稱スルハ其ノ意義頗ル廣ク水陸又ハ空中ノ何レヲ問ハス或一方ヨリ或ル一方ニ人又ハ物ヲ移送スルノ意義ニシテ普通之ヲ分ツテ物品運送、旅客運送及通信運送ノ三種ニ區別セラシテ空中運送ニ關シテハ大正十年法律第五十四號航空法ノ制定ニ由リ茲ニ初メテ空中運送ヲ認メラルルニ至レリ民法ニ於ケル運送ノ意義ハ同法第三百十八條及同第三百十一條ニ運輸ナル文字ヲ使用シ且右二條ハ孰レモ物權ノ先取特權ニ關スル規定ナルヲ以テ性質上是亦普通ニ運送ト稱スル廣義ノ意味ヲ有ス

商法ニ於テハ運送ヲ二種ニ區別シ陸上運送ニ關シテハ第三編（商行爲編）第八章ニ於テ物品運送及旅客運送ノ二節ニ區分シ海上運送ニ關シテハ第五編（海商編）第三章ニ於テ是亦物品運送及旅客運送ノ二節ニ區分セラルルヲ以テ是亦概シテ廣キ意味ヲ有ス

關稅法ニ於ケル運送ハ同法第三十九條規定（外國貨物ハ海路又ハ陸路ニ依リ開港間、保稅地域

間又ハ開港ト保稅地域トノ間ニ之ヲ運送スルコトヲ得）ニ依リ其意義頗ル狭ク從テ運送ノ目的物ハ外國貨物ニ限ラレ又其ノ範圍モ國內間ノ一局部ニ止マリ其ノ範圍ハ一、開港ト開港間ニ、開港ト保稅地域間ニ、保稅地域ト保稅地域間ノミニ限ラレ又其ノ通路モ陸ニ由ルモノハ同第三十二條ノ二ノ規定ニ依リ命令ヲ於テ指定シタル通路以外ニ於テハ之ヲ運送スルヲ得ス又海ニ由ルモノハ本邦船籍ノ船舶ニアラサレハ之ヲ運送スルヲ得ス尤モ航空運送ニ關シテハ同法第三十九條ニ於テ關稅法運送規定ヲ準用ストアリテ通路ハ空中何レニ在リテモ可ナリトス但日本ノ航空機ニ限ル尙茲ニ例外トシテ外國船舶カ誤テ陸揚シタル貨物ヲ其ノ船ニテカ又ハ同一會社ノ船舶ニ積込ミ内地ノ他ノ開港ニ輸送スルトキノミニ限リ便宜積戻ト認メ積戻手續ニ依リ之カ運送ヲ許スコトアルモ其ノ以外ノ貨物ニ對シテハ外國船舶ハ絕對之カ運送ヲ爲スコトヲ得ス何トナレハ外國船舶ハ條約ニ依リ内地沿岸貿易ヲ爲スコトヲ得サル規定アルト共ニ一方航空法ニ於テモ同法第二條ニ日本ノ航空機ニアラサレハ日本内地ニ於テ物品及旅客ノ運送ヲ爲スコトヲ得ストノ規定アルニ依ル尙之カ詳細ニ關シテハ第二章船舶及第五節積戻ノ部ニ於テ述フル所アルヲ以テ參照セラルヘシ以上何レニシテモ書狀運送若ハ通信運送ナルモノハ特別郵便法ノ規定アルヲ以テ商法ハ勿論關稅法上ノ運送ノ目的物タルコトヲ得ス又小包郵便物ノ如キハ其性質全ク通信運送ニアラス純然タル物品運送ナルモ是亦特別郵便法ノ下ニ支配セララルヲ以テ運送ノ目的物タルコトヲ得ス

第二節 運送人及運送貨物

運送人モ亦各法規ニ依リ廣狹兩義ヲ有ス商法ニ於テハ同法第三百三十一條ニ「運送人トハ陸上又ハ湖川港灣ニ於テ物品又ハ旅客ノ運送ヲ爲スヲ業トスルモノヲ謂フ」トアルヲ以テ縱令此ノ以外ニ於テ事實運送ヲ爲スモノアルモ商法ニ於テハ之ヲ運送人ト稱スルコトヲ得ス從テ其ノ意義頗ル狹シトス

民法ニ於ケル運送人ノ意味ハ同法第三百十八條ニ示スカ如ク運輸ノ先取特權ハ旅客又ハ荷物ノ運送費及附隨ノ費用ニ付キ運送人ノ手ニ存スル荷物ノ上ニ存在トスアルヲ以テ茲ニ所謂運送人トハ商法規定ノ如ク必シモ之ヲ業トスルヲ要セス又其ノ範圍モ獨リ陸上運送ノミニ限ラス海上運送ノ場合ニ於テモ亦之カ適用ヲ受クヘキモノナルヲ以テ商法規定ノ運送人ニ比シ其意義頗ル廣キモノト謂ハサルヲ得ス

關稅法ニ於ケル運送人ハ事實運送ノ局ニ當ル者ハ總テ之ヲ運送人トス即チ同法第三十九條ノ四ニ「外國貨物ヲ運送セントスル場合ニ於テハ船長又ハ陸路運送人ハ運送先ヲ異ニスル毎ニ運送目

録ヲ税關ニ提出スヘシトアルヲ以テ商法ノ運送人ハ勿論同法第三百三十一條ノ所謂運送取扱人モ亦此ノ内ニ包含セラルルト共ニ商法ニ於テ認メサル船長又ハ航空機長モ亦之ヲ運送人ト稱スルコトヲ得恰モ民法ニ於ケル運送人ト略其意味ヲ同フス而シテ陸路運送道路ハ命令ニ依リ主トシテ鐵道線路ニアルヲ以テ私設鐵道ヲ除クノ外普通ノ場合ハ鐵道省ヲ以テ運送人トナス場合多シ（航空機法第三十九條ニ依リ空中運送ハ關稅法運送ノ規定ヲ準用セラルルヲ以テ航空機長ハ船長ト同シク運送人タルモノトス）

運送人ハ運送貨物ニ對シ發送地及到着地稅關ニ運送目錄提出ノ義務アルモノトス又運送人ハ運送ニ關シ職務ヲ執行スル官吏ニ對シテハ關稅法規ノ規定ニ依リ相當ノ便宜ヲ與フヘキ義務アルモノトス而シテ此等規定ニ違反シタルトキハ關稅法第八十條、第八十一條ニ依リ百圓若クハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處セラルルコトアルヘシ

陸路ニ由ル貨物ハ外國貨物ノミナルモ海路ニ由ル貨物ニハ外國貨物ト内國貨物トノ二種アリ元來内國貨物ノ運送ハ關稅其他輸出入ニ關シ何等ノ關係ヲ有セサルヲ以テ此等ノ運送ハ全ク關稅法上ノ圈外ニ屬スルモ獨リ海路ニ由ル内國貨物ハ時ニ本邦船籍ノ外國貿易船ヲ以テ運搬セラルル場合アリ此ノ場合ニ於テハ該船舶カ外國貿易船ナルヲ以テ内外國貨物混載ノ關係上相當取締ヲ爲ス

ノ必要ヨリ内國貨物ニ對シテモ外國貨物同様運送ノ手續ヲ爲サシムルニ過キス

叙上外國貨物ノ意義ニ關シテハ前章第一節ニ述フル處ナルモ特ニ運送ノ場合ニ於テハ稅關手續ノ濟否如何ニ依リ内外國貨物ノ名稱ハ茲ニ急速ニ變換セラルルモノナルヲ以ツテ茲ニ之レヲ略說スルニ例之東京汐留驛ニ於テ輸出手續ヲ了シ陸路敦賀ヲ經由シ大陸方面ニ輸出セントスル場合ニ於テ前記汐留驛ニ於テ輸出手續ヲ了スルト同時ニ該貨物ハ既ニ外國貨物ニ名稱變換セラレタルモノナルヲ以テ敦賀迄ニ對シテハ外國貨物トシテ更ニ運送手續ヲ爲スヲ要ス斯クセハ敦賀ニ於テハ別ニ輸出手續ヲ要セス直ニ船積シ得ラルルモノトス

斯ノ如ク其ノ名稱急速ニ變換スルモ要スルニ其ノ普通名稱タル實質ノ上ヨリ之ヲ區分スレハ海路ニ由ル運送貨物ハ一、輸入手數未濟貨物即チ外國貨物二、輸出手數濟貨物即チ外國貨物（海路ニ由リ他ノ開港ニ回漕シ他船ニ積替ヘ外國ニ輸出セラルル場合）三、内國貨物（外國貿易船ニテ開港間ニ回漕スル場合）ノ三種ニシテ又陸路ニ由ルモノハ一、輸入手數未濟貨物即チ外國貨物（主トシテ通過貨物ノ場合）二、輸出手數濟貨物即チ外國貨物（陸路運送叙上汐留驛ニテ輸出手數ヲ了シ陸路敦賀ヲ經テ外國ニ輸出スル場合）ノ二種ニ區別セラル

第三節 運送手續

運送貨物ハ前述ノ如ク海路ニ由ルモノハ輸入手數未濟貨物・輸出手數濟貨物及内國貨物ノ三種ト又陸路ニ由ルモノニ輸入手數未濟貨物及輸出手數濟貨物ノ二種トニ區別セラルル從テ之カ手續上種々複雑スル處アルヲ以テ便宜各種毎ニ之カ手續ヲ述フ

一、海路ニ由ル貨物

(イ) 輸入手數未濟貨物

海路ニ依リ輸入手數未濟貨物ヲ運送セントスルニハ運送申告書ニ式ノ如ク記入シ仍之ニ運送ノ目的ヲモ記載シ總務課申告書受付口ニ差出スモノトス尤モ該貨物カ假置場若クハ保税倉庫内ニアル場合ニハ該申告書ハ監視部倉庫係ヲ經由スルヲ要ス又從來保税倉庫ヨリ他ノ保税倉庫ニ若クハ他ノ保税地域ヨリ保税倉庫ニ仕向ケラルル貨物ノ運搬ハ運送ノ手續ニ依ラスシテ總テ保税倉庫法規定ノ廻送手續ニ依リタリシモ先年保税倉庫法ノ廻送ナル文字カ運送ト改正セラレタル結果總テ運送ノ手續ニ依ルコトトナリシヲ以テ茲ニ運送ニ關スル手續ハ全ク統一セララルルニ至レリ

運送貨物ニ對シテハ相當検査(多クハ開裝検査ヲ爲サス)ヲ受ケタル後運送免狀ノ交付ヲ受ク

ルモノニシテ多クノ場合ハ擔保ヲ要セサルモ税關取締ノ必要ヨリシテ税金相當ノ擔保ヲ供託セシメラルルコトアリ

運送申告者右免狀ヲ受ケタルトキハ之ヲ倉庫係員ニ示シ敷料納付ノ上積込許可證ヲ受ケ積込ムト同時ニ該免狀ヲ船長又ハ船會社取扱員ニ示シ船長又ハ船會社(多クハ船會社ニ於テ之ヲ取扱フモ税關ニ對スル運送ノ責任ハ船長ニ在リ)ハ該免狀ニ基キ出帆迄ニ運送目録(運送先ヲ異ニスル毎ニ分離作製ヲ要ス之カ様式ハ積荷目録ト略同様トス)ニ通フ作製シ總務課ニ差出スモノトス而シテ右運送目録一通ハ發送地税關ニ於テ之ヲ留置キ他ノ一通ハ仕向地ノ税關ニ郵送ス

右運送貨物カ仕向地ニ到着シタルトキハ荷受人ハ運送免狀ヲ税關ニ差出スヘキ規定ナルヲ以テ發送人ハ荷受人ニ對シ運送免狀ノ送付ヲ忘レサルヲ要ス而シテ税關ニ於テハ右提出ノ運送免狀ニ依リ相當検査ノ上運送貨物カ運送免狀ト符合スルトキハ該免狀ニ運送濟ノ證印ヲ爲シ提出者ニ還付シ一方發送地税關ニ其ノ運送濟ナルコトヲ通知ス

(ロ) 輸出手數濟貨物

本貨物ハ申告者ニ於テ全部ノ輸出手續ヲ了シタル貨物ニシテ關稅法ノ上ヨリ之ヲ觀レハ既ニ外國貨物(關稅法第廿九條ニ輸出シタル貨物ハ之ヲ外國貨物トス)トナリタルモノニシテ此ノ場合

ニ於テハ多クハ輸出免狀ヲ以テ運送免狀ニ兼用セシムル取扱ナルカ故ニ輸出申告者ハ前記「イ」ノ貨物ノ如ク別ニ運送申告ヲ要セサルモ該貨物ノ積載船カ他ノ開港ニ於テ外國貿易船ニ接続スル關係上運送トナルモノナルヲ以テ輸出免狀ハ一應之ヲ船長又ハ船會社員ニ示スヲ要ス船長又ハ船會社員ハ之ニ對シ運送目錄ヲ税關ニ提出スルモノニシテ任向先キニ到着シタル場合ニ於ケル手續ハ總テ前記「イ」ノ場合ト同様トス

(ハ) 内國貨物

本貨物ニ對スル運送手續ハ運送申告書ニ式ノ如ク記入シ運送免狀ノ交付ヲ受クルモノニシテ運送申告書ニハ必ス内國貨物ナルコトノ記入ヲ忘レサルコトヲ要ス若シ誤テ外國貨物欄内ニ之ヲ記入スルニ於テハ仕向地税關ニ於テ關稅ヲ徵收セラルルコトアルヘシ

船長ハ右貨物ノ運送ニ付仕向港税關ニ對シ他ノ運送貨物同様運送目錄ノ提出ヲ要スルモ積出地税關ニハ之カ提出ヲ要セス又荷受人カ仕向港税關ヨリ之カ貨物ノ引取ヲ爲サントスルニハ發送人ヨリ送付シ來レル運送免狀ヲ其ノ地税關總務課ニ差出シ總務課ハ之ヲ検査課ニ廻付シ同課ハ輸入普通貨物ト同様之ヲ検査シ總務課審査係ニ廻付ス同係ニ於テ相當審査ノ上免狀係ニ廻付シ免狀係ハ該免狀ノ裏面ニ運送濟引取許可ノ證印ヲ捺シ之ヲ提出者ニ還付ス提出者ハ之ヲ倉庫係員ニ示シ

貨物ヲ引取ルコト但シ此場合ニ於テ一般ニ上屋敷料ノ如キハ之カ納付ヲ要セサルモノトス

二、陸路ニ由ル貨物

(イ) 輸入手數未濟貨物

本貨物ニ對スル運送手續ハ前記海路ニ由ル「イ」ノ場合ト同様トス而シテ其ノ通路ハ命令ヲ以テ指定セラレタル通路ニ依ルヘキモノニシテ命令ニハ主トシテ鐵道線路ヲ指定ス從テ此ノ場合ニ於ケル運送人ハ多クハ鐵道省ナルヲ以テ該運送目錄ハ同省ヨリ之ヲ税關ニ差出スモノトス故ニ申告者ハ運送免狀ヲ鐵道省當該官吏ニ提示スルヲ要ス

鐵道省ハ右貨物ノ運送ニ關シテハ海路ニ由ル「イ」ノ場合ニ於テ船長ノ爲スヘキ手續ト同様ノ手續ヲ爲スモノトス其他ノ手續モ亦總テ海路「イ」ノ場合ト同様トス

(ロ) 輸出手數濟貨物

本貨物ニ對スル運送手續ハ總テ海路ニ由ル「ロ」ノ場合ト同様トス而シテ此ノ場合ニ於テ鐵道省ノ爲スヘキ手續モ亦同様船長ノ爲スヘキ手續ト異ル所ナシ

尙此ノ外朝鮮ニ在リテハ大正七年八月朝鮮總督府訓令四十二號ヲ以テ外國貨物鐵道運送手續ノ規定アリ同規定ハ主トシテ鐵道連帶運送貨物ニ對スル輸入手數未濟貨物ト輸出手數濟貨物ニシテ

要ハ前述手續カ鐵道ニ關聯スル點ニ於テ異ルニ過キササルヲ以テ茲ニ詳述セス

第四節 運送狀及船荷證券

運送狀ニ關シテハ前章第五節仕入書ノ部ニ於テ船積送狀ト關聯スル處少ナカラサルヲ以テ之カ大體ニ關シテハ既ニ詳述ス從テ之カ重複ヲ避ケ茲ニ之ヲ贅セサルモ要スルニ運送狀ハ商法第三編商行爲ノ部即チ陸上運送ノ部ニ規定セラレ海上運送ニ關シテハ同法第五編海上運送ノ部ニ之ヲ規定セルヲ以テ運送狀ノ發給ハ陸上運送ノ場合ノミニ限ラルルモノトス而シテ海上運送ニ關シテハ船荷證券ノ發給アリ

而シテ兩者孰レモ之カ證書ノ形式ニ就テハ運送狀ハ同法第三百二十二條ニ於テ之カ記載要件ヲ揭ケ船荷證券ニ在リテハ同法第六百二十二條ニ之カ要件ヲ示セルヲ以テ形式證書タル點ト尙其ノ法定要件ノ制限ハ法定要件以外ノモノヲ記入スルモ之カ效力ヲ妨ケサル點其ノ他此等證書ハ何レモ之カ發行ノ請求アル場合ニ於テハ被請求者ハ必ス之カ發行ノ義務アル證書(請求ナクハ發行スルノ要ナシ)タル點ニ於テハ兩者相似タル處少ナカラサルモ發行者並ニ證書ノ性質等ニ於テハ大ニ異ル處アルヲ以テ以下少シク述フル處アルハシ

先ツ發行者ニ就キ之ヲ見ルニ運送狀ハ運送人ノ發行スルモノニアラスシテ運送人ノ要求ニ依リ荷送人之ヲ發行シ運送人ニ交付スル證書ナルニ反シ船荷證券ハ荷送人ノ要求ニ依リ船長若ハ船會社ニ於テ發行スルニ證書ノ性質ニ付之ヲ觀ルニ運送狀ハ單ニ運送人カ荷送人ヨリ之カ運送ヲ委託セラレタルコトヲ證スルニ足ル程度ノ證憑書類ニ止マルニ反シ船荷證券ハ貨物引換券、倉庫證券、預證券ト同シク之カ證券所持ハ貨物ノ所持人ニシテ從テ之カ證券ハ裏書ニ依リ質入又ハ賣却ノ處分權ヲ有スル所謂權利設定ノ有價證券ナル點ニ於テ大ニ異ル處アルヲ以テ彼是混同スル處ナカルヘシ

而シテ兩者孰レモ貨物輸出入ニ關シ至大ノ關係ヲ有シ從テ之カ證憑書類トシテ稅關ニ提示ヲ要スル場合ナキニシモアラサルモ現行法規ニ於テハ輸出入申告書ニ之カ添付ヲ命スル條文ナキモ外國ニ於テハ輸出入申告書ニ之カ添付ヲ命スル處少ナカラス日支條約中朝鮮ヲ經由シ滿洲ニ輸入シ又ハ滿洲ヨリ朝鮮ヲ經由シ輸出セラレル貨物ニ對シ之カ關稅輕減ノ特典ヲ得ンニハ輸出入申告書ニ鐵道運送狀ノ副本ヲ添付スヘキ條文アリ其ノ他類似ノ事例乏シカラサルモ緊要ノ引例ニアラサルヲ以テ之ヲ錄セス

將來我國ニ於テモ陸路朝鮮經由輸入貨物少ナカラサルヘキヲ以テ陸接貿易ニ對シテハ運送狀ヲ

提出セシムルヲ利便トス又一方海路輸入貿易ニ對シテハ既ニ關稅法積荷目録樣式中船荷證券番號記載欄アルヲ以テ之カ統一徹底ヲ期スルカ爲輸入申告書ニハ仕入書ト同様船荷證券ノ添付ヲ命スルニ於テハ取締上ハ勿論課稅上參考書類トシテ裨益スル處蓋シ少ナカラサルヘシ

第五節 運送通路

運送ニハ海路運送及陸路運送ノ區別アルハ前述ノ如クナルモ其ノ内海路運送ニ關シテハ別段之カ通路ヲ指定セス唯陸上運送ノミニ對シ之カ通路ヲ指定セリ而シテ之カ指定通路ハ現下大體以下列記ノ如クナルモ之カ通路ハ保稅倉庫及假置場ノ新設廢止其ノ他鐵道線路ノ増設又ハ延長等ニ依リ時々之カ變更アルヲ免レス之カ爲當業者ハ之カ改廢變更等ニ關シ常ニ法令ニ注意シ法令違反ノ舉ニ出ツルナキニ腐心ス

通路指定ノ可否ニ就テハ關稅取締上多少議論ノ餘地アルヘキモ元來輸送中ニ於ケル貨物ノ盜難其ノ他紛失等ニ關シテハ擔保其ノ他保證ノ制アルヲ以テ之カ通路ノ選擇ハ當業者ノ利便ニ一任スル方寧ロ優レルニハ非ルカ然レトモ若シ存置ノ必置アリトセハ現行ノ如キ複雜煩雜ナル例示的列舉主義ノ指定形式ハ之ヲ避ケ當業者ヲシテ一見明瞭ナラシムルカ如ク例之ハ官私設鐵道線路ハ全

部之ヲ指定通路ト爲スカ如クセハ事實現行ノ指定通路ト軒輊スル處ナキノミナラス之カ爲保稅地帶ノ改廢其ノ他鐵道ノ増設延長等ニ際シ其ノ都度之カ改正變更ヲ要スルノ必要ヲ生セス當業者ハ安ンシテ之カ運送手續ヲ爲シ得ラルルノミナラス當該官吏モ亦之カ法規參照ノ必要ナク兩者共ニ裨益スル處蓋シ少ナカラサルヘキヲ以テ將來運送通路ノ改正ヲ要スルニ際シ其ノ機ニ於テ通路指定ハ全然之ヲ廢スルカ然ラサレハ叙上ノ如ク保稅地帶ノ變更其ノ他鐵道ノ増設延長等ノ爲時々之カ變更改廢ヲ要セサル程度範圍内ニ於テ簡單ニシテ且總括的形式ノモノタラシムルヲ要ス

一、内地

新橋ヨリ品川、大崎、池袋、赤羽、大宮、小山、福島ヲ經又ハ品川、大崎、池袋若クハ赤羽、田端、北千住、友部、岩沼ヲ經テ青森ニ至ル鐵道線路青森港ヨリ函館港ニ至ル直航水路及函館ヨリ室蘭ニ至ル鐵道線路

但シ新橋ヨリ青森ニ至ル兩通路ハ小山友部間又ハ福島岩沼間ノ鐵道線路ニ由リ相互連絡スルコトヲ得

新橋新潟間 新橋ヨリ品川、大崎、池袋、赤羽、大宮、高崎ヲ經又ハ品川、大崎、新宿、八王子、鹽尻ヲ經テ新潟ニ至ル鐵道線路

新橋名古屋間

新橋ヨリ品川、大森、東神奈川若クハ横濱ヲ經又ハ品川、大崎、新宿、八王子、鹽尻ヲ經テ名古屋若クハ名古屋港ニ至ル鐵道線路

横濱青森間

横濱ヨリ神奈川、大崎、池袋、赤羽、大宮、小山、福島ヲ經又ハ神奈川、大崎、池袋若クハ赤羽、田端、北千住、友部、岩沼ヲ經テ青森ニ至ル鐵道線路

但シ該兩通路ハ小山友部間又ハ福島岩沼間ノ鐵道線路ニ由リ相互連絡スルコトヲ得

横濱新潟間

横濱ヨリ神奈川、東神奈川、八王子、鹽尻ヲ經又ハ神奈川、大崎、池袋、赤羽、大宮、高崎ヲ經テ新潟ニ至ル鐵道線路

但シ該兩通路ハ新宿八王子間ノ鐵道線路ニ由リ相互連絡スルコトヲ得

名古屋青森間

名古屋若クハ名古屋港ヨリ鹽尻、篠ノ井、高崎、小山、福島ヲ經又ハ東神奈川、大崎、池袋若クハ赤羽、田端、北千住、友部、岩沼ヲ經テ青森ニ至ル鐵道線路

但シ該兩通路ハ赤羽、大宮、小山間、小山、友部間又ハ福島岩沼間ノ鐵道線路ニ由リ相互連絡スルコトヲ得

名古屋武豊間

名古屋若クハ名古屋港ヨリ武豊ニ至ル鐵道線路

名古屋新潟間

名古屋若クハ名古屋港ヨリ鹽尻、篠ノ井ヲ經テ新潟ニ至ル鐵道線路

名古屋敦賀間

名古屋若クハ名古屋港ヨリ米原ヲ經テ金ヶ崎若クハ敦賀ニ至ル鐵道線路

名古屋大阪間

名古屋若クハ名古屋港ヨリ草津、京都ヲ經又ハ柘植、木津、天王寺若クハ放出ヲ經テ大阪、櫻島、若クハ港町ニ至ル鐵道線路

但シ該兩通路ハ草津柘植間又ハ京都木津間ノ鐵道線路ニ由リ相互連絡スルコトヲ得

大阪敦賀間

大阪若クハ櫻島ヨリ京都、馬場、草津、米原ヲ經テ金ヶ崎若クハ敦賀ニ至ル鐵道線路

大阪神戸間

大阪若クハ櫻島ヨリ神崎ヲ經テ神戸、小野濱若クハ和田岬ニ至ル鐵道線路

大阪宮津間

大阪若クハ櫻島ヨリ京都ヲ經又ハ神崎ヲ經テ舞鶴ニ至ル鐵道線路及舞鶴港ヨリ宮津港ニ至ル直航水路

神戸宮津間

神戸、小野濱若クハ和田岬ヨリ神崎綾部ヲ經又ハ神崎、大阪、京都ヲ經テ舞鶴ニ至ル鐵道線路及舞鶴港ヨリ宮津港ニ至ル直航水路

神戸下關間

神戸、小野濱、若クハ和田岬ヨリ下關ニ至ル鐵道線路

下關長崎間

下關港ヨリ小森江ニ至ル直航水路及小森江ヨリ小倉、折尾ヲ經テ長崎ニ至ル鐵道線路

下關唐津間

下關港ヨリ小森江ニ至ル直航水路及小森江ヨリ小倉、折尾ヲ經テ西唐津ニ至ル鐵道線路

門司長崎間 門司ヨリ小倉、折尾ヲ經テ長崎ニ至ル鐵道線路

門司唐津間 門司ヨリ小倉、折尾ヲ經テ西唐津ニ至ル鐵道線路

唐津長崎間 西唐津ヨリ長崎ニ至ル鐵道線路

二、朝鮮ニ於ケル保稅地域内ノ運送通路

朝鮮總督府鐵道所管ノ鐵道線路

鎮南浦ヨリ平壤ニ至ル大同江水路

三、臺灣ニ於ケル關稅法第三十九條ノ通路

淡水基隆間 淡水ヨリ基隆ニ至ル鐵道線路又ハ大稻埕ヨリ基隆ニ至ル鐵道線路

基隆打狗間 基隆ヨリ打狗ニ至ル鐵道線路

〔安平ヨリ臺南ニ至ル輕便鐵道線路又ハ安平ヨリ臺南ニ至ル運河水路及臺南ヨリ打

安平打狗間

〔狗ニ至ル鐵道線路

第六節 鮮滿露鐵道及船舶聯絡輸送

一、鮮滿鐵道聯絡輸送貨物通關手續

一、南滿洲鐵道線發新義州驛着貨物ハ安東縣停車場ニ於テ輸入ノ申告ヲ爲スコト但シ荷主ノ希望ニ依リ新義州驛ニ於テ申告スルコトヲ得

一、南滿洲鐵道線發朝鮮内稅關所在地驛着及内地仕向ノ貨物ハ安東縣停車場ニ於テ陸路運送ノ手續ヲ爲スコト但シ新義州驛着ノモノハ此ノ限リニ在ラス

一、南滿洲鐵道線發貨物ニシテ朝鮮内稅關所在地外ノ驛ニ着スルモノハ安東縣停車場ニ於テ輸入ノ申告ヲ爲スコト

一、朝鮮鐵道驛發南滿洲鐵道線着貨物ハ安東縣停車場ニ於テ輸出ノ申告ヲ爲スコト但シ新義州驛發ノモノニ在リテハ新義州驛ニ於テ申告スルコト

一、安東縣停車場ヲ通過スル旅客ノ携帶品ハ車内ニ於テ手荷物及小荷物ハ停車場検査場ニ於テ安

東縣停車場ニ停車中検査ス但シ停車中検査ヲ終了スルコト能ハサル虞レアルトキハ豫メ車内ニ於テ検査ノ準備其他便宜ノ方法ヲ採リ若シ検査シタル貨物ニシテ課税品アリタルトキハ直ニ關稅ヲ徵收シ之カ領收證ヲ交付スヘシ

一、前項旅客ノ手荷物及小荷物ニシテ通過貨物ナルトキハ検査ヲ爲サス

二、朝鮮外國貨物鐵道運送手續

朝鮮ニ於ケル外國貨物ノ鐵道運送ニ於ケル手續左ノ如シ

一、鐵道停車場構内ニ於テ外國貨物ヲ藏置スヘキ場處ハ鐵道局ト協議シ稅關長之ヲ指定ス

前項ノ藏置場ニハ稅關ノ承認ヲ得ルニ非サレハ外國貨物ヲ藏置スルコトヲ得ス

一、稅關ニ於テ貨物又ハ貨車ニ封鎖ヲ施シタルトキハ鐵道局ハ其ノ封鎖ノ安全ヲ保ツ爲メ適當ノ處置ヲ爲スコト

一、着驛ニ到達シタル外國貨物ハ日没ヨリ日出迄ノ間又ハ稅關ノ休日ニ到達シタルモノヲ除クノ外直ニ稅關構内又ハ稅關指定ノ藏置場ニ搬入スルコト

日没ヨリ日出迄ノ間又ハ稅關ノ休日ニ到達シタル外國貨物ハ稅關構内又ハ稅關指定ノ藏置場ニ貨物ノ搬入ヲ爲シ得ヘキ時ニ至ル迄ノ間鐵道局ハ豫メ稅關ト協定ノ上定メタル停車場構内

一定ノ場處ニ於テ之ヲ保管スルコト此ノ場合ニ於テハ其ノ旨直ニ稅關ニ通知スルコト

前項ノ貨物ニシテ稅關構内又ハ稅關指定ノ藏置場ニ搬入シ得ルニ至リタルトキハ直ニ之カ手續ヲ爲スコト

前記ノ規定ニ依リ稅關構内又ハ稅關指定ノ藏置場ニ搬入シタル貨物ハ之ヲ貨主ニ引渡シ若クハ保税倉庫ニ庫入シ又ハ稅關ニ於テ之ヲ收容スルコトトシ稅關監視ノ下ニ鐵道局之ヲ保管スルコト

一、外國貨物ノ積卸又ハ運搬ヲ爲サントスルトキハ鐵道局ハ稅關ニ通知シ其ノ引渡ヲ爲サントスルトキハ稅關官吏ノ立會ヲ受クルコト

一、運送目録ハ輸入手數未済貨物及積戻貨物ノ場合ヲ除クノ外第一號書式ニ依リ發驛ニ於テ二通ヲ作り内一通ハ之ヲ稅關ニ提出シ他ノ一通ハ其ノ稅關ノ認印ヲ得テ貨物ト共ニ之ヲ着驛ニ送付スルコト貨物着驛ニ到達シタルトキハ着驛ハ前項ノ目録ト對照シ其ノ照合ヲ認メタルトキハ之ニ貨物到達ノ裏書ヲ爲シ之ヲ稅關ニ提出スルコト

一、輸入手數未済ノ鐵道連帶運送貨物ニ對スル運送目録ハ第二號書式ニ依ルコト

一、前項運送目録ハ三通ヲ作り一通ハ發驛ニ於テ運送申告ノ裏書ヲ爲シ之ヲ稅關ニ提出シ他ノ二

通ハ運送免許ノ旨税關ノ裏書ヲ得テ貨物ト共ニ之ヲ着驛ニ送付スルコト

一、貨物着驛ニ到達シタルトキハ着驛ハ前項ニ依リ發驛ヨリ送付シタル運送目録ト對照シ其ノ照合ヲ認メタルトキハ之ニ貨物到達ノ裏書ヲ爲シ之ヲ税關ニ提出スルコト

一、前項ノ運送目録ニ記載シタル貨物ノ全部ニ付キ符合ヲ認メタルトキハ税關ハ其ノ目録二通ノ内一通ニ運送済ノ裏書ヲ爲シ之ヲ着驛ニ還付スルコト

着驛ハ前項ニ依リ還付ヲ受ケタル運送目録ヲ直ニ發驛ニ送付シ發驛ハ之ヲ税關ニ提出シ運送済ノ證明ヲ爲スコト

一、通過ノ目的ヲ以テ運送スル貨物ニ對シテハ前項ニ依リ着驛ヨリ税關ニ提出スル運送目録ニハ着驛ニ於テ其ノ備考欄ニ貨物ノ價格及仕向地ヲ記入シ之ヲ積戻申告ニ兼用スルコト

一、輸出手數済ノ鐵道運送ノ場合ハ發驛ハ輸出免狀ヲ貨主ヨリ受取リ其ノ餘白又ハ裏面ニ驛長印ヲ押捺シテ運送目録ニ代用シ税關官吏ノ認印ヲ得テ貨物ト共ニ之ヲ着驛ニ送付スルコト

一、貨物着驛ニ到達シタルトキハ着驛ハ前項ニ依リ發驛ヨリ送付シタル輸出免狀ノ餘白又ハ裏面ニ貨物到達ノ日時ヲ記入シ驛長印ヲ押捺シテ之ヲ税關ニ提出スルコト

一、貨物朝鮮外ニ搬出セラレタルトキハ税關ハ前項ノ輸出免狀ニ朝鮮外ニ搬出ノ月日ヲ記入シテ

之ヲ着驛ニ還付スルコト

着驛ハ之ニ依リ還付ヲ受ケタル輸出免狀ヲ直ニ發驛ニ送付シ發驛ハ之ヲ貨主ニ還付スルコト

一、前各項ノ規定ハ移入手數未済貨物及移出手數済貨物ニ之ヲ準用ス

一、内地發鐵道運送貨物ノ運送目録ハ關釜連絡船々長ニ於テ三通ヲ作り式ニ依リ裏書ヲ爲シ税關官吏ノ認印ヲ得テ積荷目録ノ提出ニ代フルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ其ノ運送目録ハ貨物ノ陸揚ヲ爲スト同時ニ之ヲ發驛ニ送付シ發驛ハ之ニ依リ裏書其他ノ手續ヲ爲スコト

一、前項ノ目録ニ記載ノ貨物中發驛ニ於テ積殘品ヲ生シタルトキハ發驛ハ第三號書式ノ積殘品目録二通ヲ作り一通ハ之ヲ税關ニ提出シ他ノ一通ハ其ノ税關ノ認印ヲ得テ運送目録ニ添付シ之ヲ着驛ニ送付スルコト

前項ノ積殘品目録ハ着驛ニ於テ運送目録提出ノ際之ヲ添付スルコト

一、前項ノ積殘品ヲ追送セムトスルトキハ發驛ニ於テ第四號書式ノ追送目録二通ヲ作り一通ハ之ヲ税關ニ提出シ他ノ一通ハ其ノ税關ノ認印ヲ得テ之ヲ着驛ニ送付スルコト

追送貨物着驛ニ到達シタルトキハ着驛ハ前項ニ依リ發驛ヨリ送付シタル追送目録ト對照シ其

ノ照合ヲ認メタルトキハ之ニ貨物到達ノ裏書ヲ爲シ之ヲ税關ニ提出スルコト

三、西伯利經由旅具國際運送ニ關スル手續ノ大要

旅客ハ手荷物ニ對スル税關入市税應及警察ノ検査ニ立會フモノトス此等ノ手續ニ旅客カ立會ハサル爲ニ生スル結果ニ對シテハ旅客自ラ其ノ責ニ任スルモノトス

手荷物ノ検査ハ左記ノ通り之ヲ行フ

託送手荷物ノ税關検査ハ手荷物證書ニ記載セル到達驛ノ屬スル國ノ税關ニ之ヲ行フモノトス

(イ) 支那及日本ニ向フ經路

露西亞ノ税關

アレキサンドロポ、スカルミルチース
ヅエルツポローテ、グラニツア

經由 ボクラニーチナヤ

時間不足ノ爲「ボクラニーチナヤ」ニ於テ税關検査ヲ行フ能ハサル場合又ハ旅客カ特ニ其希望ヲ述ヘタル場合ニハ「ウラジヲストツタ

支那ノ税關

滿洲里經由 ハルビン又ハ兩滿洲里鐵道ノ驛宛託送シタル場合ニハ滿洲里
ウラジヲ經由 上海宛託送シタル場合ニハ上海

日本ノ税關

ウラジヲ經由 敦賀又ハ長崎

大連經由 下ノ關門司神戸ニハ大阪

(ロ) 日本及支那發ノ經路

日本ノ税關

ウラジヲ經由 敦賀又ハ長崎

大連經由 下ノ關門司神戸又ハ大阪

四、露國鐵道聯絡運送狀ニ記載スヘキ事項

明治四十五年法律第十三號ニ依リ鐵道又ハ船舶カ露國ノ鐵道又ハ船舶トノ聯絡運送ヲ爲ス場合ニ於ケル運送狀ニハ左ノ事項ヲ記載シ荷送人之ニ署名又ハ記名捺印ヲ要ス

一、運送狀作成ノ地及年月日

二、發送驛又ハ發送港及發送運送業者ノ名稱

三、到達驛又ハ到達港

四、荷受人ノ氏名若ハ名稱住所又ハ運送狀ノ副狀ノ所持人ニ運送品ヲ引渡ストキハ其ノ旨

- 五、運送品ノ種類、重量又ハ發送鐵道若ハ發送船舶ノ規則ニ依リ之ニ代ハルヘキ事項、箇數、荷造ノ種類、記號及番號
 - 六、運送品ノ滅失又ハ毀損ノ場合ニ於テ支拂フヘキ損害賠償ノ最高額ヲ定メタル特別貨率ノ適用ヲ取クヘキトキハ其ノ請求
 - 七、運送品ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益ヲ豫定スルトキハ其ノ金額
 - 八、運送便ノ種類
 - 九、税關、收税廳及警察官署ニ對スル手續上必要ナル添附書類ノ目錄
 - 十、代理人ヲシテ税關手續ニ立會ハシムヘキトキハ其ノ代理人ノ指定
 - 十一、荷送人カ運送貨ヲ支拂ヒ又ハ其ノ概算額ヲ運送業者ニ供託スルトキハ其ノ額
 - 十二、代金引換ヲ委託シ又ハ前貸金ヲ受クヘキトキハ其ノ金額
 - 十三、運送線路ヲ指定スルトキハ其ノ線路
 - 十四、税關手續又ハ警察手續ヲ行フヘキ驛又ハ港ヲ指定スルトキハ其ノ驛又ハ港
 - 十五、荷作人ノ住所
- 運送狀ノ様式ハ鐵道及船舶之ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クルコト

第七章 消費稅

第一節 消費稅ノ意義及性質

消費稅ノ意義及性質ニ關シテハ第一章第二節關稅ノ意義及性質ノ部ニ詳述セル處アルヲ以テ茲ニ絮說ノ必要ナキモ要スルニ消費稅ハ其ノ分類間接稅ニ屬シ從テ其ノ法律上ニ於ケル納稅義務者ハ縱令製造人若クハ引取人ナリト雖製造人若クハ引取人ハ販賣ノ際其ノ負擔ヲ他ニ轉嫁シ得ラルルモノニシテ結局其ノ負擔ハ之ヲ消費スルモノノ負擔ニ歸着ス

茲ニ所謂消費稅トハ法文上特ニ消費稅ナル文字ヲ使用セル砂糖消費稅、織物消費稅及石油消費稅ノ三種ニ止マリ其性質何レモ財政上收入ノミヲ目的トスル所謂對內的租稅ニ屬ス從テ之カ課稅ニ關シテハ主トシテ稅務署管轄域ニ屬スヘキモノナルモ外國ヨリ輸入スル場合ニ於ケル叙上三種ノ物品ニ對スル消費稅ニ關シテハ税關又ハ其他ノ保稅地域ヨリ引取ラルル際便宜税關ニ於テ徵收スヘキ特別規定アルヲ以テ一般輸入手續ノ外尙本稅納付上以下各節列記ノ手續ヲ要ス

税關ニ於テ輸入品ニ對シ關稅ノ外更ニ内地消費稅ノ徵收ヲ初メタルハ明治三十四年法律第十三

號砂糖消費稅ヲ以テ嚙矢トス而シテ其ノ當時ニ於ケル砂糖消費稅ニ關シテハ英國トノ條約ニ依リ砂糖ニ對シテハ協定稅率アリ從テ砂糖ニ對スル關稅ハ我國任意ニ之カ引上ケヲ爲スヲ得サルモ條約文中他ノ一方ニ於テ日本カ其ノ精糖ノ產出ニ對シ増稅ヲ要スルトキハ其ノ増稅シタル內國稅ト同額ノモノヲ輸入ノ際課シ得ルコトノ規定アルニ基キ財政上茲ニ初メテ砂糖消費稅ナルモノヲ起シ徵收ノ便宜上本稅ハ輸入引取ノ際關稅ニ於テ徵稅スルコトトセリ

其ノ後明治三十七八年ノ事變ニ際シ戰時財源ニ充ツルカ爲メ非常特別稅トシテ織物及石油ニ對シ消費稅ヲ課シ外國ヨリ輸入スルモノニ對シテハ砂糖ノ場合ト同シク稅關其他保稅地域ヨリ引取ル際關稅ニ於テ課稅スルコトトセリ而シテ本稅ハ其ノ當時孰レモ非常特別稅トシテ一時的租稅タリシモ其後明治三十九年ニ至リ非常特別稅ナル名稱ハ之ヲ廢止セララルト共ニ永久稅ニ改マレリ元來關稅モ亦一種ノ消費稅ナルコトハ第一章ニ於テ述フルカ如クナルヲ以テ稅關カ關稅ノ外ニ更ニ內地消費稅ヲ徵收スルカ如キハ徵收上二重ノ手數ヲ要シ煩累少ナカラサルヲ以テ協定稅率ナルモノアルカ爲メ稅率ノ引上ヲナシ難キモノヲ除クノ外ハ少クモ之カ消費稅ハ他ノ內地消費稅アル酒、醬油等ノ如キモノト同様關稅中ニ相當鹽梅シ包含セシメテ徵收スルヲ利便トス然ラサレバ少ナクモ之カ煩累ヲ省略セントスルニハ關稅算出ノ基礎並ニ之カ標準ニ關シテハ關稅定率表ト同

一ナラシムルヲ必要トス

例ヘハ織物ノ如キ大部分ハ關稅定率法ニ於テハ經緯ノ系數及其ノ重量ヲ標準トシタル從量稅ナルニ同消費稅法ニテハ從價稅ナルヲ以テ稅關ニ於テハ品質、數量ノ檢査ノ外他ノ一面ニ於テ之カ市場價格ヲモ調查スルノ必要アリ石油ノ如キモ關稅定率法ニ於テハ礦油ナル名稱ノ下ニ包含セラレ且ツ比重ニ依リ各其ノ率ヲ異ニスルノミナラス關稅ハ每十「ガロン」ヲ單位トスル從量稅ナルニ同消費稅法ニテハ普通商業上ノ稱呼タル石油ナル名稱ヲ用キ比重ノ相違ハ勿論課稅ノ單位モ下石量ヲ標準トシタル從量稅ナリ又砂糖ノ如キモ其ノ關稅標準ノ分類カ關稅定率法ト異ル處アリ斯ノ如ク其ノ標準ノ異ルニ從ヒ一ツ物品ニ對シ課稅上二様以上ノ調查ヲ同時ニ爲スノ困難アルハ勿論一方輸入者ハ之カ爲メ自然引取ノ遲延ヲ來シ延イテ商機ヲ逸スルノ虞レナシトセス是ヲ以テ本稅賦課ノ方法並ニ標準ニ關シテハ尙一層考究ノ餘地アルモノトス

第二節 織物及石油ニ對スル課稅上ノ分類

一、織物

織物消費稅法ニ於テハ織物トハ如何ナル程度ノモノヲ以テ織物トスルカハ別ニ之カ範圍ヲ示サ

ナルヲ以テ之カ範圍ニ就テハ實際ニ於テ種々論議ヲ生スルコトアリ是ヲ以テ研究考究ノ結果疑問ヲ生スヘキ處アル部分ニ對シ左記ノ通りニ内定セラル

一、左記織物ニ付テハ課税ノ取扱ヲ爲ササルモノトス

- (イ) 漁網地、養蠶網地、苗育布地、ベンネット地、ホース、バットスポンジクロス、洋服ノ袖裏地、劍釣地、彈丸釣地、鞍張地、馬腹帶地、壁下布、真田紐、ツボン釣地、ランブ心地、縁物ノ類、靴護謨布、護謨入平紐、ガーゼ用ノ織物、ネームクロス、調帶地、綬地、飾帶地、懸章地、リボン地（織巾三寸以内ノモノ）髮掛地（同上）

(ロ) 一箇ツツ袋織ト爲セル郵便行囊、現金行囊、掛カバン、工夫用カバン等ノ未製品

(ハ) 油布、革布、リノリウム、アーチストカンパス、トレーシングクロス、製本用綿布

(ニ) 石絨布、經木織物、金モール織、馬糞織（經緯トモ馬毛ノモノ）、鯨鬚織物、籠織ノ窓掛地（竹木ノ類ヲ織込ミタルモノ）

(ホ) 前各項ニ該當スルモノノ外織巾一寸以内ノ織物及織面方一尺以内ノ織物

二、左記織物ニ付テハ課税ノ取扱ヲ爲スモノトス

(イ) 連製手拭（經系ノミヲ以テ接続スルモノ）連製手巾（同上）連製タオル（同上）座蒲團

地（同上）袋物地（同上）ノ類

(ロ) 兵兒帶、シート、縁縫シタル毛布、ブランケット（單製連製ヲ分タス且縁縫ノ有無ヲ問ハス）織物ノ「フェルト」氈（同上）旅氈（同上）地氈（同上）麻氈（同上）肩掛（縁縫シタル毛布類似ノモノ）腰帶

(ハ) 雨衣地、父多兒塗布（タードカンパス）

(ニ) 葛布、芭蕉布、鳳梨布、トンビヤン布、楮布、竹布、紙巾、藤布、檜布、

(ホ) 額地、由多加締、段通、袱紗地、皿敷地（單ニ縁縫シタルモノヲ含ム）、襦袢地（同上）

(ヘ) 其他ノ織物

又課税價格ハ申告價格ニ依ルヲ原則トスルモ政府ニ於テ其ノ申告價格ヲ不相當ト認ムルトキハ政府ハ其ノ織物ノ價格ヲ評定ス申告者カ此評定價格ニ不服アルトキハ即時異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得而シテ異議申立アリタルトキハ二人以上ノ鑑定人ヲ選定シ其ノ意見ヲ徴シ政府之ヲ決定ス異議申立人ノ主張ニ依ル價格ト此決定價格トノ差カ政府ノ評定價格ト此決定價格トノ差ヨリ大ナルトキハ鑑定ニ關スル費用ハ申立人ニ於テ負擔セサルヘカラス

而シテ税關ニ於テハ普通輸入申告書ニ添付スル仕入書記載ノ價格ヲ參照シ之ニ依リ課税價格ヲ

定ムルモ若シ仕入書記載價格カ不相當ト認ムルトキハ前記評價手續ニ依ルコト勿論ナリ然レトモ
稅務署ニ於テハ多少稅關ト其ノ手續ヲ異ニシ各種織物ニ付キ成ルヘク標準價格ヲ豫定シ置キ之ニ
依リ申告セシメ査定シ居ラルルカ如シ

二、石 油

關稅定率法輸入稅表中ニハ石油ハ總テ礦油ナル名稱ノ下ニ包含セラル而シテ礦油ハ一、「原油」
二、「其ノ他」ノ二項ニ區別セラレ更ニ原油ハ蒸餾液ノ原液ノ容量ニ對スル率ニ依リ甲乙丙丁戊己
ノ六目ニ分類セラレ二、「其ノ他」ハ比重ニ依リ甲乙丙ノ三目ニ分類セラル而シテ右分類中商業上
稱呼スル石油（燈火用）ハ多クハ二、「其ノ他」ノ「甲」比重〇、七三〇ヲ超エサルモノニ該當ス
而シテ之カ關稅率ハ每十「ガロン」五十錢トス然レトモ輸入ノ石油必スシモ甲ノミニ該當スルモ
ノト云フヲ得ス何トナレハ石油ノ比重ハ必スシモ甲ノ所謂〇、七三〇ヲ超エサルモノトノミ斷定
スルコトヲ得サルニ依ル是ヲ以テ石油ノ課稅範圍ニ關シテハ大略左ノ如ク內定シ之ニ依リ課稅セ
ラルルカ如シ

- 一 燈火用ニ供シ得ヘキ石油ノ範圍ハ攝氏十五度半ノトキニ於テ比重〇、八六〇（ポーマー比
重約二十八度）乃至〇、七六九二（ポーマー比重約五十二度）トシ機械油及高熱分解油一

名輕質油ノ如キ普通石油以外ノ色澤ヲ有シ惡臭ヲ放ツモノハ前記度數ニ拘ラス課稅外ニ置
クモノトス

前記ノ如ク關稅ハ何レモ從量「ガロン」ニ依リ課稅スルモ消費稅ハ石量ニ依リ課稅セラルルモ
ノナルヲ以テ輸入ノ際消費稅ニ對シテハ之ヲ石ニ換算セサルヘカラス而シテ石ニ換算スルニ當リ
右「ガロン」ヲ英「ガロン」トシテ換算スルト又米「ガロン」トシテ換算スルトニ依リ石量ニ至
大ノ相違ヲ生ス普通「ガロン」ト稱スルハ英「ガロン」ヲ指ス如ク思考スルモノナキニアラサル
モ輸入稅表ニ所謂「ガロン」トハ米「ガロン」ナルヲ以テ石ニ換算スルニ當リテハ特ニ之カ注意
ヲ要ス而シテ稅關ニ於テ米「ガロン」ニ對スル榭目ノ換算割合ハ一「ガロン」ヲ我カ二升九勺八
才四六トシテ計算ス詳細ハ第十四章度量衡ノ部參照セラルヘシ

第三節 消費稅納付手續

一、織物消費稅

織物ヲ輸入シ之カ消費稅ヲ納付セントスルニハ織物引取申告書ニ式ノ如ク記入シ之ヲ輸入申告
書ニ添付シ普通一般ノ輸入手續ヲ經關稅納付ノ際關稅納稅告知書ト共ニ消費稅納稅告知書ヲ請取

リ日本銀行派出所ニ就キ之ヲ納付シ輸入免狀ヲ受クル際併セテ之カ領收證ヲ當該官吏ニ示スヲ要ス

然ルニ織物消費稅第四條ニ「消費稅ハ製造場・稅關又ハ保税倉庫ヨリ織物ヲ引取ルトキハ引取人之ヲ納付スヘシ云々」トアルヲ以テ消費稅ノ納付ハ輸入手續ノ全部ヲ終了シタル後引取ノ際納付スレハ差支ナキモノト解釋シ輸入申告ト同時ニ引取申告ヲ爲ササルモノアルモ明治四十四年三月法律第四十五號及同年六月勅令第八十六號ノ「砂糖及織物消費稅等ノ徵收ニ關スル件」(本章第四節參照)ニ依リ消費稅ハ關稅ヲ徵收スルトキ稅關之ヲ徵收ストアリ又其ノ消費稅ハ關稅納付ノ義務者ヨリ之ヲ徵收ストアルヲ以テ結局消費稅ハ關稅納付ト同時ニ之ヲ納付スヘキモノナルヲ以テ稅關ニ於テハ消費稅納付未済ノ貨物ニ對シテハ縱令關稅ハ納付ナルニモセヨ輸入免狀ヲ交付セス從テ輸入申告者ハ之ヲ引取ルトコトヲ得サルモノトス

是ヲ以テ若シ輸入申告検査終了ノ後若クハ關稅納付ノ後ニ於テ引取申告書ヲ差出スニ於テハ記帳其他輸入申告書トノ照合等ノ爲メ意外ノ時間ト手續トヲ要スルノミナラス延イテ引取ニ遲延ヲ來シ之カ結果商機ヲ逸シ又ハ上屋使用料等ニ付キ損失スル處アルヘキヲ以テ引取申告書ハ必ス輸入申告書ト共ニ提出スルヲ要ス尤モ同法第五條ノ規定ニ依リ消費稅額ニ相當スル擔保ヲ提供スル

トキハ三ヶ月以内ハ消費稅ハ之カ徵收ヲ猶豫セラルルモノトス

前記三ヶ月以内ノ徵收猶豫ノ外向織物消費稅法第七條ニ「左ニ掲クル場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ消費稅ヲ納付セスシテ織物ヲ引取ルトコトヲ得」トアリ

- 一、他ノ製造場ニ移出シ又ハ藏置場ニ藏置スル爲メ織物ヲ引取ルトキ
- 二、染色、捺染、刺繡其他ノ加工ヲナス爲メ製造場又ハ藏置場ヨリ織物ヲ引取ルトキ
- 三、一定ノ場所ニ於テ消費稅ヲ納付スル爲メ政府ノ定メタル條件ニ從ヒ製造場又ハ藏置場ヨリ

織物ヲ引取ルトキ

稅關ニ於テハ關稅定率法第八條第一號加工ノ爲メ輸入スル物品(第五章第三節參照)ノ如キモノニ對シテハ前記消費稅第七條ノ二ノ規定ノ趣旨ヲ準用シテ從來信用シ來リタル人ノミニ限リ便宜擔保提供ノ手續ヲ爲サシメス之カ引取ヲ許可スルトアリ法規ノ所謂移出承認ナルモノ即チ是ナリ尙織物ニ對スル輸出生金下付手續ニ關シテハ第八章戻稅交付金ノ部參照セラルヘシ

二、砂糖消費稅

砂糖消費稅モ亦織物消費稅徵收ノ場合ト同シク同法第四條ニハ製造場・稅關又ハ保税倉庫ヨリ引取ルトキ之ヲ徵收ストアルモ前項織物ノ部ニ於テ述フルカ如ク明治四十四年法律第四十五號及

同年六月勅令第八十六號ニ依リ消費税ハ關稅ヲ徵收スルトキ之ヲ徵收スルモノトストアルヨ以テ引取申告書ハ輸入申告書ニ添付シ提出スルヲ要ス尙消費税ハ前項織物ノ場合ト同シク擔保ヲ提供スルトキハ同條但書ニ依リ之カ徵收ヲ猶豫シ得ラルルモノトス而シテ其ノ猶豫期間ハ六ヶ月以内ナリ

又同法第五條ノ規定ニ依リ内地消費ノ目的ニ非スシテ製造場稅關又ハ保税倉庫ヨリ引取ラルル砂糖ニ對シテモ亦前記同様擔保物提供ノ下ニ六ヶ月間ノ徵收猶豫アルモノトス而シテ此期間内ニ輸出又ハ積戻ササルニ於テハ提供シタル擔保物ハ消費税ニ充當セラルルコトナルヘキモ同法第十一條ノ一ニ依リ承認ヲ受ケ砂糖・糖水又ハ酒精製造ノ原料トシテ製造場、稅關又ハ保税倉庫ヨリ引取ラルル砂糖及糖蜜ニハ消費税ヲ課セサルモノトス而シテ此ノ場合ニ於ケル擔保提供ニ關シテハ法規ハ單ニ「擔保ヲ提供セシムルコトヲ得」トアリ從テ稅關ニ於テモ貨主又ハ取扱人ノ信用又ハ承認數量ノ多寡ニ依リ擔保ヲ要スル場合ト否ラサル場合トアリ

以上手續終了シタルトキハ稅關ハ引取承認ノ旨ヲ製造地所轄稅務署ニ通知シ稅務署ニ於テハ該砂糖カ到着シタルトキハ之ヲ稅關ニ通知シ稅關ハ此通知ニ依リ之ヲ整理シ擔保ヲ提供シタルモノニ對シテハ擔保解除ノ手續ヲ爲サシムルモノトス尙砂糖輸出交付金下付手續ニ關シテハ第九章參

照セラルヘシ

三、石油消費税

石油消費税モ亦同シク同法第四條ニ製造場、稅關又ハ保税倉庫ヨリ引取ルトキ之ヲ徵收ストアルモ前項記載ノ如ク消費税ハ關稅ヲ徵收スルトキ之ヲ徵收スルモノトストアルヲ以テ引取申請書ハ輸入申告書ト同時ニ提出スルヲ要ス又同法第五條ニ依リ消費税ニ相當スル擔保ヲ提供シタルトキハ三ヶ月以内ノ徵收猶豫アリ又石油消費税法第六條ノ規定ニ依リ輸入石油ヲ一ト先ツ貯藏所ニ移出スル場合ニ於テハ消費税ヲ納付セスシテ之カ引取ノ承認ヲ得ラルルコトアリ而シテ稅關カ之ヲ承認スルニ當リテハ多クハ擔保ヲ提供セシムルモ地方廳所管ノ石油貯庫ニ入ルル場合ハ無擔保承認ヲ爲ス例ナキニアラス

又同法施行規則第九條第三項ノ規定ニ依リ消費税ノ免除ヲ得タル石油ヲ製造場、稅關又ハ保税倉庫ヨリ引取リタル後六ヶ月以内ニ外國ニ輸出シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ所轄稅務署ニ提出セサルトキハ外國ニ輸出セラレサルモノト看做シ消費税ヲ徵收セラルルモノトス尙石油輸出交付金下付手續ニ關シテハ第九章戻稅交付金ノ部參照セラルヘシ

第八章 戻税交付金

第一節 戻税交付ノ意義

元來消費税ハ其ノ目的全ク内地消費者ニ負擔セシムルニ在リテ外國消費者ニ對シ負擔セシムルキ性質ノモノニアラス又一方産業獎勵ノ上ニ於テモ若シ内地消費税ヲ外國消費者ニ轉嫁セシムルニ於テハ彼ノ輸出税ノ場合ニ於ケルト同シク其ノ物品ハ消費税ナル負擔ヲ有スルヲ以テ外國市場ニ於テ外國品ト競争上非常ナル不利益ノ位置ニ立タサルヘカラス是ヲ以テ各國孰レモ消費税ヲ課セラレタル物品ノ輸出ニ際シテハ之カ消費税ヲ返戻シ若クハ之ト同額ノ金額ヲ交付ス所謂戻税ノ制即チ是ナリ

我國ニ於テハ明治二十一年勅令第四十七號醬油造石税ノ下戻ヲ以テ嚆矢トス而シテ爾來輸出貨易ノ繁盛ト共ニ一方内地工業ノ發展ニ伴ヒ返戻交付ノ範圍ハ著シク擴大セラレタリ而シテ之カ種類ハ大別スレハ内國税ノ下戻ト輸入關稅ノ下戻トノ二種ニ區別セラル而シテ内國税ノ下戻トハ内地消費税ナル醬油及酒類ノ造石税又ハ砂糖、石油及織物等ノ消費税ニシテ又關稅ノ下戻トハ輸入

品ヲ原料トシテ製造シタル物品ヲ輸出スルニ當リ之カ原料タル輸入税ヲ下戻スルモノニシテ之カ適用ヲ受クヘキモノハ勅令ニ依リ規定セラル

第二節 戻税交付金下戻請求手續

消費税ヲ課セラレタル物品ヲ輸出シ之カ下戻ヲ受ケントスルニハ第五章第二節ニ於ケル普通輸出手續ヲ爲スト同時ニ之カ下戻ヲ受クルニ付テハ物品ノ種類ニ依リ關稅法規定ノ外各稅法ノ規定ニ依リ特別書類ノ提出其他特別ノ手續ヲ要スルヲ以テ説明上先ツ内國税ノ下戻ト輸入原料品ノ輸入税ノ下戻トノ二項ニ區別シ各品毎ニ之カ手續ヲ述フ尤モ船用品トシテ積入ルル場合ニハ總テ戻税交付金ノ請求ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

一、内國税ノ下戻

(イ) 酒類

造石税ヲ課セラレタル酒類即チ清酒、濁酒、白酒、味淋、麥酒、混合酒、酒精等ヲ輸出シ之カ造石税ノ返戻ヲ受ケントスルニハ輸出ノ際輸出申告書ニ式ノ如ク記入スルノ外摘要欄又ハ其他適當ノ場所ニ査定ノ年月日、製造場所、輸出到着先、内地寄港地名、積載船舶ノ噸數、酒精ノ容量

並ニ戻税ヲ要スル旨ヲ記入シ尙申告書ニ査定済證明書（所轄稅務署ニ於テ交付ス）ヲ添付スルヲ要ス其他ノ手續ハ全部普通輸出貨物ノ手續ト同様トス

前記積載船舶カ若シ登簿噸數二百噸以下ノ船舶ナル場合ニハ造石稅ノ下付ヲ受クルコトヲ得サルモノトス又二百噸以上ノ船舶ニ積載スト雖モ該船舶カ海難其他止ムヲ得サル事故ニアラスシテ申告書記載ノ寄港地以外ノ内地沿岸ニ寄港シタルトキハ是亦造石稅ノ下付ヲ請求スル事ヲ得ス是レニ取締ノ關係ニ基ク制限ニ過キサレヘキモ他ノ戻稅交付金アル醬油、砂糖、石油、織物等ノ貨物ニ對シテハ此等ノ制限ナキヲ以テ其ノ取締比較的嚴ナル嫌ナキニアラス尙申告書ニ記載スヘキ酒精ノ容量ハ混成酒ノ場合ニ限り之ヲ記入シ清酒、白酒、濁酒、麥酒ニ對シテハ酒精ノ容量ハ之カ記入ヲ要セス

右造石稅ノ下付ヲ請求スルニハ輸出後一ケ年内（一年ヲ過クルトキハ請求ノ權ナキモノトス）ニ下戻金請求書ニ式ノ如ク記入シ之ニ輸出免狀ト外國ニ陸揚シタルコトヲ證スヘキ書類（但シ朝鮮ニ移出シタルモノノ陸揚證明ハ朝鮮稅關ノ證明シタルモノニ限ル）ヲ添ヘ尙此外ニ所轄稅務署ヨリ交付ヲ受ケタル納稅済證明書ヲ添付シ總務課ニ提出ス同課ハ調査ノ上之ヲ會計課ニ廻付シ同課ハ其ノ請求者カ稅關所在地内ニアルトキハ使丁ヲシテ決定通知書ヲ送達シ拂戻金領收ノ手續ヲ

爲スヘキ旨ヲ通報シ所在地外ニアルトキハ決定通知書ト共ニ小切手ヲ送付ス

(□) 醬油

醬油ヲ輸出シ之カ造石稅ノ返戻ヲ受ケントスルニハ輸出ノ際輸出申告書ニ式ノ如ク記入スルノ外摘要欄ニ釀造元並ニ釀造ノ年月日其ノ他造石稅交付ヲ要スル旨ノ記入ヲ要ス其他手續ニ關シテハ第五章輸出ノ部ニ於ケル普通貨物ト同様トス

右造石稅ノ拂戻ヲ請求セントスルニハ下戻請求書ニ式ノ如ク記入シ之ニ輸出港稅關ノ検査済證明書並ニ輸入港稅關ノ陸揚免狀若クハ其他證憑トナルヘキ書類ニ該港在留ノ我國領事ノ檢印ヲ受ケタル書類ヲ添ヘ提出スルヲ要ス

前記提出書類中輸出港稅關ノ検査済證明書ナルモノハ必シモ殊更ニ手数料ヲ納付シテ之カ證明書ヲ得ルヲ要セス輸出免狀ヲ以テ之ニ代ユルコトヲ得然ルニ當業者ハ動モスレハ検査済證明書ナル字句ニ拘泥シ手数料ヲ納メ之カ證明書ノ下付ヲ出願スルモノ少ナカラサルハ要スルニ醬油以外ノ他ノ戻稅交付金アル物品ハ各其ノ法規ニ於テ總テ輸出免狀ナル文字ヲ使用セルニ獨リ醬油ノミニ對シ検査済證明書ナル文字ヲ使用スル結果ニ外ナラス

又外國ニ陸揚シタルコトヲ證スヘキ陸揚證明ノ形式ニ於テモ輸入港稅關ノ證明ニ對シ尙其ノ上

ニ領事ノ檢印ヲ要スルカ如キハ他ノ戻稅品ニシテ全ク外國陸揚ノ證明ヲ要セサルモノ若クハ之カ證明ヲ要スルモ證明スヘキ機關ヲ限定セサルモノニ比シ非常ナル寬嚴ノ差アリ斯ノ如キハ法規ノ統一ヲ缺クノミナラス當業者ノ煩累尠ナカラサルヘキヲ以テ之カ改正ヲ要ス

尙醬油ノ内ニハ溜ヲモ包含スルヲ以テ溜ノ場合ニハ其旨ヲ付記スルヲ要ス而シテ造石稅返戻ノ率ハ醬油ハ諸味一石ニ付一圓七十五錢ニシテ製成醬油一石ニ對スル諸味石數ノ換算歩合ハ前年中ニ於ケル全國ノ平均歩合ニ依ル規定ナルヲ以テ毎年多少其ノ率ヲ異ニスルモ大略製成醬油七斗七升五、六合ノ見當ヲ以テ諸味一石ニ換算セラル而シテ溜ハ製成一石ニ付金一圓六十、五錢トス

(ハ) 菓子糖果

消費稅ヲ課セラレタル砂糖ヲ用ヒ製造シタル菓子又ハ糖果ヲ輸出シ之ニ使用シタル砂糖消費稅ニ相當スル金額(百斤ニ付五圓ノ割)ノ下付ヲ受ケントスルトキハ輸出ノ際輸出申告書ニ式ノ如ク記入スルノ外適當欄内ニ菓子又ハ糖果ノ種類、各種類ノ數量、製造者ノ氏名、製造場所ヲ記載スルヲ要ス其他手續ハ普通貨物ト同様トス

右申告書ヲ受理シタルトキハ稅關ハ每種類毎ニ相當見本ヲ徴シ甘蔗糖ノ含有量ヲ檢定ス而シテ之カ檢定ハ總テ分析ニ依ルモノナルヲ以テ相當ノ日子ヲ要ス從テ普通貨物ノ如ク出帆期日ニ切迫

シテ申告ヲ爲スカ如キコトアリテハ時ニ積込ノ機ヲ失スルコトナキヲ保セス少クモ出帆期日三日前位迄ニ貨物ヲ搬入シ申告書ヲ差出シ置クヲ要ス

又甘蔗糖ノ含有量モ出來得ヘクンハ可成申告書ニ記載シ置キ且ツ分析ニハ每種類毎ニ一定ノ量ヲ要スルヲ以テ分析ノ分トシテハ別ニ持參シ置クハ勿論貨物ハ殆ント全部檢査ナルヲ以テ之カ外裝ハ充分ノ釘付ケヲ爲サス假打付位ニ止メ置クヲ便利トス而シテ之カ輸出ハ目下横濱、神戸、大阪、長崎、門司ノ五稅關ニ限ラル又臺灣ニ在リテハ基隆、淡水、安平及打狗ノ四稅關ニ限ラルヲ以テ此ノ以外ノ港ヨリ輸出スルモノハ下付金ヲ受クルコトヲ得ス尙輸出量ノ制限ニ於テハ一回ノ輸出菓子及糖果ノ數量合セテ三百斤ニ滿タサル場合ニ於テハ下付金ヲ請求シ得サルモノトス
右下付金ヲ請求セントスルトキハ輸出後一ケ年内(一ケ年ヲ經過スルトキニハ請求スルコトヲ得ス)ニ下付金請求書ニ式ノ如ク記入シ之ニ輸出免狀又ハ之ニ代ルヘキ稅關ノ證明書並ニ外國ニ陸揚シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添付シ總務課ニ差出スモノトス而シテ之カ金錢受領ニ關シテハ前述ノ通りトス

(ニ) 織物及其ノ製品

消費稅ヲ課セラレタル織物又ハ之ヲ以テ製造シタル物品ヲ輸出シ之カ消費稅ノ返戻ヲ受ケント

スルニハ輸出申告ノ際輸出申告書ニ式ノ如ク記入シ消費税ノ返戻ヲ要スル旨ヲ付記シ之ニ所轄稅務署ヨリ交付ヲ受ケタル納稅濟證明書又輸入品ニアリテハ輸入免狀並ニ消費税納付濟領收證ヲ添付シ検査ヲ受ケタル後積込ムモノニシテ其他ノ手續ハ普通輸出貨物ト同様トス

右拂戻金ノ請求ヲ爲サントスルニハ輸出交付金請求書ニ式ノ如ク記入シ總務課ニ差出スコト而シテ本品ハ外國ニ陸揚セル事ノ證明ヲ要セサルヲ以テ稅關取締トシテハ積込ノ際ニ乘船ノ稅關監吏ニ輸出免狀ヲ呈示セシメ之カ積込濟ノ認印ヲ受ケシムヘキ規定ナルヲ以テ積込ノ際ハ必ス本船迄輸出免狀ヲ携帶シ乘船稅關吏ニ之カ積込濟ノ認印ヲ受クルコトニ注意ヲ要ス尤モ郵便ニテ外國ニ郵送スル場合ニハ豫メ稅務署ニ届出テ其ノ承認ヲ受ケ置クヘシ

(ホ) 石油及砂糖

石油及砂糖消費稅拂戻ニ關シテハ前記織物ノ場合ト略同様ナルヲ以テ之ヲ略ス其他製造煙草交付金、賣藥印紙稅免除等アルモ此等ハ外國輸出以前ニ於テ前者ハ專賣局、後者ハ稅務署ニ相當手續ヲ爲シ豫メ免除ノ承認ヲ受ケ得ラルモノナルヲ以テ茲ニ詳述セサルモ稅關手續トシテハ普通貨物ト同シク申告書ヲ提出シ検査ヲ受ケ輸出スルモノトス

二、輸入稅ノ下戻

(イ) 第一種

製造品 輸入原料品 拂戻率

- 一 硝子鏡 無色平面ノ硝子板(厚四ミリメートルヲ超エサルモノヲ除ク) 製造品中ノ構成量 每百平方メートル 五拾六圓三拾錢
- 千平方センチメートルヲ超エサルモノ 製造品中ノ構成量 每百平方メートル 百四拾二圓
- 千平方センチメートルヲ超エタルモノ 製造品中ノ構成量 每百平方メートル 納付シタル從價稅ノ全ニ付
- 二 掛時計又ハ置時計 金屬ヲ鍍セサル鐵線 製造品中ノ構成量 每百 納付シタル從價稅ノ全ニ付
- 鋼リボン 製造品中ノ構成量 每百箇 拾七錢
- 時計用樂器 製造品中ノ構成量 每百斤 七拾錢
- 三 飲食物罐詰 葉鐵 製造品中ノ構成量 每百斤 七拾錢
- 四 木箱用金具 葉鐵 製造品中ノ構成量 每百斤 七拾錢
- 五 葉鐵製ノ罐箱又ハ器具 葉鐵 製造品中ノ構成量 每百斤 七拾錢

六 罐入礦油又
ハ罐入酒精 葉鐵

五ガロン罐每二箇 二錢五厘

七 平紐、丸紐
又ハ總類 金屬入織絲

製造品中ノ構成量 納付シタル從價稅ノ全
部

八 人造絹絲製
品 人造絹

製造品中ノ構成量 八拾七圓九拾錢

九 衣服 毛織物及毛綿交織物（天鷲絨、
ブラツシユ其ノ他ノバイル織物
ヲ除ク）

一平方メートルノ重量百グラ
ムヲ超エ二百グラムヲ超エサ
ルモノ

製造品中ノ構成量 五拾二圓五拾錢

一平方メートルノ重量五百グ
ラムヲ超エサルモノ

製造品中ノ構成量 三拾圓

一平方メートルノ重量五百グ
ラムヲ超エタルモノ

製造品中ノ構成量 拾八圓

十 洋傘 關稅定率法別表第二百九十八號
ノ八ノ丙及九ノ丙ニ屬スル染色
又ハ捺印シタル綿織物

百平方メートルニ付二十キログ

ラムヲ超エサルモノニシテ五ミ
リメートル平方内ニ於ケル經緯
ノ絲數

二十七ヲ超エ三十五ヲ超エ
サルモノ 製造品中ノ構成量 拾八圓三拾錢

三十五ヲ超エ四十三ヲ超エ
サルモノ 製造品中ノ構成量 二拾二圓

四十三ヲ超エタルモノ 製造品中ノ構成量 二拾五圓八拾錢

金屬ヲ鍍セサル鋼線 製造品中ノ構成量 納付シタル從價稅ノ全
部

十一 硝子器 曹達灰 硝子器每百斤 八錢四厘

十二 無色平面
ノ硝子板
（厚四ミ
リメートル
ヲ超エ
サルモノ） 曹達灰 硝子板每百平方
メートル 四拾五錢

十三 珪瑯鐵器 金屬ヲ鍍セサル（有紋ノモ
ノ及波形ノモノヲ除ク）

厚〇、七ミリメートルヲ超エサルモノ

珐瑯鐵器每百斤 拾八錢

曹達灰

珐瑯鐵器每百斤 一錢

十四 燻入麥酒 曹達灰

大燻 (三合以上入ノモノ) 每百打 七拾九錢

小燻 (三合未滿入ノモノ) 每百打 五拾一錢

十五 オルガン オルガンリード

製造品中ノ構成量 二拾八圓

十六 鑄鐵管 銑鐵

鑄鐵管每百斤 八錢三厘

十七 アルミニウム製品 竿及板

製造品中ノ構成量 三圓三拾錢

前掲第一號ヨリ第十七號ニ至ル製造品ヲ輸出シ之カ原料ニ對スル輸入税相當ノ拂戻金ヲ受ケン
トスルニハ輸出ノ際輸出申告書ニ式ノ如ク記入シ拂戻ヲ要スル旨ヲ附記シ之ニ製造者ノ作製セル
製造證明書ト輸入免狀トヲ添付スルヲ要ス而シテ其ノ製造證明書ニハ少クモ製造品ノ名稱、數量
及其ノ製造品ヲ構成スル輸入原料品ノ名稱並ニ現數量、其他製造ノ場所、製造ノ年月日、製造者
氏名ヲ記載スヘシ

右ニ對スル拂戻金ノ請求ヲ爲サントスルモノハ拂戻金請求書ニ式ノ如ク記入シ之ニ輸出免狀ヲ

添付シ總務課ニ差出シ其他金錢ノ領收ハ總テ前述ノ通りトス而シテ本拂戻モ亦外國陸揚ノ證明ヲ
要セサルヲ以テ税關ニ於テハ取締ノ爲メ相當ノ規定ヲ設ケ輸出免狀ニハ必ス税關乘船監吏ノ積込
濟ノ證明ヲ受ケシムヘキ規定ナルヲ以テ本貨物ニ對シテハ本船積込ノ際乘船監吏ニ輸出免狀ヲ呈
示シ之ニ積込濟ノ證明ヲ受クルコトニ注意ヲ要ス

(口) 第二種 輸入税免除

製造品

輸入原料品

免 税 率

一、精糖、角砂糖、
棒砂糖

砂糖

和蘭標本色相第十一號未滿ノモノ

每百斤 金二圓五拾錢

和蘭標本色相第十五號未滿ノモノ

同 金三圓拾錢

和蘭標本色相第十八號未滿ノモノ

同 金三圓三拾五錢

二、氷砂糖

砂糖

和蘭標本色相第十一號以上第十五號未滿ノモノ

同 金三圓二拾錢

和蘭標本色相第十五號以上第十八號未滿ノモノ

同 金三圓四拾五錢

和蘭標本色相第十八號以上第二十一號未滿ノモノ

同 金四圓二拾五錢

和蘭標本色相第二十一號以上ノモノ	同	金四圓六拾五錢
三、胡麻油	胡麻子	同
四、荳胡麻子油	荳胡麻子	同
五、菜子油又ハ芥子油	菜子又ハ芥子	同
六、落花生油	落花生	同
	甲 脱殻セサルモノ	同
	乙 其他	同
七、小麦粉(粉末ヲ含ム)	小麦	同
八、麥酒	麥芽	同
九、銅、真鍮、青銅ノ板管等	塊錠	同
十、同上	故屑	同

前記第一號ヨリ第十號ニ至ル製造品ヲ輸出シ輸入ノ際免除率ニ相當スル擔保物ヲ請取ラントスルニハ輸出申告書ニ輸入免狀及稅務署ノ製品検査書尙外ニ擔保提供受領證ヲ添付シ輸出申告口ニ差出シ検査ヲ受ケ其ノ他一般貨物同様ノ手續ヲ爲シ本船ニ積込ミ該輸出免狀ニ乘船官吏ノ積込濟

ノ證明ヲ受ケ然ル後擔保預證ト共ニ之ヲ總務課擔保取扱係員ニ提出シ供託受領證ト引替ユルコト詳細ハ第五章條件付免稅品ノ部ヲ參照セララルヘシ

肥料	輸入原料品	免除率
一、大豆油糟	大豆	每百斤 金七拾錢
二、胡麻子油糟	胡麻子	同 金二拾一錢
三、荳胡麻子油糟	荳胡麻子	同 金拾九錢
四、菜子油糟又ハ芥子油糟	菜子又ハ芥子	同 金二拾五錢
五、落花生油糟	落花生	同
	甲 (脱殻セサルモノ)	同 金二拾一錢
	乙 (其他)	同 金二拾五錢
六、亞鉛華薄板等	亞鉛	同 金三圓

七、船舶建造及修繕用ノ爲輸入スル鐵鋼材機關等
前記一ヨリ七ニ至ル物品ハ之カ製造ヲ了シタルトキハ一乃至六ニ在リテハ稅務署ノ検査濟證ヲ稅關ニ提出シ曩ニ預ケタル供託金受領ノ手續ヲ爲スコト、七ノ場合ニ在リテハ管海官廳ニ申告シ

承認證ヲ受ケ之ヲ税關ニ提出スルコト詳細ハ第五章條件付免稅品ノ部參照但船舶建造及修繕用ノ爲輸入スル鋼材機關等ノ名稱ハ左ノ通りトス

一、鐵鋼材(船體用、機關用又ハ艤裝品用ノモノ)

鋼塊及鋼片(鑄造用ノモノ)

條及竿(テ-形、アングル形等ノ形狀ヲ有スルモノ及タービンブレードイングヲ含ム)板

筒及管(鑄タルモノヲ除ク)

二、艤裝品

操舵用テレモーター及テレモーター付操舵蛇裝置

水壓式支水隔壁戸及其ノ裝置

ウエリソン式ボートダビット及其ノ裝置

クレートン式消火消毒裝置

クロノメーター

厨房裝置

洗濯裝置

三、機關部分品

タービン用ノフォ-ジドインゴット、フォ-ジドディスク、フォ-ジドリダ、ホローブルーム、ロートルドラム及エキスハンションリング

コルゲーテッドボイラーネスチューブ

ハウデン式フアーネスフロント

マツクネ-ル式ノマンホールドア及マンホールアサツドルプレート

四、新規發明品又ハ本邦ニ於テ製作困難ナル特殊ノ物品ニシテ遞信大臣ノ認許ヲ得タル艤裝品艤裝部分品、機關又ハ機關部分品

尙前記各項ノ外朝鮮ニ於テ革製品製造ノ爲メ輸入スル原料タル革ニ對シテハ大正十年朝鮮總督府令第百三號ヲ以テ輸入税ヲ免除ス其ノ輸入原料品及之ニ對スル輸入税免除ノ率ハ左ノ如シ

輸入原料品

免除率

牛革、水牛革、馬革、綿羊革及山羊革

一、塗リタルモノ、染メタルモノ又ハ著色シタルモノ(ローラー)

レザーヲ除ク)

二、其ノ他 靴皮革

印度紅革

綿羊革、山羊革

其他

二六二
從價二割

每百斤 拾五圓二拾錢

同 九圓五拾錢

同 二拾四圓

從價二割

右ニ關スル手續ハ前記(ロ)第二種物品ノ場合ト略同様トス

第九章 假置場

第一節 假置場ノ意義及性質

假置場トハ陸揚シタル外國貨物ヲ假リニ藏置スル場所ニシテ此處ニ藏置ノ貨物ハ輸入ト見做サレサル點ニ於テハ保税倉庫ト異ナル處ナキモ保税倉庫ハ其ノ目的主トシテ内地消費ニ充ツル目的ヲ以テ輸入スル貨物ヲ藏置スルヲ本旨トスルニ反シ假置場ハ其ノ目的主トシテ外國ニ積戻スヘキ輸入貨物ヲ藏置スルヲ主眼トス從テ假置場ハ保税倉庫ト異リ其ノ場内ニ於テハ改装、仕分其他ノ手入ヲ爲シ得ルハ勿論製造加工ヲモ爲スコトヲ得ルモノニシテ且最近ニ至リテハ製造加工ヲ爲ス假置場ニ於テハ内國貨物ノ製造加工ヲモ併セテ施行スルコトヲ得ルニ至レリ

假置場ニ於ケル貨物藏置ノ期間ハ六ヶ月(延期ノ必要アルトキハ延期シ得ラル)ニシテ藏置期間中ハ關稅ハ勿論消費稅アル貨物ト雖之カ納付ヲ要セスシテ手入、仕分、加工、製造ヲ爲シ外國市場ノ景況ニ應シ隨意積戻又ハ輸出スルコトヲ得ルヲ以テ中繼貿易ノ機關トシテ能ク之ヲ利用スルニ於テハ其ノ利スル處蓋シ僅少ニアラサルヘシ

從來假置場ハ官設假置場ノミニシテ其ノ當時ニ於ケル利用ハ頗ル微々タルモノナリシカ大正元年假置場法改正ノ際私設假置場ヲ認メ私設假置場内ニ於テハ加工仕分其他ノ手入ハ勿論製造ヲモ爲シ得ルト共ニ又其ノ製造ニ際シ必要アル場合ニハ内國品ヲモ併用シ得ラレ利用ノ範圍頗ル擴大セルヲ以テ低廉ナル勞力ト地利トヲ利用シ外國貨物ニ加工ヲ爲シ又ハ之ヲ原料トシ或ハ内外國貨物ヲ併用シ製造ノ上之ヲ外國ニ積戻シ又ハ輸出スルニ於テハ前述ノ如ク輸入税ハ勿論消費税モ節約シ得ラルルノミナラス縱令均シク原料輸入税拂戻ノ制アル同一物品ヲ製造スルニモセヨ少クモ拂戻ニ要スル手數ヲ省キ併セテ輸入税ニ對スル利子ハ之ヲ節約シ得ラルルヲ以テ外國市場ニ於テ外國製品ト競争上有利ノ位置ニ立チ得ル利益アルモノト謂ハサルヲ得ス

前述ノ如ク假置場藏置貨物ノ販路ハ主トシテ外國市場ニ又保税倉庫藏置貨物ノ販路ハ主トシテ内國市場ニアリト雖兩者孰レモ關稅徵收ノ猶豫ト云フ利益アルヲ以テ此ノ利益ヲ利用スルノ點ニ於テハ各其ノ軌ヲ一ニス況ンヤ商機ノ如キ千變萬化且夕ヲ計ラレス外國市場ヲ主トスルモノ内國市場ノ好況ナルニ於テハ之ヲ内地市場ニ振向ケ又内地市場ヲ主トスルモノモ外國市場ノ好況ナルニ於テハ外國市場ニ振向クルコトナキヲ保セス

從テ現在ニ於ケル兩者使用ノ實況ニ徴スルモ製造加工ノ私設假置場ヲ除クノ外他ノ假置場ニ於

ケル藏置貨物ハ内地消費ニ充ツル目的ノ下ニ藏置セララルルモノ頗ル多ク又之ト反對ニ保税倉庫ニ在ル貨物ノ如キモ外國積戻ノ目的ノ下ニアルモノ少ナカラサルカ如キ奇觀ナキニシモアラス然レトモ斯ハ特別例外トシテ兩者利用ノ區別ハ前述ノ如ク之ヲ略言スレハ假置場ハ中繼貿易助長促進ノ機關ニシテ又保税倉庫ハ輸入ニ對シ便宜ヲ與フル機關ナリトス

從來假置場内ニ於テハ内國貨物ノ加工製造ハ之ヲ爲スコトヲ得サリキ是ヲ以テ内國貨物ト外國貨物ノ製造ヲ兼業トスル者例ヘハ東京森永製菓會社ノ如キ内地向キ貨物ト外國向キ貨物(外國ヨリ原料ヲ取寄セ製造ノ上其儘外國ニ輸出スルモノ)トヲ製造スルモノニアリテハ外國貨物製造ノ假置場ト内國貨物製造ノ工場トノ間ニハ嚴格ナル區劃ヲ設ケ一切交通ヲ遮斷スルカ若クハ工場ヲ二ヶ所ニ分設セサルヘカス期クノ如キハ工場ノ利用ヲ妨ケ獨リ營業者ノ不便不利少ナカラサルノミナラス延テ輸出貿易ヲ阻害スルノ虞レナシトセス茲ニ於テカ遂ニ大正五年假置場法ヲ改正シ内國貨物モ假置場内一部ヲ利用シ加工製造ヲ得シ得ルコトニ至ラシメタリ

元來假置場ハ前述ノ如ク其ノ目的主トシテ外國市場ヲ主眼トシ又外國原料ヲ輸入シ加工製造ノ上輸出スル所謂中繼助長發展ノ機關ナルモ外國市場不況ノ場合ニハ時ニ之ヲ内國市場ニ振向クル場合ナキヲ保セス此ノ場合ニ於テ之ニ課スヘキ關稅カ原料課稅主義ナルニ於テハ外國原料品ヲ以

テ假置場内ニ於テ加工製造セル製品ト普通一般ノ輸入手續ヲ爲シ引取リタル後加工製造セル製品トハ殆ト同一市價ノ下ニ販賣シ得ラルヘキ利便アルヲ以テ假置場ノ利用モ亦之ニ伴ヒ一層有利ニ利用シ得ラルルモノトス

然ルニ現下我國假置場法ニ於テハ主トシテ製品課稅主義ナルヲ以テ假置場内ニ於テ製造シタル物品ヲ内地消費ニ充テントスル場合ニ於テハ其ノ製品ハ外國ニ於テ製造シタル同種製品ト同一ノ關稅ヲ課セラルル結果トシテ結局内地振向ケノ場合ニハ非常ナル不利益アルヲ免レサルノミナラズ特ニ輸入原料品ニ對スル關稅ハ一般製品ニ對スル關稅ニ比シ著シク低率ナルモノ多キニ於テ特ニ一層其ノ不權衡ヲ甚タシカラシムルノ虞アリ

元來假置場内ニ於ケル工業ハ其ノ資本ノ上ヨリ觀ルモ一般勞費ノ上ヨリ觀ルモ將タ又取締法規上ニ於ケル工場其ノ他諸般法規ノ上ヨリ之ヲ觀ルモ孰レモ内地一般工業ト寸毫モ異ル所ナキノミナラス而カモ財務行政タル稅關並稅務兩廳ノ嚴重ナル監督ノ下ニ作業シ其ノ作業ノ下ニ産レタル製品カ内地市場ニ充テラルル場合ニ於テ之ヲ外國製品ト同一視シ同種ノ外國製品ト同一率ノ關稅ヲ課スルカ如キハ抑モ關稅自體ノ性質ニ反スルノミナラス一般工業ノ獎勵並假置場利用増進ノ旨趣ニ反ムク處蓋シ少ナカラサルヘシ

是ヲ以テ現時假置場ノ利用増大ヲ期センニハ少クモ先ツ製品課稅主義ハ茲ニ之ヲ一擲シ速カニ原料品課稅主義ニ改ムルト共ニ尙一方同工場内ニ於ケル貨物ノ移動其他作業上ニ關シ稅關其他稅務ニ對スル煩鎖ナル手續其ノ他取締方ニ關シテハ務メテ之カ簡省ヲ期シ恰モ自由地帯内ニ於ケル工業監視的ノ眼ヲ以テシ之カ取締ハ主トシテ外部トノ交通ニ重キヲ置キ以テ内部作業ノ自由圓滑ヲ期スルニ於テハ假置場ノ利用ハ蓋シ地理的不自然ノ下ニ設定セラルル自由港以上ノ好成绩ヲ舉クルニ庶幾カラシカ

元來我國ニ於ケル假置場法ナルモノハ外國ニ於ケル自由港類似施設ノ下ニ於ケル「フリー、デポット」(Free Depot)ノ制ヲ採用シ之ニ付スルニ假置場ナル名稱ヲ付シ其後數度ノ改正ノ結果叙上ノ如ク假置場内ニ於テハ加工製造ヲ爲シ得ルト共ニ一方之カ原料ハ内國品モ併セテ混用シ得ラルルニ至レルヲ以テ現下我國ニ於ケル假置場ノ現實利用ハ港灣所在地外ノ假置場ヲ除クノ外貨物ノ藏置並加工製造等ニ關シテハ其ノ實質並内容孰レモ自由港ト殆ト何等異ル所ナキモノトス詳細ハ本章第三節參照

第二節 假置場ノ種類

假置場ニハ官設假置場ト私設假置場トノ二種アリ又假置場利用ノ方面ノ上ヨリ之ヲ區分スレハ單ニ一時的貨物ノ藏置若クハ簡單ナル手入、仕譯ヲ目的トスルモノト加工製造ヲ目的トスルモノトノ二種ニ區別セラル而シテ官設假置場ハ主トシテ前者ニ屬シ私設假置場ハ主トシテ後者ニ屬スルモノ多シトス

是ヲ以テ官設假置場内ノ藏置貨物ハ其ノ目的主トシテ其儘若クハ手入、仕譯ノ後之カ市場ヲ國外ニ求ムル所謂中繼貨物ニシテ又私設假置場内藏置貨物ハ加工製造ノ上是亦之カ販路ヲ國外市場ニ求ムル所謂中繼工業貨物ニシテ各兩者其ノ利用ヲ異ニス而シテ官設假置場ニ於テハ手入、仕譯ノ外加工製造ハ地積並ニ設備ノ關係上之ヲ許可セサル方針ナルモ獨リ長崎稅關官設假置場ノ一部ニ於テハ硝子板ノ砂磨及鍍銀其ノ他石鹼並靴ノ製造等ヲ許可シ居レルモ斯ハ一般ノ例外ニ屬ス叙上ノ如ク兩者各其ノ利用ヲ異ニスルモ其ノ目的孰レモ中繼貿易助長發展ノ機關タルハ前節述フルカ如シ然レトモ商機ノ都合上若クハ一時的貨物處理上ノ便宜方法トシテ内國市場ヲ目的トスル貨物ニシテ假置場ヲ利用シ茲ニ藏置スルモノ尠ナカラス要スルニ此等ハ孰レモ假置場本旨ノ例外ト認ムル外ナカルヘキモ現下官設假置場ノ利用ハ主トシテ殆ト此例外ノ利用ニ供セラルルノ觀アルハ適々以テ世人豫想ノ期待ニ反シ中繼貨物ノ微々トシテ振ハサルヲ語ルノ證ニアラサルカ

現下官設假置場ノ設備アル稅關ハ橫濱、神戸及長崎ノ三稅關ニシテ朝鮮ニ在リテハ釜山、清津ノ二稅關又臺灣ニ在リテハ淡水、基隆、安平、高雄ノ四稅關ニシテ計九個所トス

第三節 假置場ト自由港

近時我國ニ於テ自由港設置問題ニ關シ種々喧傳セラルル所アルカ如キモ元來外國ニ於ケル自由港制度ハ封建制度ノ遺物ニシテ昔時各王國カ自國都市ノ繁榮策トシテ各其ノ首府ヲ開放シ外國製品ノ無稅消費ヲ自由ニシタル所謂自由都市ナル制度ニ初マリ實ニ其ノ端ヲ獨逸ニ發ス獨逸聯邦同盟成ルニ及ヒ其ノ弊ニ耐ヘス漸次之ヲ廢止シ遂ニ臺灣ノ一局部ニ之ヲ限定縮小シ且無稅消費ヲ絶對ニ禁止シタル結果漸次之ヲ外國輸出貿易ノ助長機關トシテ利用スルニ至レルモノトス

自由港ノ沿革既ニ斯ノ如ク從テ其ノ利用モ亦叙上窮餘ノ極途ニ之ヲ外國貿易ノ助長發展策ニ供シタル所謂規模狭小ナル局部地方の問題タルニ拘ラス論者動モスレハ一國工業ノ盛衰並貿易ノ消長ハ一ニ自由港設置ノ有無如何ニ關スルカ如キ論議ヲ爲スモノ無キニシモアラサルモ斯ハ眞ニ思ハサルノ甚タシキモノト謂ハサルヲ得ス

自由港ト謂ヒ將タ假置場ト謂ヒ其ノ名稱異ル所アルモ兩者孰レモ其ノ目的主トシテ中繼貿易發

展ノ助長機關ニ在ルヲ以テ此ノ意味ニ於テハ兩者ハ殆ト異名同體ノモノト謂ハサルヲ得ス唯形式上異ル點ハ一、前者自由港ニ對スル監督行政カ主トシテ市タル自治體ニ在ルニ反シ後者假置場ハ主トシテ稅關ニ在ルト二、前者ハ市ノ經營ニ屬シ港灣一定ノ場所ニ限ラルルニ反シ後者ハ個人經營ニ係リ國內至ル所隨所ニ設置シ得ラルル所謂集置主義ト分置主義トノ差アルニ過キス
更ニ又兩者ノ利用便否ノ方面ヨリ之ヲ觀ルニ兩者孰レモ一短一長アルヲ免レサルモ要スルニ自由港ハ港内樞要ノ位置ヲ占ムルヲ以テ地利的關係ニ於テハ理想的ニ近キモ地積ニ限アルヲ以テ多數大規模ノ工業地帶ト爲スニ適セサルノミナラス土地建物其他職工賃率カ他地方ニ比シ比較的高キニ失シ之カ爲メ工業ノ發展ヲ阻害セラルルノ虞アリ

反之假置場ハ當業者各自ノ獨立經營ニ係リ從テ前者ニ比シ其ノ規模狹小ノ嫌アルモ元來假置場ハ其ノ位置限定的ノモノニアラサルヲ以テ必シモ開港地帶タルヲ要セス打算上有利ノ地點隨所ニ之ヲ設定シ得ラルル利便アリ從テ水力ヲ利用セントセハ水量豊富ノ山間ニ將タ又低廉ナル勞力ヲ利用セントセハ是亦寒村僻陬ノ地ニ孰レモ設置シ得ラルル利便アルモノトス

要スルニ自由港制度ハ叙上ノ如ク港灣樞要ノ地點ヲ相シ茲ニ中繼貿易ニ關スル諸般設備ヲ集合セントスルニ在ルヲ以テ恰モ本邦現行假置場法ヲ港灣一局部ニ定限シタルモノト略其ノ觀ヲ同フ

ス而カモ之カ集合分置ノ可否得失ニ關シテハ叙上ノ如ク互ニ一短一長アルヲ免レサルモ當業者利用ノ方面ヨリ之ヲ觀レハ寧ロ現行假置場法ノ如キ分置主義ヲ優レリトス

加之自由港區内ニ於ケル工業ハ地理上主トシテ水面ヲ利用スル工業ノミニ限ラレ而カモ其ノ工業トシテ巨スヘキモノハ僅ニ造船其ノ他之ニ類似ノ一、二工業アルニ過キス從テ此等以外ノ工業ハ必シモ自由港區内タルヲ要セス又縱令ヒ多少自由港區内ヲ利便トスルモノニ在リテモ自由港區ハ叙上ノ如ク港灣樞要ノ位置ヲ占ムルノ結果其區内ニ於ケル土地、建物其ノ他職工等ニ關スル一般賃率カ他地方ニ比シ比較的高率ニ失スル結果トシテ自由港區内ニ於ケル工業ハ之カ爲メ一大打撃ヲ受ケ之カ發展ヲ阻害セラルルコト尠ナカラス是ヲ以テ何レノ自由港ニ於テモ同港區内工業ハ微々トシテ振ハサルコトハ顯著ナル事實ニシテ之カ一例ヲ舉クレハ模範的自由港トシ且ツ古キ歴史ヲ有シ歐洲大陸中其ノ比ヲ見サル「ハンブルク」自由港ニ於テストラ同港區内ニ於ケル工業ハ唯一個ノ造船工業ノ外、他ニ見ルヘキモノナキニ徴スルモ自由港内ニ於ケル中繼工業ニ對シテハ多大ノ期待ヲ爲シ難キ缺點アルモノトス

又論者動モスレハ自由港ハ其ノ名ノ示スカ如ク船舶ノ出入、貨物ノ藏置等ニ關シテハ各自ニ放任シ甚シキニ至リテハ同港區内ニ於ケル外國貨物ノ消費モ亦自由ナルカノ如ク思考スルモノナキ

ニシモアラサルモ叙上ノ如ク自由港内ニ於ケル消費ハ絶對ニ之ヲ禁スルノミナラス之カ行政モ亦税關ニ代フルニ市ナル自治體ニ在ルヲ以テ船舶ノ出入港手續ハ勿論同区内ニ於ケル上屋、倉庫其ノ他土地使用ニ關スル一切ノ手續ハ之カ管理者タル市ニ對シ之カ手續ヲ爲スヘキモノトス

從テ船舶出入港手数料、噸稅又ハ繫船料ノ如キハ勿論上屋、倉庫及土地ニ對スル使用料若ハ敷料ノ如キモノニ對シテモ是亦市ニ對シ之カ納付ヲ要ス斯カル些々タル手續其ノ他料金納付ニ至ル迄一ニ現時税關ニ對スル取扱手續ト殆ト異ル處ナキヲ以テ當業者ノ方面ヨリ之ヲ觀レハ單ニ管理者カ國ト市トノ差違アルニ過キス從テ何等ノ利害痛痒ヲ感スルモノニアラス況ンヤ外國貨物消費ノ如キハ世界孰レノ自由港ニ於テモ之ヲ嚴禁スルニ於テオヤ然レトモ現下我國ニ於ケル港灣行政ハ其ノ統一ヲ缺キ之カ爲メ當業者ノ蒙ル不利不便尠ナカラズ又此等ハ延イテ自由港設置ノ一要件タルノ感ナキニシモアラサルモ兎ニ角港灣行政ノ統一ハ實ニ刻下ノ急務トスル處ナリ

我國假置場法ハ明治卅三年ノ制定ニ係リ其後幾多ノ變遷ヲ經以テ現行税關假置場法ナルモノニ及ヘルモ外國貨物ノ藏置ニ關シテハ尙外ニ保税倉庫ナルモノアリ斯カル統一ナキ且ツ複雑ナル制度ハ之ヲ全廢シ時代ニ適應スル施設トシテ兩者ヲ合併シ自由港制度ニ近似セル自由假置場 (Free Depot) 法ヲ制定シ之ニ付スルニ自由倉庫ナル名稱ヲ以テシ一而自由倉庫内ニ於テ外國貨物ニ對

スル加工製造ヲ自由ナラシムルニ於テハ獨リ中繼貿易ノ助長發展ニ資スルノミナラス内地消費ノ目的ヲ以テ輸入スル貨物ニ對シテモ利益スル處蓋シ尠ナカラサルヘシ

尙之ト同時ニ一、自由倉庫内ニ於ケル外國貨物ノ製造品ニシテ之ヲ内地ニ引取ル場合ニ於テハ現行ノ如キ製品課稅主義ニ依ラス其ノ製品ノ原料ニ對シテ課稅スル所謂原料課稅主義ヲ採用シ二、自由倉庫内ニ於テ加工製造ニ使用スル機械器具其ノ他諸般設備品ニ對スル輸入稅ハ全部之レヲ無稅トシ三、更ニ進ンテハ自由倉庫内ノ營業並所得ニ關スル内地課稅ハ全部之ヲ免除シ四、尙一方此等自由倉庫ニ庫入スル貨物ニ對シテハ煩鎖ナル税關手續ハ務メテ之ヲ簡捷ナラシムルカ如キ獎勵的政策ヲ採ルニ於テハ自由倉庫ハ各所ニ勃興シ之カ爲一面自由港唯一ノ缺點タル低廉ナル物資ト勞費ノ供給ヲ得難キ缺陷ハ優ニ之ヲ償フテ餘リアルノミナラス其ノ效果ハ蓋シ港灣設備ノ不充分ナル下ニ於ケル自由港以上ノ好成绩ヲ舉クルニ庶幾カラシム

現下我國各開港都市間ニ於テ盛ニ唱導セラルル自由港設置問題ノ如キ其ノ趣旨ノ内容ハ何レモ深ク之ヲ究ムレハ中繼貿易發展策トシテヨリハ寧ロ地方繁榮策トシテ各自之ヲ利用スルモノ多キカ如シ是レ畢竟現時或ル場所ニ於テハ開港間ノ位置相互極度ニ近接ニ失スルヨリ起ル問題ニシテ之カ事實問題トシテハ現下東京開港問題ニ關シ橫濱市ハ之ニ對シ絶對反對意見ヲ表シ極力之カ開

港ヲ阻止セントスルト共ニ一方之カ對策トシテハ尙一層大々の港灣設備改修ヲ焦慮シツツアルカ如ク其ノ他神戸港對大阪港ノ競争ノ如キ即チ是ナリ

一方東京市ノ立場トシテハ横濱港輸出入貨物ノ大部分ハ勿論、沿岸航路内地輸送貨物ノ如キモ其ノ大部分ハ是亦横濱港經由ニ係ルヲ以テ此等貨物ノ集散開港計畫ノ企圖又故ナキニアラス然レトモ元來對外貿易ノ大局ノ上ヨリ之ヲ觀レハ斯ル同一水路ノ近距離圈内ニ於テ同一性質ノ港灣ヲ設置スルハ貿易ノ發展竝國家經濟上何等裨益スル處ナキノミナラス空シク巨額ノ經費ヲ浪費シ無益ノ競争ヲ惹起サシムルノミニ止マルモノナルヲ以テ大勢上此ノ際東京築港ハ寧ロ之ヲ内地商港ヲ主眼トスル特別開港タル設備ニ止メ一方横濱港ニ對シテハ此ノ際一大自由倉庫地ヲ設定シ自由港類似ノ港ト爲スニ於テハ兩々相俟テ裨益スル處尠ナカラサルノミナラス蝸牛角上ノ紛擾ハ期セズシテ茲ニ之ヲ一掃スルニ至ランカ

第四節 搬入 出 手續

一、搬入

假置場ニ貨物ヲ搬入セントスルニハ假置場貨物移入申告書ニ式ノ如ク記入シ監視部倉庫係ニ差

出シ之カ許可ヲ受クルモノトス又藏置貨物ニ對シ手入、加工、製造（官設假置場ハ普通製造ヲ許サス）之ヲ爲サントスルトキハ手入、加工又ハ製造原料使用ニ對スル各申告書ヲ同係ニ差出シ然ル後之ニ着手スルモノトス尤モ官設假置場ノ貸付方法ハ多クハ一室若クハ一棟定期貸ナルヲ以テ此ノ方法ニ依リ之ヲ使用セントスルニハ豫メ假置場使用認許申請書ヲ同係ニ差出シ之カ使用ノ許可ヲ受ケ置クヲ要ス而シテ之カ使用料ハ毎月之ヲ納付スルモノトス（使用料ニ關シテハ本章第三節參照）尙假置場ニ内國貨物ノ移出移入ヲ爲サントスルトキハ各其ノ申告書ヲ差出シ之カ許可ヲ受クルヲ要ス但シ私設假置場ニアリテハ當該派出稅關官吏直接之ヲ取扱フモノトス

二、搬出

假置場ヨリ貨物ヲ搬出セントスルトキハ搬出ノ目的ニ從ヒ積戻ナレハ積戻申告書、輸出ナレハ輸出申告書、保稅倉庫ニ庫入ナレハ庫入申告書、運送ナレハ運送申告書、輸入ナレハ輸入申告書ニ式ノ如ク記入シ同係ニ差出スモノトス而シテ其際別ニ移出申告書ノ添付ヲ要セシメサルハ事實前記各申告書カ移出申告ヲ兼タルモノト認メ之カ添付ヲ省略セシメタルニ過キス又同係ニ於テハ右申告書ニ依リ之カ搬出ヲ許可シ記帳ノト該申告書ハ之ヲ申告者ニ返付ス

申告者カ右申告書ノ返付ヲ受ケタルトキハ各其ノ申告ノ目的ニ從ヒ該申告書カ輸出申告ナルト

キハ輸出申告書受付口ニ輸入ナレハ輸入申告書受付口ニ夫々差出シ各其ノ手續ニ依リ免狀ノ交付ヲ受ケタル後搬出スルモノトス尤モ右搬出カ官設假置場ナルトキハ搬出ノ際敷料納付書ニ敷料相當ノ印紙ヲ貼付シ之ヲ納付スルヲ要ス

貨物搬出入ニ際シ定時間外仕役ニ關シテハ總テ關稅法規ノ適用ヲ受クヘキモノナルヲ以テ之カ手敷料並ニ之カ手續ニ關シテハ第五章第七節及第十二章參照但シ私設假置場ニ於ケル搬出ノ事務ハ當該派出稅關官吏之ヲ行フモノトス

第五節 假置場使用料

官設假置場使用料ハ左ノ如シ(臺灣モ同様)

- 一、重量ニ依リ關稅ヲ課セラルヘキ貨物
五十斤毎ニ一ヶ月金二錢(但朝鮮ハ一錢五厘)
- 二、前號以外ノ貨物
一立方尺迄毎ニ一ヶ月二錢(前同)
- 三、土地又ハ建物ヲ専用スルトキ

一坪毎ニ一ヶ月二圓

前記計算方法ハ一ヶ月未滿ノ使用料ハ十五日迄ハ半月分ヲ十五日ヲ超ユルトキハ一ヶ月分ヲ徵收ス而シテ前記第一號及第二號ニ該當スル貨物ノ使用料ハ貨物搬出ノトキ之ヲ納付シ第三號ノ使用料ハ一ヶ月毎ニ前納スルモノトス

第六節 私設假置場設置ノ手續

私設假置場ヲ設ケントスルニハ其ノ地區ノ位置、面積、建設物ノ構造、棟數、坪數、藏置スヘキ貨物ノ種類、作業ノ種類及特許年限ヲ記載シタル書面ニ地區、建設物及附近ノ圖面ヲ添付シ所轄稅關ヲ經由シテ大藏大臣、朝鮮臺灣ニ在リテハ各總督ニ出願スルモノトス但シ出願人會社ナルトキハ仍定款ノ謄本添付ヲ要ス

特許期限ハ事由ニ依リ延長シ得ラルルモ普通二十年以内トス

右特許ヲ受ケタル後ハ一切稅關ノ指揮ニ從ヒ貨物ノ検査及監督上必要ノ場所ヲ設ケルハ勿論派出官吏ニ對シテハ官吏一名ニ付毎月七十圓臺灣ニ在リテハ同百圓朝鮮ニ在リテハ同百九圓ヲ支拂フモノトス詳細ハ第十二章參照尙取締上私設假置場ニハ二重鎖鑰ヲ設ケ其ノ鑰一個ハ稅關ノ保管

ニ付スルモノトス又左記事項ニ關スル帳簿ノ記入ニ付テハ特ニ明確精細ニ記帳スルコトヲ要ス

- 一、假置場ニ移入シタル貨物ノ記號、番號、品名、内外國貨物ノ區別、個數、數量、價格及移入ノ年月日
- 二、改装仕分其他ノ手入ヲ爲シタル貨物及之ニ使用シタル内國貨物ノ記號、番號、品名、箇數、數量、價格手入ノ種類及檢査濟ノ年月日
- 三、加工又ハ製造ノ原料ニ使用シ又ハ包装用トシテ使用シタル貨物ノ記號、番號、品名、内外貨物ノ區別、箇數及數量
- 四、加工又ハ製造シタル物品並ニ副産物ノ品名、數量及檢査濟ノ年月日
- 五、假置場ヨリ移出シタル貨物ノ記號、番號、品名、内外國貨物ノ區別、箇數、數量、價格及移出ノ年月日

第七節 假置場々主ノ責任

假置場内藏置貨物ノ損害ニ對スル賠償責任關係ニ就テハ一、官設假置場ニ在リテハ同法第十條「政府ハ藏置ノ貨物ノ損害ニ付賠償ノ責任ヲ任セス」ノ規定ニ依リ之カ賠償ノ責ヲ有セサルモ二、私

設假置場ニ在リテハ若シ其ノ貨物カ他人ノ寄託ヲ受ケ之カ保管ニ係ルモノナル場合ニハ一般私法ノ規定ニ依リ場主其ノ責任スルモノトス

又假置場内藏置貨物ノ紛失ノ場合ニ於ケル關稅徵否ノ義務關係ニ付テハ一、官設假置場ノ場合ニ在リテハ政府ハ其ノ場主タルト共ニ一方貨物保管者タルノ位置ニ在ルモノナルヲ以テ犯則關係ノ起ラサル限リハ之カ關稅ヲ徵收セサルモ二、私設假置場ノ場合ニ在リテハ之ト異リ同法第十三條ノ二「私設假置場ニ藏置シタル貨物紛失シタルトキハ之ヲ輸入シタルモノト看做シ假置場ノ特許ヲ受ケタル者ヨリ其ノ輸入稅ヲ徵收ス」ノ規定ニ依リ紛失貨物ニ對スル關稅納付ノ義務ハ他人ノ貨物タルト果タ自己ノ貨物タルト問ハス凡ソ場主其ノ責任スルモノトス

第十章 保稅倉庫

第一節 保稅倉庫ノ意義及性質

保稅倉庫ハ輸入手續未済ノ貨物ヲ藏置スル場所ニシテ換言スレハ倉庫内ヲ以テ保稅地域ト爲シタルモノニシテ此處ニ藏置ノ貨物ハ輸入シタルモノト見做サレテ從テ藏置中ハ關稅ハ勿論消費稅ヲモ徵收セラルルコトナシ是ヲ以テ關稅徵收猶豫ノ地帶タル意味ニ於テハ假置場ト異ナル處ナキモ假置場ハ前章述フルカ如ク其ノ藏置ノ目的カ主トシテ中繼貿易ニ存シ海外ノ市況ニ應シ隨時積戻シ又ハ同場所内ニ於テ加工製造シタルモノヲ輸出スルヲ主眼トスルニ反シ保稅倉庫ハ主トシテ内地消費ノ目的ヲ以テ輸入スルモノヲ商機ノ都合ニヨリ此處ニ入レ置キ内地商況ニ應シ隨時關稅納付ノ上輸入スルヲ主眼トス

從テ保稅倉庫内ニ於テハ假置場ノ如ク藏置中ノ貨物ニ對シ加工製造等ヲ爲シ得サルハ勿論仕分手入（保存上簡單ナル手入ヲ除ク）等ヲモ爲スコトヲ得サルモノトス尤モ保稅倉庫内ニ在ル貨物ト雖モ海外ノ市況内地ノ市況ニ比シ著シキ差異アリテ海外ニ積戻スルコトノ利益アル場合ニ於テ

ハ之カ積戻ヲ爲シ得ルハ論ヲ俟タサル處ナルノミナラス又初メヨリ輸入ノ意志ナク全ク積戻スヘキ貨物ト雖モ積戻スヘキ時期カ假置場藏置期間（普通六ヶ月但シ事由ニ依リ延長シ得ラルルコトアリ）以上ニ亘ル場合若クハ假令期間ハ比較的短期ニモセヨ打算上倉庫證券（私設假置場藏置貨物ニ對シテハ倉庫證券ヲ發行シ得サルニ非サルモ多クハ之ヲ發行セス又官設假置場ニ於テハ絶對ニ證券ヲ發行セス）流用ノ爲メ保稅倉庫ヲ利用スルモノナキニシモアラサルモ斯ハ例外ニ屬スル一種ノ利用ニ過キスシテ保稅倉庫本旨ノ利用ニアラス

然レトモ斯ハ單ニ現行假置場法ト保稅倉庫法ヲ對比シ之カ立法ノ旨趣ニ基キ之カ利用方法ニ付テノ議論ナルモ兎ニ角外國貨物ノ藏置カ叙上ノ如キ複雑ナル傾向ヲ有スルヨリ識者ノ一部ニハ之カ區分ヲ明瞭ナラシムル爲貨物ノ藏置ニ關シテハ其ノ目的内地消費ニアルモ果タ又外國市場ニアルモ藏置機關トシテハ總テ之ヲ保稅倉庫法ノ圈内ニ屬セシメ一方假置場ハ加工製造ヲ主眼トシ加工製造ノ爲ニスルニアラサル貨物ノ貯藏ハ之ヲ許ササルコトトシテ之カ法案改正ノ企アリト聞ク然レトモ現下兩者ノ利用ハ叙上ノ如ク一、二例ヲ除クノ外前者ハ主トシテ加工製造ニ又後者ハ貨物藏置ニ各其利用ノ區分劃然セルヲ以テ今更製造ト藏置ノ二種ニ區分スルヨリハ百尺竿頭一步ヲ進メ現下自由諸問題ノ喧傳セラルル新思潮ニ徴シ寧ロ兩者ヲ兼用スル一種ノ所謂自由地帶類似ノ

自由置場ノ如キ制ヲ設クル方却テ當業者ノ利便ニハアラサルカ

尙現下私設保税倉庫發展ノ狀況ニ徴シ官設保税倉庫ノ存置ハ既ニ之カ必要ヲ認メサルノミナラ
ス尙從來ノ例ニ徴スルモ官設保税倉庫敷料ノ改正ハ常ニ一般商況ノ時運ニ遅クレ之カ爲メ時ニ民
營ノ發展ヲ阻害スル虞レナキニシモ非サルヲ以テ官設保税倉庫ハ或ル時期ニ於テ之ヲ廢止スルヲ
得策トス

保税倉庫ノ貨物藏置期間ハ滿二ケ年ニシテ前述ノ如ク此ノ期間中ハ關稅並ニ消費稅ニ對スル徵
收猶豫アルヲ以テ貨物ヲ移動スルコトナクシテ内地商況ニ應シ隨時販賣シ併セテ稅金ニ對スル金
利ヲ節約スル利便アルノミナラス尙一方預リ證券又ハ質入證券ヲ利用シ資金ノ流通ヲ得テ更ニ第
二回ノ輸入註文ヲ爲シ得ラレ單ニ稅金ニ對スル金利節約ノ關係ノミナラス資本流通ノ上ニ於テモ
亦至大ノ利便アルモノト謂ハサルヘカラス

保税倉庫ニ藏置スル貨物ノ關稅ハ關稅法第三條ノ規定ニ依リ庫出ノ日ニ於テ行ハルル法規ニ從
ヒ徵收セラルルモ其ノ賦課ノ標準トナルヘキ數量及性質ニ關シテハ保税倉庫法第三條「保税倉庫
ニ藏置シタル貨物ノ輸入稅ハ其ノ最初庫入ノ時ノ性質及數量ニ依リ之ヲ徵收ス」ニ依リ庫入當初
ニ於テ決定セラルルモノナルヲ以テ之カ結果トシテ輸入者ハ勿論在庫貨物ニ對スル預證券、質入

證券又ハ倉庫證券所持者ノ注意スヘキ事項ハ

一、庫出ノ場合、庫出ノ日ニ於ケル法規ニ從ヒ徵收セラルル結果トシテ

(イ) 庫入後法律改正ノ結果輸入稅率ニ變更ヲ來シタル場合ハ庫出當時ノ稅率ニ依リ課稅セ
ラルルモノナルヲ以テ稅率低減ノ場合ニハ敢テ之カ痛痒ヲ感セス寧ロ利益ナルモ高率
ニ變更セラルル場合ニハ意外ノ損失ヲ蒙ルル虞ナキヲ保セサルト共ニ一方豫メ稅率低
減ヲ豫想シ稅率低減改正ノ曉ニ於テ之カ庫出ヲ爲スニ於テハ意外ノ利益ナキニアラス
是ヲ以テ當業者ハ庫入貨物ニ對シテハ常ニ稅率ノ改廢變更ニ注意ヲ怠ラサルヲ要ス

(ロ) 價格ノ變動ニ注意スルコト、庫入貨物カ從價稅品ナルトキハ其ノ價格ハ庫出ノ日ニ於
ケル一般市價ヲ標準トシテ課稅セラルルモノナルヲ以テ市價ノ變動甚タシキ場合ニハ
常ニ機微ノ裡ニ之ヲ察知シ打算上可成自己ニ有利ノ時機ニ於テ之カ庫出ニ注意ヲ要ス
尤モ現下稅關取扱トシテハ市價低減ノ場合ハ兎モ角縱令ヒ多少ノ騰貴ニ對シテハ別ニ
之カ値上ヲ爲サス大體庫入ノ時ノ價格ニ依リ課稅セラルルヲ常トス

二、庫入ノ場合、貨物ノ性質數量ハ庫入ノ時ノ性質數量ニ依リ課稅セラルル結果トシテ庫入ノ
當時ノ檢査ノ實蹟ヲ標準トシテ課稅セラルルモノナルヲ以テ例ハ庫入ノ際ニハ酒ナリシモ

ノカ酢ニ變質スルトカ又ハ數量十石ナリシモノカ八石ニ若クハ全部滅失スルコトアルモ其ノ變質若クハ滅失カ災害ニ基因スルニ非サル限リハ總テ庫入ノ時ノ狀態ニ依リ課稅セラルヘキモノナルヲ以テ少クモ庫入ノ際ニハ之カ外裝若クハ荷造等ニハ一段ノ注意ヲ要セラルヘシ尤モ變質ノ場合ニ於テ商品トシテ價值ヲ有セス稅關ノ承認ヲ經テ滅却スルニ於テハ別ニ税金ハ徵收セラレサルモノトス

第二節 保稅倉庫ノ種類

保稅倉庫ニハ官設保稅倉庫ト私設保稅倉庫トノ二種アリ官設保稅倉庫藏置貨物ニ關シテハ保稅倉庫法施行細則第一條ニ示スカ如ク左記各項ニ觸ルル貨物ハ之ヲ藏置スルコトヲ得サルモ私設保稅倉庫ニ在リテハ法規上何等ノ制限ナシ然レトモ同細則第二條ノ規定ニ依リ之カ藏置貨物ノ種類ハ大藏大臣ノ認可ヲ得タルモノニ限ラルルモノトス

- 一、輸入無稅品
- 二、巨大ナルモノ及重量ナルモノ
- 三、損傷腐敗セシモノ又ハ損傷廢敗シ易キモノ

- 四、發火質、燃燒質又ハ爆發質ノモノ
 - 五、倉庫又ハ他ノ貨物ヲ汚損スヘキモノ
 - 六、動物及植物
 - 七、不潔物
- 以上

庫入シタル貨物ノ藏置ニ付テハ官設保稅倉庫及私設保稅倉庫共孰レモ稅關官吏ノ指揮ヲ受クルハ勿論特ニ私設保稅倉庫ニ在リテハ二重ノ鎖鑰ヲ設ケ其ノ鑰一箇ハ之ヲ稅關ノ保管ニ付シ開閉ノ都度稅關官吏ノ立會ヲ受クルモノトス

又一戸前ノ倉庫内ニハ官設保稅倉庫ハ勿論私設保稅倉庫ト雖モ輸入手數未濟貨物ト内國貨物トヲ併セテ藏置スルコトヲ得サル規定ナルモ私設保稅倉庫ニ在リテハ貨物集散ノ繁閑ニ依リ倉庫利用上内國貨物ノ一時的藏置ヲ利便トスル場合少ナカラサルヘシ此ノ場合ニ於テハ縱令一戸前ノ倉庫内ニ輸入手數未濟貨物アルモ稅關ノ特許ヲ受クルニ於テハ内國貨物モ併セテ之ヲ藏置シ得ラルル利便アルモノトス

第三節 入出庫、庫移及運送手續

一、庫入

貨物ノ庫入ヲ爲サントスルニハ庫入申告書ニ式ノ如ク記入シ其庫入カ私設保税倉庫ナル場合ニ於テハ庫主ノ調印ヲ受ケ孰レモ監視部倉庫係若クハ現場派出所官吏ニ差出スモノトス同係若クハ現場官吏ハ之ヲ總務課ニ廻付シ同課ニ於テハ輸入申告書ト同様ノ取扱ヲ爲シ之ヲ検査課ニ廻付ス同課ニ於テハ一般輸入申告ノ場合ト同シク貨物検査ノ上税率其ノ他検査實績ヲ詳記シ更ニ總務課ニ廻付シ同課ニ於テハ検査ノ實績ニ徴シ審査調定ノ上之ヲ監視部倉庫係ニ廻付ス同係ハ之ニ基キ庫入免狀ヲ交付ス

右庫入免狀ノ交付ヲ受ケタル後之カ庫入ニ着手スヘキモノニシテ若シ庫入免狀ノ交付ヲ受ケスシテ貨物ヲ庫入シタル場合ニ於テハ保税倉庫法第三十二條ニ依リ三十圓以下ノ罰金若クハ料ニ處セラルルコトアルヘシ

尙茲ニ注意スヘキハ庫入ノ際包装ノ完全ナラサルモノハ同法施行細則第十三條ノ規定ニ依リ之カ庫入ヲ許ササルコトアルヘキヲ以テ庫入前一應之カ包装ヲ改ムルヲ要ス包装不完全ナルカ爲庫

内藏置中變質又ハ數量ノ減失ニ對シテハ別節述フルカ如ク保税倉庫藏置貨物ノ關稅ハ庫入ノ際ニ於ケル検査ノ實績ニ依リ課稅セラルルモノナルヲ以テ一段ノ注意ヲ要ス

斯ノ如ク貨物ノ性質及數量ニ對シテハ庫入申告ノ検査實績ニ依リ關稅ヲ課セラルヘキモノナルヲ以テ庫入申告書提出ノ際ニハ輸入申告ノ場合ト同シク仕入書、明細書其ノ他參考トナルヘキ書類ハ全部之ニ添付スルヲ利便トス

叙上庫入手續ヲ了シ庫内搬入ノ際ニハ右庫入免狀ヲ現場官吏ニ呈示シ之ニ庫入済ノ證印ヲ受ケ然ル後官設保税倉庫ニ在リテハ監視部倉庫係ニ該庫入済證印ノ庫入免狀ヲ呈示シ預證券ノ交付ヲ受ケ又私設保税倉庫ニ在リテハ相當係員ニ之ヲ示シ一枚ヲ利便トスレハ倉荷證券ヲ又二枚ヲ利便トスレハ預證券ト質入證券ヲ請求シ之カ交付ヲ受クルモノトス預證券、質入證券及倉荷證券ニ付テハ本章第五節參照

二、庫出

庫出ヲ爲サントスルニハ庫出ノ目的ニ從ヒ各其ノ申告書ニ式ノ如ク記入シ例ヘハ輸入ノ目的ニテ庫出ヲ爲ス場合ニハ輸入申告書又積戻ノ目的ニテ庫出ヲ爲ス場合ニハ積戻申告ヲ或ハ運送ノ目的ニテ庫出ヲ爲ス場合ニハ運送申告書ヲ孰レモ監視部倉庫係ニ差出スモノトス

同係ニ於テハ調査ノ上曩ニ庫入ノ際提出セル庫入申告書ヲ之ニ添付シ之ヲ検査課ニ廻付ス同課ニ於テハ右添付ノ庫入申告書ニ基キ必要事項ヲ轉載シ庫出當時ニ於ケル稅率ヲ附記シ之ヲ總務課ニ廻付ス

同課ニ於テハ之ニ依リ稅額ヲ決定シ納稅告知書ヲ發行ス申告者ハ該納稅告知書ヲ日本銀行支店若クハ代理 多クハ稅關内ニ出張シ居レリ)ニ示シ稅金納付ノ上領收證ヲ受取り之カ領收書ヲ總務課免狀交付係員ニ示シ之カ免狀ヲ受クルモノトス

右免狀ヲ受ケタル後官設保稅倉庫ニ在リテハ右免狀ヲ倉庫係ニ呈示シ庫敷料(收入印紙ヲ貼付)ヲ納付シ私設保稅倉庫ニ在リテハ同所派出所ノ現場官吏ニ呈示シ之ト同時ニ倉庫營業者ニ是亦庫敷料ヲ支拂ヒ然ル後之カ庫出及引取ニ着手スルモノトス尤モ其際預證券、質入證券又ハ倉荷證券ハ之ト同時ニ之カ引替ヲナスモノトス

在庫貨物ノ一部内出シノ場合ニ於テモ略前記同様ノ手續ヲ要シ尙其ノ内出貨物ノ個數、數量及庫出月日等ハ其ノ都度之ヲ預證券若クハ倉荷證券ニ記入スヘキモノナルヲ以テ其ノ都度之カ提出ヲ要スルモノトス

尙庫出上ニ關シ注意スヘキ事項ハ本章第一節ニ述フルカ如ク關稅法第三條ノ規定ニ依リ保倉稅

庫ニ藏置スル貨物ノ關稅ハ庫出ノ日ニ於テ行ハルル法規ニ從ヒ課稅セララルモノナルヲ以テ藏置中ノカ貨物ニ對スル輸入稅率ノ改廢變更ニ關シ之カ注意ヲ怠ルニ於テハ意外ノ損失ヲ招クノ處ナシトセス

又質權ノ設定シアル預證券所持人ニシテ質入證券所持人ノ判明セサル場合(預證券並質入證券ハ各裏書ニ因リ各轉讓シ相互之カ所在ヲ知ルコトヲ得サル場合アルニ依ル)若クハ質入證券所持人ニ對スル債權ノ辨濟期前商機ノ都合ニ依リ若クハ輸入稅率ノ改廢變更ノ爲急速寄託貨物ヲ庫出セントスル場合ニ於テハ叙上一般庫出手續ノ外商法第三百八十條ノ規定ニ依リ質入證券所持人ノ有スル債權ノ全額及辨濟期迄ノ利息ヲ私設保稅倉庫營業者ニ供託スルニ非レハ寄託貨物ノ庫出ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

又一方質入證券所持人ニ於テモ辨濟期日ニ至リ預證券所持人ヨリ之カ支拂ヲ受ケサル場合ニ於テハ手形ニ關スル規定ニ從ヒ拒絕證書ヲ作ラシメ二週間以内ニ寄託在庫貨物ノ競賣ヲ請求セサルニ於テハ裏書人ニ對スル請求權ハ之ヲ失フモノトス(商法第三六八條、第三六九條及第三七三條)詳細ハ本章第五節參照

見本取出ノ場合ニ於テハ倉庫係ニ見本取出ノ申請書ヲ差出シ之カ承認ヲ受クルモノトス但シ私

設保税倉庫ニ在テハ税關ノ派出官吏アリ此等ノ事務ハ同官吏ニ於テ之ヲ行フモノトス

三、庫 移

庫移トハ保税倉庫ト保税倉庫間ニ於ケル保税貨物ノ移動ニシテ其ノ移動ニハ運送行爲ノ之ニ伴フモノナルヲ以テ原則トシテハ庫移手續ノ外向取締上運送ノ手續ヲ要ス然レトモ同一貨物ノ移動ニ對シ同時ニ庫移及運送ナル二重ノ手續ヲ爲サシムルハ煩雜ノ嫌ヒアルヲ以テ實際其ノ庫移カ近距離ノ間ニ於テ行ハレ且運送ノ途中カ爲メ特別ノ取締ヲ要セサルモノニ對シテハ庫移手續ノミニ止メ又一方遠距離ニシテ相當取締ヲ要スルモノニ對シテハ庫移手續ヲ省略シ運送ノ手續ニ依ラシムルモノトス是ヲ以テ近距離ノ場合ニ於ケル庫移ハ運送ノ手續ニ依ラス簡單ナル庫移手續ニテ庫移ヲナスコトヲ得而シテ之カ手續ハ庫移申告書ニ式ノ如ク記入シ當該官吏ニ差出シ庫移免狀ヲ受ケ然ル後之カ庫移ヲ爲スコト尤モ其ノ際庫數料若クハ保管料ノ支拂其ノ他證券ノ受授等ニ關シテハ庫出ノ場合ト略同様トス

四、運 送

保税倉庫法ニ於テ運送ト稱スルハ保税倉庫ニ庫入又ハ他ノ保税倉庫ニ庫移(前項庫移參照)ノ爲メ貨物ヲ運搬スル場合ニ於ケル意ニシテ關稅法ノ所謂運送ナルモノ即是ナリ然ルニ從來關稅

法ハ明治四十四年三月一部之カ改正ノ際舊來ノ同漕ヲ運送ト改稱シタルニモ拘ラス獨リ保税倉庫法ニ於テハ回送ナル文字ヲ其儘之ヲ存置シ改稱セサリヨリ同一性質ノモノニ對シ關稅法ニ於テハ運送、保税倉庫法ニテハ回送ナル兩様ノ名稱ヲ生シ從テ各異リタル申告書ヲ用キ之カ手續ヲ爲ササルヘカラサル不便アリシモ曩年保税倉庫法改正ノ際之ヲ運送ト改稱シ總テ關稅法ノ運送規定ニ依ラシメタリ(第六章第三節運送手續參照)從テ茲ニ絮說ノ必要ナキモ之カ大要ヲ述フルニ
右運送ヲ爲サントスルニハ運送申告書二通ニ(一通ハ發送地稅關ニ留メ置キ他ノ一通ハ仕向地ノ稅關又ハ支署ニ送付ス)式ノ如ク記入シ當該官吏ニ差出シ檢査ヲ受ケ運送免狀ノ交付ヲ受ケタル後運送ニ着手スルモノトス而シテ之カ運送ハ命令ヲ以テ定メラレタル通路(本章第三節參照)ニ依ルヘキモノニシテ若シ此ノ通路ニ依ラサルトキハ同法三十一條ニ依リ其ノ貨物ヲ沒收セララル虞レアルヲ以テ注意セラルヘシ

又前記運送貨物カ仕向地ニ到着シタルトキハ發送地稅關ニ於テ交付シタル運送免狀ニ其仕向地ノ稅關又ハ支署ノ證明即チ到着濟ナル證印ヲ受ケ發送地ノ稅關ニ差出スモノトス詳細ハ第六章第三節運送ノ部參照ヲ要ス而シテ前記運送貨物カ指定期間内ニ仕向地ニ到達セサル場合ニ於テハ同法第九條ノ規定ニ依リ輸入稅ノ納付ヲ要ス但シ災害ニ依リ滅失シタルトキハ發送地所在ノ稅關ニ

申出テ之カ承認ヲ受クルヲ要ス若シ然ラサルニ於テハ輸入税ノ納付ニ要スルモノトス

第四節 保稅貨物運送通路

保稅倉庫法第四條ニ依ル通路ハ保稅倉庫ノ新設廢止等ニ依リ時々變更セラルルモ主タル本道通路ハ左ノ如シ

東橫濱ヨリ沙留ニ至リ又ハ品川赤羽日暮里ヲ經テ南千住ニ至ル鐵道線路又ハ

橫濱東京間 橫濱港ヨリ隅田川口及小名木川ヲ經テ表龜高ニ至リ又ハ隅田川口ヲ經テ南千

住ニ至ル直航水路

橫濱川崎間 橫濱港ヨリ川崎ニ至ル直航水路

東橫濱ヨリ品川赤羽熊谷高崎直江津ヲ經又ハ原町田八王子甲府直江津ヲ經テ

橫濱新潟間 新潟ニ至ル鐵道線路

東橫濱ヨリ品川赤羽大宮古河宇都宮仙臺ヲ經又ハ品川田端松戸水戸仙臺ヲ經

橫濱青森間

又ハ品川赤羽大宮古河宇都宮秋田ヲ經テ青森ニ至ル鐵道線路

橫濱名古屋間 東橫濱ヨリ名古屋ニ至ル鐵道線路

名古屋武豐間 名古屋ヨリ武豐ニ至ル鐵道線路

名古屋四日市間 納屋町ヨリ堀川ヲ經テ四日市港ニ至ル直航水路

名古屋大阪間

名古屋ヨリ米原八幡京都山崎ヲ經テ大阪ニ至リ又ハ柘植奈良ヲ經テ湊町ニ至ル鐵道線路

名古屋敦賀間 名古屋ヨリ岐阜米原ヲ經テ敦賀ニ至ル鐵道線路

大阪敦賀間 大阪ヨリ山崎京都米原ヲ經テ敦賀ニ至ル鐵道線路

大阪下關間 大阪ヨリ下關ニ至ル鐵道線路

大阪ヨリ神崎ヲ經テ舞鶴ニ至ル鐵道線路及舞鶴港ヨリ宮津港ニ至ル直航水路

大阪宮津間

又ハ大阪港ヨリ尼ヶ崎ニ至ル直航水路、尼ヶ崎ヨリ神崎ヲ經テ舞鶴ニ至ル鐵道線路及舞鶴港ヨリ宮津港ニ至ル直航水路

神戶ヨリ神崎ヲ經テ舞鶴ニ至ル鐵道線路及舞鶴港ヨリ宮津港ニ至ル直航水路

神戶宮津間

又ハ神戶港ヨリ尼ヶ崎ニ至ル直航水路、尼ヶ崎ヨリ神崎ヲ經テ舞鶴ニ至ル鐵道線路及舞鶴港ヨリ宮津港ニ至ル直航水路

門司長崎間 門司ヨリ長崎ニ至ル鐵道線路

門司大里間へ門司港ヨリ大里ニ至ル直航水路
下關大里間へ下關港ヨリ大里ニ至ル直航水路

第五節 預證券、質入證券及倉荷證券

官設保税倉庫ニ於テハ保税倉庫法ノ規定ニ依リ税關ニ於テ發行スル證券ハ預證券（一枚主義）ノミナルモ私設保税倉庫ニアリテハ商法ノ規定ニヨリ倉庫業者ノ發行スル預證券ニハ必ス質入證券ヲ伴フモノトス（二枚主義）而シテ兩者ノ可否得失ニ付テハ學者實業家中幾多ノ議論アルモ要スルニ法理上ニ於ケル理論トシテハ二枚主義ヲ可トシ實行上ニ於ケル見地ヨリハ一枚主義ヲ可トスルニアルカ如シ

然ルニ當業者動モスレハ私設倉庫ノ發行スル預證券ハ必スシモ質入證券ヲ伴フモノニ非ス寄託者ノ請求ニ依リ預證券ノミ發行シ得ラルルカノ如ク解釋スルモノナキニシモアラサルモ我國商法ハ全然二枚主義ヲ採用シ同法第三百五十八條ニ「倉庫業者ハ寄託者ノ請求ニ因リ寄託物ノ預證券及質入證券ヲ交付スルヲ要ス」トアルヲ以テ縱令ヒ寄託者ニ於テ分離發行ノ請求アルモ預證券ノ發行ニハ必ス質入證券ノ發行之二伴フモノトス

要スルニ一枚主義ト二枚主義トハ既ニ論據ノ根蒂ニ於テ大ナル懸隔ヲ有シ從テ之カ改廢ニ關シテハ商法實施以來ノ懸案タリシカ途ニ當業者ノ意見ヲ入レ之カ不便ヲ除クノ方法トシテ原則トシテハ從來ノ如ク二枚主義ヲ保持スルモ同法第三百八十三條ノ二ニ於テ規定ヲ設ケ倉庫業者ハ寄託者ノ請求アルトキハ預證券及質入證券ニ代ヘテ倉荷證券ヲ發行シ得ル所謂例外一枚主義ヲ認ムルニ至レリ

茲ニ於テ乎兎ニ角多年ノ懸案ハ茲ニ一段落ヲ告クルニ至レリ而シテ倉荷證券ハ所有權移轉ノ目的ノ外向質權設定ノ目的ト爲スコトヲ得而シテ前同條第二項ニ倉荷證券ハ預證券ニ關スル規定ヲ準用ストアルヲ以テ倉荷證券ハ叙上ノ預證券及質入證券ノ兩作用ヲ爲スコトハ恰モ官設保税倉庫ニ於テ發行スル預證券ト殆ト其利用ノ程度ヲ同ウス

以上何レモ之カ證券發行ニ付テハ寄託者ノ請求アル場合ニ限り之ヲ發行スルモノニシテ從テ請求ナキニ於テハ之カ發行ヲ要セサルモ獨リ官設保税倉庫ニアリテハ同法第十條ノ規定ニ依リ置貨物ニ對シテハ寄託者ノ請求有無ニ拘ラス之ヲ發行スルモノトス又此等證券ハ寄託者ノ請求ニ依リ孰レモ分割シ得ルコトハ官設保税倉庫及私設保税倉庫共同様トス

預證券ハ在庫貨物ノ所有權移轉ノ爲メ質入證券ハ質權設定ノ爲メニ設ケラレタルモノニシテ兩

者各其ノ目的用途ヲ異ニス而シテ預證券ハ記名式ノモノト雖モ讓渡禁止ノ明記ナキニ於テハ裏書ヲ以テ讓渡スルコトヲ得(商法第三百六十四條及保稅倉庫法第十一條參照)其ノ裏書ノ效力ハ被裏書人ノ氏名・商號及年月日等ヲ記載シ之ニ裏書人カ署名スルニ依リ成立スルモノナルヲ以テ官設保稅倉庫ニ於テ發行スル一枚主義ノ預證券ニ對シテハ是ノミニテ可ナルヘキモ私設保稅倉庫ニ於テ發行スル預證券ハ前述ノ如ク質入證券ヲ伴フモノナルヲ以テ裏書ニ依リ讓渡ヲ受クル際質權設定ノ有無ニ注意セサルニ於テハ意外ノ損失ヲ招ク虞レアリ

又質權者ニ於テモ質權設定ノ際預證券ニ其ノ債權額、利息及辨濟期ヲ記載シ之ニ署名スルニアラサレハ質權ヲ以テ第三者タル預證券所持人ニ對抗スルコトヲ得サル不利益アルヲ以テ之カ注意ヲ要ス(商法第三百六十七條參照)尤モ預證券ノ所持人カ未タ質入ヲ爲ササル間ハ同法第三百六十四條第二項ノ規定ニヨリ預證券及質入證券ハ各別ニ之ヲ讓渡スコトヲ得サルモノナルヲ以テ前記ノ注意ハ最初ノ質入ノ場合ニ於テ最モ肝要トス

斯ノ如ク預證券ト質入證券トハ全ク別個ノ働ヲ爲シ預證券ハ裏書ニ依リ轉讓買賣セラレ又質入證券モ亦質權設定ニ依リ他ニ轉質セラレ之ヲ爲メ途ニ預證券所持人ト質入證券所持人トハ相互之カ所在ヲ知ルコトヲ得サル場合アルヘキヲ以テ質入證券所持者ハ辨濟期ニ至リ何人ヨリモ之カ支

拂ヲ受ケサルニ於テハ商法第三百六十八條ニ依リ手形ニ關スル規定ニ從ヒ同法第五百十四條ニ依リ公證人又ハ執達吏ヲシテ拒絕證書ヲ作製セシメ然ル後寄託物競賣ノ請求ヲナスモノトス尤モ寄託物ノ競賣ハ同法第三百六十九條ニ依リ拒絕證書作製ノ日ヨリ一週間經過ノ後ナルヲ要ス而シテ競賣シタル金額ノ分配方ハ同法第三百七十二條ノ規定ニ依リ第一ニ質入證券所有者之ヲ取得シ不足ナル場合ニハ債務者其他裏書人ニ對シ之ヲ請求シ殘額ヲ生シタルトキハ預證券所有者ニ之ヲ返付スルモノトス

又預證券所有者ハ質權設定アル貨物ヲ其ノ辨濟期間内ニ於テ保稅倉庫ヨリ庫出スル必要アル場合ニ於テハ同法第三百八十條ニ依リ質權者ニ對シ其ノ金額並ニ利息ヲ計算シ支拂フモノトス但シ此ノ場合ニ於テ質權者ノ不明ナルトキハ之ヲ倉庫營業者ニ預ケ庫出スルコトヲ得

官設保稅倉庫藏置貨物ニ對スル預證券カ若シ盜難ニ罹リ又ハ紛失滅失シタルトキハ直ニ稅關及警察署等ニ届出スルト共ニ一方裁判所ニ對シテハ民事訴訟法第七百六十九條ニ依リ除權判決ノ申立ヲ爲シ之カ判決ヲ受ケ然ル後新證券ノ交付ヲ受クルコト尤モ右届出アリタル預證券ヲ持參スル者アルトキハ稅關ハ保稅倉庫法第十三條ニ依リ持參人及届出人ニ於テ相當手續ヲ爲シ權利者確定スル迄ハ貨物ノ引渡ハ之ヲ停止ス私設保稅倉庫證券ノ場合モ略之ト同様トス但シ此ノ場合ニ於テ

ハ税關ニ對シ之カ届出ヲ要セス

第六節 私設保税倉庫設置手續

保税倉庫法ニヨリ保税倉庫ヲ設置シ之カ營業ヲ營マントスルニハ大藏大臣ノ特許ヲ受クルヲ要ス而シテ之カ特許ヲ受ケンニハ保税倉庫法施行細則第廿四條ニ依リ其ノ倉庫ノ位置、構造、棟數、坪數、藏置スヘキ貨物ノ種類、營業年限ノ記載シタル文書ニ倉庫並ニ附近ノ圖面ヲ添付シ所轄税關ヲ經由シ大藏大臣ニ提出スルヲ要ス朝鮮ニアリテハ朝鮮總督府、臺灣ニアリテハ臺灣總督府ニ出願シ各之カ特許ヲ受クルモノトス

右特許期限ハ三十年以内ナルモ若シ必要アル場合ニハ相當延期ヲ許可セラル又保税倉庫設置ノ特許ヲ受ケタルトキハ同施行細則第廿六條及第廿七條ノ規定ニ依リ開業前税關ノ指定ニ從ヒ貨物藏置ノ坪數三百坪迄金二千圓、以上ニ百坪ヲ増ス毎ニ金千圓ノ割合ニ依リ擔保物ヲ供託シ其ノ供託受領證ヲ税關ニ差出スモノトス而シテ營業狀態ニ依リ坪數増減ノ必要アル場合若クハ構造變更ヲ要スル場合ニハ詳細其旨ヲ申出テ税關ノ許可ヲ受クルヲ要ス尙其際擔保物ニ増減アル場合ニハ税關ノ指定ニ從ヒ擔保物ノ供託増減ヲ爲スモノトス

藏置貨物ノ種類ノ變更ニ付テハ大藏大臣ノ認可ヲ受クルヲ要ス又貨物保管規程及庫敷料ニ對シテモ是亦大藏大臣ノ認可ヲ受クヘキモノニシテ若シ之カ認可ヲ受ケスシテ貨物保管規程又ハ庫敷料ヲ定メタルトキハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ又當該官吏カ必要アリト認メ藏置貨物又ハ帳簿書類ノ検査ヲ爲ス場合ニ之カ検査ヲ拒ミ又ハ之ヲ忌難シ若クハ之ニ支障ヲ加ヘタルトキハ二圓以上二十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處セラルルコトアルヘシ

第七節 私設保税倉庫々主ノ責任

私設保税倉庫ノ庫主ハ主トシテ税關ノ指揮監督ヲ受ケ(保税倉庫法第十九條參照)其ノ保管スル貨物ノ輸入税ニ付テハ一切ノ責任ヲ有シ(同法第二十條參照)尙命令ノ定ムル所ニヨリ保管貨物ニ對スル輸入税ノ擔保トシテ豫メ金錢又ハ國債證券ヲ供託(同法二十三條參照)スルノ義務アルモノトス

斯ノ如ク私設保税倉庫ノ庫主ハ其ノ保管ニ係ル貨物ノ輸入税ニ付テハ税關ニ對シ一切ノ責任ヲ有スルヲ以テ藏置貨物盜難ニ罹リ又ハ紛失シタルトキ若クハ法定期間ヲ過キ之カ引取ヲナササル貨物ニ對シテハ庫主ハ同施行細則第三十八條及第三十九條ノ規定ニ依リ之カ輸入税ヲ納付スヘキ

ハ勿論其他平時ニアリテモ倉庫ノ開閉又ハ貨物ノ出入ヲ爲ス時ハ必ス税關官吏ノ立會ヲ求メサルヘカラス又庫主ハ同施行細則第四十條ノ二ニ依リ防火ノ設備ハ勿論其ノ他貨物保安上必要ナル設備ヲ爲スノ義務アルモノトス

叙上ノ外營業特許ノ消滅シタル場合ニ於テモ庫主又ハ其ノ相續人ハ其ノ藏置貨物ノ引取又ハ他ノ官私設保税倉庫ニ庫移ノ終了スル迄ハ私設保税倉庫ニ關スル一切ノ義務ヲ免ルルコトヲ得サルモノトス(同法第廿八條參照)

貨物保管規則及庫敷料ハ前節述フルカ如ク總テ大藏大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムルモノ(同法第二十四條參照)ニシテ其ノ他庫主ノ雇人及其ノ使用スル人夫ニシテ保税倉庫内若クハ其ノ構内ニ出入スル者ニ付テハ庫主ハ相當ノ取締方法ヲ設クルノ外税關ノ要求アルニ於テハ何時ニテモ其ノ營業ニ關スル諸般ノ報告ヲ爲スノ義務アルモノトス(同法第二十五條同施行細則第四十六條ニ第第四十八條參照)

又税關派出吏ニ對シテハ派出特許手数料ヲ納付スヘキモノニシテ之カ料金ハ派出官吏一人ニ付一ヶ月金七拾圓トス

第八節 私設保税倉庫營業ノ特許消滅

私設保税倉庫營業ノ特許消滅ハ同法第廿六條規定ノ如ク一、庫主其ノ營業ヲ廢シタルトキ二、庫主死亡シタルトキ三、庫主破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ四、特許ノ期限滿了シタルトキ五、大藏大臣ニ於テ特許ヲ取消シタルトキ、以上何レモ其ノ一ニ該當スル場合ニハ之カ特許ハ消滅スルモノトス

前記第五ニ該當スル所謂大藏大臣ニ於テ之カ特許ノ取消處分ハ如何ナル場合ニ於テ之ヲ爲スカト謂フニ同法第三十條ニ一、庫主カ業務ニ關スル法律命令ニ違背シタルトキ二、庫主輸入税ノ負擔ニ堪ヘサルノ疑アルトキ三、庫主重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタルトキ、以上何レモ各其ノ一ニ該當スルトキハ大藏大臣ハ之カ營業ノ特許ヲ取消スコトヲ得ルモノトス

叙上營業特許消滅シタルトキハ税關ハ其旨ヲ公告シ貨主ヲシテ相當期間内ニ之カ處分ヲ爲サシムルモノトス若シ之ヲ爲ササルトキハ税關ハ貨主ノ費用ト負擔トヲ以テ其ノ貨物ヲ官設保税倉庫若クハ私設保税倉庫ニ庫移シ之カ保管ヲ移スモノトス左モ營業特許消滅後一ヶ月以内ニ於テ之カ營業繼承又ハ新タニ營業ノ特許ヲ出願スルモノアルトキハ前記藏置在庫貨物ノ處分ハ之ヲ爲ササ

第九節 保稅倉庫敷料及手數料

一、官設保稅倉庫敷料

官設保稅倉庫敷料ハ内地、朝鮮、臺灣共各其ノ賃率ヲ異ニス而シテ其ノ賃率ハ内地ニ在リテハ大藏省令朝鮮ニ在リテハ府令臺灣ニ在リテハ告示ノ形式ヲ以テ各之ヲ公示ス

(イ) 内地

内地ニ於ケル現行賃率ハ大正九年七月大藏省令第二十五號官設保稅倉庫敷料定率表ニ依ル而シテ同表ハ之ヲ三十三項ニ區分シ百斤又ハ每立方尺ニ付大體一ヶ月三錢乃至四錢見當ニシテ内、懷中時計、寶石、眞珠、貴金屬ハ從價千分ノ五トシ末段ニ本表ニ掲ケサル物品ハ每立方尺一ヶ月四錢トシ尙以上之カ敷料ノ一ヶ月未滿ノ計算ニ付テハ十五日迄ハ半ヶ月分十五日ヲ超ユルモノハ一ヶ月分ヲ徵收ス一立方尺未滿ハ一立方尺百斤未滿ハ百斤トシテ計算ス而シテ以上庫敷料ハ貨物庫出ノトキニ於テ之ヲ徵收スルモノトス

(ロ) 朝鮮

朝鮮現行定率表ハ大正九年八月府令第百十八條ニ依リ三十一項ニ分類セラレ大體每百斤又ハ每立方尺ニ付一ヶ月三錢見當ナルモ其ノ内籠甲、象牙、懷中時計其他ノ貴重品ハ從價千分ノ五トシテ敷料一ヶ月未滿並ニ一立方尺未滿ノ計算方ニ付テハ内地ノ分ト同様トス

(ハ) 臺灣

臺灣現行定率表ハ大正十年二月府告示第十四號ニ係リ其ノ分類方ハ略内地ト同様三十三項ニ分類セラレ大體ニ於テ每百斤又ハ每立方尺ニ付一ヶ月三錢乃至四錢見當ニシテ内毛皮類ハ二十錢乃至三十錢懷中時計、寶石、眞珠、貴金屬類ハ從價千分ノ五トシ一ヶ月未滿又ハ百斤未滿一立方尺未滿ニ付テノ計算ハ内地ノ分ト同様トス

二、私設保稅倉庫敷料

私設保稅倉庫ニ於ケル庫敷料ハ保稅倉庫法第二十四條ニ依リ當業者ハ豫メ之カ賃率表ヲ作製シ大藏大臣ノ認許ヲ受クヘキモノトス從テ各營業者毎ニ多少其ノ率ヲ異ニスルノミナラス營業者ハ各其ノ認許ヲ受ケタル賃率ノ範圍内ニ於テ隨時寄託者ト其ノ賃率ヲ協約シ且ツ商機上之ヲ秘スル傾向アルヲ以テ實際ニ於ケル賃率ハ同業者ト雖モ之ヲ熟知スルヲ得サルカ如シ然レトモ其ノ賃率ハ概シテ官設保稅倉庫ニ比シ概シテ低率ナルモノ多シ

叙上低率ノ主因ハ要スルニ私設保税倉庫ニ在リテハ常ニ顧客ノ招來ニ務メ且庫内地積ノ收容全
能率ノ充實ニ傾倒シ經濟的厚生利用ニ巧ナルト共ニ一方官設保税倉庫ハ官廳ノ經營ニ係リ其ノ經
營ノ如何ニヨリテハ民間經營者ニ至大ノ影響ヲ及ホシ之カ爲メ却テ民設ノ發展ヲ阻害スヘキ虞レ
ナキニ非ルヲ以テ可成之カ競争ヲ避ケ之カ賃率ヲ低減セサルモ亦其ノ一原因タルヲ失ハス

現下私設保税倉庫ノ發展ニ徴シ官設保税倉庫ノ如キハ今ヤ全ク之カ必要ヲ認メサルノミナラス
之カ存置ノ爲メ却テ民設保税倉庫ノ發展ヲ阻害スルカ如キ虞レアルト共ニ一方現下官設保税倉庫
ノ經營ハ全ク收支償ハサル實況ナルカ如クナルヲ以テ財政上並ニ經濟上官設保税倉庫ハ近キ將來
ニ於テ之ヲ廢止スルヲ得策トス

三、臨時開庫手数料

茲ニ所謂手数料トハ主トシテ保税倉庫（官私設共）ノ臨時開扉ノ場合ニ於テ税關ニ對シ支拂フ
ヘキ特許手数料金ニシテ保税倉庫ノ開扉ハ日出ヨリ日沒迄ニ限ラルルヲ以テ若シ税關ノ休日ニ於
テ之カ開扉ヲ要スルトキハ臨時開庫願書ヲ提出シ之カ特許ヲ受クルヲ要ス而シテ之カ特許手数料
ハ一時間ニ付壹圓トス但シ夜中開扉ハ絕對ニ之ヲ許ササルモノトス

右臨時開庫ハ單ニ庫入、庫出、庫移又ハ運送ニ對スル單純ナル使役事務ノミニ關スルモノニシ

テ貨物ノ検査又ハ納稅事務ノ伴フ開庫ナルトキハ關稅法施行規則第七十四條ニ依リ臨時開庫ノ特
許ヲ受クルヲ要ス而シテ本特許ヲ受クルニハ臨時開庫特許申請書ニ式ノ如ク記入シ特許手数料ノ
納付ヲ要ス（特許手数料ニ關シテハ第十二章參照）而シテ本特許ヲ受ケタル場合ニハ別ニ臨時開
庫願書ノ提出ヲ要セサルハ勿論開庫手数料ノ納付ヲ要セサルモノトス朝鮮及臺灣ニ於テモ右ト同
様トス

右ノ外預證券ノ分割、再渡又ハ書換（官設保税倉庫ノ場合）ニ對シテハ手数料トシテ一通ニ付
三十錢ヲ納付スルコト之カ納付ハ納付書ニ收入印紙ヲ貼付シ差出スコト

尙官設保税倉庫ニ貨物運出入ノ場合ニ要スル人夫ハ税關ニ於テ許可シタル人夫ノ外ハ之ヲ使用
シ得サルモノトス（同法施行細則第五十九條參照）其ノ他人夫費以外ニ要スヘキ諸費モ是亦一切
貨主ノ負擔タルコト（同第五十八條參照）

第十一章 異議

第一節 異議ノ意義

行政法上ニ於テ異議ト稱スルハ行政廳ノ處分ニ對シ不服アル場合ニ於テ法規ノ定ムル方法ニ依リ之カ救済ヲ求ムル行爲ニシテ換言スレハ處分ヲ爲シタル行政廳ニ對シ之カ處分ノ改廢ヲ主張スル爲メ私人ニ與ヘラレタル一種ノ權利ナリ而シテ關稅法ニ於ケル異議ハ同法第六十一條ニ依リ關稅ノ賦課ニ關スル稅關長ノ處分ニ對シ不服アル場合ニ於テノミ爲シ得ラルルモノニシテ關稅賦課處分以外ノ處分ニ對シテハ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

然レトモ異議申立ヲ爲スヲ得サルヲ以テ稅關長ノ違法若クハ不當處分ニ對シテハ他ニ救済ノ途ナキカト云フニ然ラス斯クノ如キ場合ニ於ケル救済ノ方法ニ關シテハ關稅法ハ之ヲ一般ノ救済法規ニ讓レリ是ヲ以テ關稅ノ賦課ニ關スル以外ノ處分ニシテ若シ其ノ處分カ違法ナルカ爲メ自己ノ權利ヲ毀損セラレタリト思慮スル場合若クハ不當ナル爲メ自己ノ利益ヲ害セラレタリトスル場合ニ於テハ異議ノ申立ヲ要セス訴願法ニ依リ同法第一條（第十二章訴願參照）規程ノ範圍内ナルニ

於テハ大藏大臣ニ訴願ヲ提起シ或ハ行政訴訟ニ依リ之カ救済ヲ求ムルコトヲ得

尤モ織物消費稅ノ賦課ニ關シ稅關長ノ處分ニ對シ不服アル場合ハ織物消費稅法第九條ニ依リ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得是ヲ以テ現今稅關長ノ處分ニ對シ不服アル場合ニ異議ノ申立ヲ爲シ得ヘキ事項ハ關稅法ニ於テハ關稅賦課ニ關スル事件及織物消費稅ニ於テハ織物消費稅ノ評定價格ニ關スル事項トス

第二節 異議申立ノ手續

異議申立ノ手續ニ關シテハ各法規ニ於テ多少異ル處アルモ要スルニ異議ノ申立ハ處分ヲ爲シタル其ノ應ニ申立テ且ツ異議申立人ハ直接其ノ處分ヲ受ケタル者タルヲ要ス而シテ關稅ノ賦課ニ關スル稅關長ノ處分ニ對シ不服アルモノハ同法第六十一條ニ依リ其ノ處分ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ文書ヲ以テ稅關長ニ申立ツルコト而シテ其ノ異議申立書ニハ同法施行規程第五十一條ニ依リ不服ノ要領、理由、要求及處分ヲ受ケタル年月日ヲ記載シ附屬書類又ハ物件アルトキハ之ヲ表示スルヲ要ス

茲ニ所謂不服トハ關稅賦課ニ對シ稅關ト見解ヲ異ニシ例之申告者ハ無稅品ト思料シタルニ有稅

品トシテ税金ヲ課セラレ又ハ同シ有税品ニテモ税率適用ノ解釋ヲ異ニシ自己ノ思料シタル税率ヨリハ重キ税率ヲ課セラレ或ハ申告價格ヨリ高價ニ鑑定セラレシ場合ニ起ル問題ニシテ只茲ニ注意スヘキハ同法第六十一條但書ニ依リ貨物ヲ引取リタル後ハ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得サルハ勿論同法第六十八條ニ依リ訴願ヲモ提起スルコトヲ得ス(詳細ハ第十二章訴願參照ヲ要ス)尤モ從量税品ニ對スル税率上ノ爭ニ係ル異議ノ申立ニシテ該貨物ヲ急速引取ノ必要アル場合ニ於テハ同法第三十四條ニ依リ免許前引取ノ申請ヲ爲シ税金ヲ供託シ且ツ相當見本ヲ提供シ置クニ於テハ便宜貨物ノ引取ヲ爲シ得ラルル便法アルモ從價税品ノ價格ニ關スル異議ノ場合ニ於テハ絕對引取ルコトヲ得サルモノトス

何トナレハ從價税品ノ價格ニ關スル異議ノ申立ニ對シテハ次節ニ述フルカ如ク之カ處分ハ稅關カ之ヲ買上ルカ若クハ評價ノ二方法アルノミニシテ何レノ方法ニ依リ之ヲ決スルトシテモ係爭貨物ハ之カ判定迄ハ稅關構内ニ置クノ必要アルニ依ル而シテ買上若クハ評價處分ニ對シテハ相當日時ヲ要スルヲ以テ此ノ場合ニ於テハ申告者ハ該貨物ヲ其儘上屋ニ置クヨリハ保税倉庫若クハ假置場ニ移スヲ利便トス

尙注意スヘキ事項トシテハ輸入申告ノ際、申告書ニ仕入書ヲ添付セザリシトキハ同法第三十二

條ノ規定ニ依リ如何ニ不服アルモ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得サルハ勿論是亦訴願ヲモ提起スルコトヲ得サルノ不利益アルヲ以テ申告ノ際注意セラルヘシ(詳細ハ第五章第五節仕入書參照)

又織物消費税ノ評定價格ニ對スル稅關ノ處分ニ對シ不服アル場合ニハ同法第九條ニ依リ即時異議ノ申立ヲ爲スコト而シテ異議申立ノ形式ニ關シテハ同法及同法施行規則中別ニ明文ナキモ即時トアルヲ以テ必シモ文書ヲ以テスルヲ要セス口頭ニテモ亦可ナルモノトス但シ係爭ニ係ル物品ハ同法第十條ノ規定ニ依リ稅關又ハ保税倉庫ヨリ之ヲ引取ルコトヲ得サルモノトス

第三節 異議ノ判定

異議ノ申立ニ對スル之カ判定ノ形式ハ各法規ニ依リ異ルモ要スルニ其ノ申立ヲ受ケタル行政廳ハ相當再審ノ上之ヲ判定シ異議申立人ニ通達ス而シテ稅關ニ於テハ異議審査員ヲ設ケテ再審セシメタル後之ヲ判定スルヲ常トス而シテ之カ判定處分ヲ爲スニ當リ從價税品ノ課稅價格ニ對スル處分ト其他主トシテ税率ニ關スル處分トハ其ノ處分方法ヲ異ニスルヲ以テ左ニ税率ニ關スル判定ト從價税品ノ課稅價格ニ對スル判定トニ區別シ之ヲ述ヘン

一、税率ニ關スル異議ノ判定

税率ニ關スル異議ニ對シテハ税關長ハ關稅法第六十二條ニ依リ文書ヲ以テ之ヲ判定シ異議申立人ニ之ヲ交付ス而シテ其ノ判定書ニハ同法施行規則第五十二條ニ依リ異議申立人ノ住所又ハ居所氏名、異議申立ノ要領、判定ノ理由及判定主文ヲ記載スルコト而シテ同第五十二條ニ依リ判定書ノ交付ハ使丁ヲシテ送達セシムルカ又ハ書留郵便ヲ以テ之ヲ送達ス尤モ異議申立人ノ住所又ハ居所カ不明ナルカ又ハ其他ノ事故ニ因リ判定書ヲ交付スルコト能ハサルトキハ同第五十五條ニ依リ其ノ要領ヲ揭示シ其日ヨリ七日間ヲ經過シタルトキヲ以テ判定書ノ交付アリタルモノト看做ス

二、從價稅品ノ課稅價格ノ異議ニ對スル判定

從價稅品ノ課稅價格ニ對スル異議ノ申立ニ對シテハ關稅法第六十三條ニ依リ税關長ハ申告價格ニ百分ノ五ヲ加ヘタル價格ヲ以テ其ノ貨物ヲ買上クルカ若クハ評價人ヲシテ評價セシム而シテ此ノ場合ニ於テ買上處分ヲ爲スカ又ハ評價處分ヲ爲スカハ一ニ税關長ノ任意ノ裁量ニ委セラルルモノナルヲ以テ少クモ此ノ任意處分ニ對シテハ縱令不服アルモ訴願ハ之ヲ提起スルコトヲ得サルモノトス

(イ) 評價人ヲシテ評價セシムル方法

關稅長カ評價人ヲシテ之カ評價ヲ評定セシメ之ニ依リ判定セントスル場合ニ於テハ税關長ハ其

旨ヲ異議申立人ニ通知ス異議申立人ハ此ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ評價人ヲ選定シ其ノ職業、住所、氏名等ヲ税關ニ申告シ税關長ノ認可ヲ受クルヲ要ス

評價人ハ同法第六十四條ニ依リ之ヲ四人トシ内二人ハ税關長之ヲ命シ他ノ二人ハ異議申立人ノヲ選定ス尤モ評價人ハ税關ニ於テ命スル者モ亦異議申立人ノ選定スル者モ一、身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサルモノ及家資分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者二、關稅法第七十四條乃至第七十六條ノ處罰ヲ受ケ滿三年ヲ經過セサル者（第七十四條ハ輸入禁制品ノ輸入ヲ圖リ又ハ其ノ輸入ヲ爲シタル者第七十五條ハ關稅ノ通脫ヲ圖リ又ハ通脫シタル者第七十六條ハ免許ヲ受ケスシテ貨物ノ輸出若クハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシタル者）三、（イ）六年以上ノ懲役若クハ禁錮ニ處セラレタルモノ又ハ舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレ復權ヲ得サル者（ロ）六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラレタル者及舊刑法ノ禁錮ニ處セラレタル者ニシテ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテノ者又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者四、當該事件ニ利害ノ關係ヲ有スル者ハ何レモ評價人タルコトヲ得サルモノトス

異議申立人ノ選定シタル評價人ハ縱令前記各項ニ該當セサル者ト雖モ内偵ノ結果税關カ之ヲ不適當ト認ムルトキハ同法施行規則第五十八條ニ依リ改選ヲ命セラルルコトアルヲ以テ最初之カ選

定ニハ相當ノ注意ヲ要ス

三二二

前記手續ニ依リ評價人ヲシテ評價セシメタルトキハ双方ノ評價人ヨリ其ノ評價ノ理由ヲ詳記シタル評價書ヲ税關ニ提出セシメ若シ其ノ評價額一致セサルトキハ其ノ平均ヲ以テ評價價格トシ其ノ評價價格ヲ以テ課稅價格ト定ム尤モ評價價格カ申告價格ヨリ少ナキトキハ申告價格ヲ以テ課稅價格ト定ム異議申立人ハ此ノ決定額ニ基キ税金ヲ納付シ輸入免許ヲ受ケ然ル後之カ引取ヲ爲スモノトス

前記評價人ニ對シ要シタル費用ハ其ノ評價成績ノ如何ニ拘ラス同法第六十六條ノ規定ニ依リ異議申立人ノ負擔トナルヘキ分ハ自己ノ選定シタル評價人ニ對シテノミニ限り税關ニ於テ選定シタル評價人ノ費用ハ税關ノ負擔トス

(ロ) 買上方法

前記評價ノ方法ニ依ラス買上ノ方法ニ依ルトキハ税關長ハ其旨ヲ異議申立人ニ通知シ然ル後申告價格ニ百分ノ五ヲ加ヘタル額ヲ以テ之ヲ買上クルモノナルヲ以テ縱令ヒ不服アルモ打算上若クハ商機ノ都合ニ依リ之カ買上ヲ不利ト認ムルトキハ可成買上處分決定通知前ニ異議申立ヲ撤回スルヲ得策トス

(ハ) 評價買上兩法ノ可否得失

叙上評價及買上處分ノ可否得失ニ關シテハ互ニ一長一短アルヲ免レサルモ要スルニ從來幾多ノ經驗ニ徴スルニ評價處分ハ相互ニ同一數ノ評價人ヲ選定シ之カ中間ヲ採リ之ニ依リ課稅スルモノナルヲ以テ公平無私ノ處分ナルカ如キモ一、評價人ノ選定身元調査其ノ他評價ニ至ル迄煩雜ナル手續ト相當ノ日子ヲ要シ二、貨主ノ選定シタル評價人ハ貨主ノ利益ヲ計ル虞アルト三、税關選定ノ評價人ハ稍々公平ナルカ如キモ何レモ商取引上相互面識アリ人情機微ノ缺點ハ是又多少貨主ニ同情スルノ傾アル缺點アリ之カ爲評價ノ結果ハ常ニ申告價格ヲ超ユルコト少ク常ニ不成功ニ終ルハ机上ノ空論ニアラスシテ多年ノ經驗ニ依リ得タル事實ニ屬ス

反之買上處分ハ申告價格ニ百分ノ五ヲ加フルニアリ從テ迅速簡易ニ之ヲ處決シ得ラルル利便アルヲ以テ税關ハ主トシテ此ノ方針ノ下ニ在ルカ如キモ一方當業者ノ上ヨリ之ヲ觀レハ一、現物買上ノ爲メ違約其ノ他商取引信用上至大ナル打撃ヲ蒙ルル虞アルト二、之カ爲止ムヲ得ス鑑定價格ニ服從スル傾アルト三、從テ買上ハ多少強制的性質ヲ加味スル嫌アルトノ缺點アリ

過去十數年來各税關ヲ通シ從價稅品ニ對スル異議申立ノ事例至テ少キハ其ノ原因何レニ在ルカ若シ其ノ處分カ買上主義ナルカ爲メ當業者ニ非常ニ不利ナルヨリ自己ノ主張シ得ヘキ權利モ空シ

ク之ヲ拋棄シ已ムナク鑑定價格ニ服スルモノナリトセハ之カ救濟方法トシテハ前述ノ評價方法ニ回復スルカ若クハ買上率ヲ増スカノ二途ニ在ルモ叙上評價處分ニハ評價人結託ノ虞アリ從テ公平真正ノ評價ヲ期シ難キ缺點アリ又後者ノ買上率ヲ増ストセハ當業者ノ採算上ニ於テハ違約金、口錢等ヲ込メ之カ買上率ハ少クモ百分ノ十五見當ヲ見積リ居レルカ如シ

元來買上率百分ノ五ナル現行規定ハ一般商業上ニ於ケル口錢ハ普通五分ヲ限度トスルヲ以テ此ノ標準ニ依リ算出セラレタルモノニシテ叙上ノ如ク之カ買上率ヲ百分ノ十五以上ニ引上クルニ於テハ當業者ニハ相當ノ利便ヲ與フヘキモ國家トシテハ之ヲ買上ケタル後ニ於テ該貨物ノ處分上ノ利益尠ナカラサルヘシ

要スルニ現行規定ニ於ケル評價及買上處分ニ對シテハ兩者何レモ之カ缺點アルヲ免レサルノミナラス現行ノ如ク之カ處分方法ヲ二途ニ區分シ其ノ何レニ依ルカハ一ニ官廳ノ任意選擇ニ委スルカ如キハ公平慎重ヲ缺クノ嫌ナキニアラサルノミナラス尙一方之カ判定ニ對シ縦令不服アルモ上級官廳ニ對シ更ニ訴願提起ノ途ナキ所謂救濟手段トシテハ終局ノ決定タル重要ナル判決ナルニ於テオヤ

是ヲ以テ之カ救濟方法トシテ極メテ簡單明瞭ニシテ且公平ナル處分方法トシテハ鑑定價格ニ不

服アル場合ニハ鑑定價格ヲ以テ之ヲ買上クルコトトセハ當業者ノ方面ヨリ之ヲ觀ルモ將タ又國家トシテモ相當ノ値段ヲ付シ其ノ値段ニテ買上クルモノナルヲ以テ其間何等誤解ノ生スル虞ナキノミナラス尙一方之ニ對シ不服ノ場合ニハ訴願提起ノ途ヲモ開カシムルニ於テハ一層公平ニシテ且慎重ヲ期シ得ラルル所以ニアラサルカ

第十二章 訴 願

第一節 訴願ノ意義

訴願トハ下級行政廳ノ處分ニ對シ不服アル場合ニハ更ニ上級行政廳ニ向テ其ノ處分ノ改廢ヲ主張スル爲メ私人ニ與ヘラレタル權利ニシテ救濟手段トシテハ異議ト異ル所ナキモ訴願ハ一面ニ於テハ訴願ノ原因トナレル處分ヲ爲シタル下級行政廳ノ監督手段ヲ意味ス

我國ニ於テハ關稅ノ賦課ニ對シテハ明治二十三年法律第六六號（行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ル事件ノ内海關稅ハ之ヲ除外ス）ニ依リ行政訴訟ヲ認許セサルヲ以テ之カ終局ノ救濟ハ大藏大臣ニ訴願スルニ在リ而シテ關稅法第六十八條ニ「第六十二條（關稅ノ賦課ニ關スル稅關長ノ處分ニ對シ異議ヲ申立アリタルトキハ稅關長ハ文書ヲ以テ之ヲ判定シ異議申立人ニ之ヲ交付スヘシ但シ評價若クハ買上處分ノ場合ハ此ノ限りニ在ラス）ノ稅關長ノ判定ニ對シ不服アルモノハ大藏大臣ニ訴願スルコトヲ得」トアルヲ以テ關稅法ニ依リ訴願ヲ提起シ得ルモノハ關稅賦課處分中評價又ハ買上處分ヲ除キ主トシテ稅率ノ適用ニ關スル事項ニ在リ而シテ其ノ訴願ハ異議ノ申立ヲ前提

トス是ヲ以テ其ノ前提タル異議カ適法ニ成立セス又ハ成立シタルモノト雖モ之ニ對シ稅關長ノ判定アリタル後ニアラサレハ訴願ヲ提起スルコトヲ得サルモノトス

然レトモ訴願法第一條ニ「訴願ハ法律勅令ニ別段ノ規程アルモノヲ除クノ外左ニ掲クル事件ニ付之ヲ提起スルコトヲ得」トシ其ノ列記ノ事項ハ「一、租稅及手数料ノ賦課ニ關スル事件二、租稅滯納處分ニ關スル事件三、營業免許ノ拒否又ハ取消ニ關スル事件四、水利及土木ニ關スル事件五、土地ノ官民有區分ニ關スル事件六、地方警察ニ關スル事件其他法律勅令ニ於テ特ニ訴願ヲ許シタル事件」トアルヲ以テ訴願提起ノ範圍ハ頗ル廣キモノトス

又行政訴訟法上ニ於テハ明治二十三年法律第六六號（行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ル事件）ニ「法律勅令ニ別段ノ規程アルモノヲ除ク外左ニ掲クル事件ニ付キ行政廳ノ違法處分ニ由リ權利ヲ毀損セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得」トシ其ノ列記ノ事項ハ一、海關稅ヲ除ク外租稅及手数料ノ賦課ニ關スル事件二、租稅滯納處分ニ關スル事件三、營業免許ノ拒否又ハ取消ニ關スル事件四、水利及土木ニ關スル事件五、土地ノ官民有區分ノ査定ニ關スル事件トアルヲ以テ縱令關稅法上ニ於テ訴願又ハ行政訴訟許與ノ明文ナキモノト雖モ前記各法律ヲ救濟方法ニ關スル包括的ノモノト解釋スレハ稅關諸手数料ハ勿論輸入ノ際稅關ニ於テ徵收スル内地消費稅ノ

賦課ニ關スル不當若クハ違法處分ニ對シ自己ノ利益又ハ權利ヲ害セラレタリトスル場合ニハ前章異議ニ於テ述フルカ如ク關稅法上別ニ異議申立ノ明文ナキヲ以テ各其ノ法規ニ基キ訴願ヲ提起シ又ハ行政裁判所ニ出訴シ得ラルルモノナルヘシ

行政訴訟ト訴願ト異ル點ハ要スルニ形式ノ上ニ於テハ行政訴訟ハ獨立ノ特種裁判所ニ於テ主トシテ普通裁判ノ形式ヲ以テ判決シ訴願ハ單ニ直接上級行政廳ニ於テ之ヲ裁決ス從テ前者ハ當事者双方口頭審問主義ヲ原則（行政裁判法第三十三條行政裁判所ハ豫メ指定シタル期間ニ於テ原告被告及第三者ヲ召喚シテ審廷ヲ開キ口頭審問ヲ爲スヘシ云々）トスルニ反シ後者ハ文書審理主義ヲ原則（訴願法第十三條訴願ハ口頭審問ハ爲サス其ノ文書ニ付キ之ヲ裁決ス云々）トス

又實質上ニ於テハ行政訴訟ハ前記明治二十三年法律第六號明記ノ如ク行政廳ノ違法處分ニ由リ權利ヲ毀損セラレタリトスル場合ニ於テノミ出訴シ得ルモ訴願ハ行政廳ノ判定處分ニ對シ不服ヲ原因トスルヲ以テ前記違法處分ニ由リ自己ノ權利ヲ毀損セラレタリトスル場合ハ勿論不當處分ニ由リ自己ノ利益ヲ害セラレタリトスル場合ニ於テモ亦之ヲ提起スルコトヲ得ルヲ以テ訴願ハ行政訴訟ニ比シ其ノ意味廣キカ如シ

第二節 訴願提起ノ手續

訴願ハ前節述フルカ如ク下級行政廳ノ處分ニ對シ不服アル場合ニ更ニ上級行政廳ニ對シ之カ救濟ヲ求ムル手段ナルヲ以テ之カ提起ハ訴願法第二條ニ依リ其ノ處分ヲ爲シタル行政廳ヲ經由シ之カ監督ノ上級行政廳ニ提起スルモノトス而シテ訴願ハ文書ヲ以テ提起スルモノトス而シテ訴願書中侮辱誹毀ニ涉ルモノアルトキハ同法第五條ニ依リ受理セラレサルヲ以テ文案ニ對シテハ相當注意ヲ要ス而シテ訴願書ニハ不服ノ要點理由要求及訴願人ノ身分、職業、住所、年齢等ヲ記載シ署名捺印スルコト但シ法人ナルトキハ法人名ヲ以テ訴願スルコトヲ得尙訴願書ニハ證據書類ヲ添ヘ並ニ下級行政廳ノ裁決若クハ判定ヲ經タルモノハ之ヲ添ユルコト

訴願提起ハ同法第八條ニ依リ處分ヲ受ケタル後六十日ヲ經過シタルトキハ訴願ヲ提起スルコトヲ得サルモノトス但シ同條第三項ニ「行政廳ニ於テ宥恕スヘキ事由アリト認ムルトキハ期限經過後ト雖モ仍之ヲ受理スルコトヲ得」トアルヲ以テ關稅賦課ノ訴願ニ關シ證據書類ノ未着其他ノ事由ニ依リ期限内ニ提起シ能ハサルトキハ豫メ稅關ニ其ノ旨ヲ申出置クヲ利便トス而シテ訴願書ハ郵便ヲ以テ之ヲ差出スコトヲ得此場合ニ於テ郵便遞送ノ日數ハ同法第十條ニ依リ前記六十日ノ内

ニハ之ヲ算入セサルモノトス

訴願ノ提起ハ處分ヲ爲シタル行政廳ヲ經由スルモノナルコトハ前項述フル所ナルモ其ノ經由ノ理由ハ要スルニ訴願ハ前節述フルカ如ク口頭審問ヲ爲サス文書審議ヲ原則トスルヲ以テ處分ヲ爲シタル行政廳ハ之カ訴願ニ對シテハ恰モ被告ノ位置ニ立ツモノナルヲ以テ之ニ對シ相當ノ辯明ヲ要ス是ヲ以テ訴願書取次ノ衝ニ當レル行政廳ハ同法第十一條ニ依リ訴願書ヲ受取リタル日ヨリ十日以内ニ辯明書及必要文書ヲ添へ上級行政廳ニ之ヲ發送スル義務アルモノトス

訴願裁決ノ結果尙之ニ承服セス更ニ上級行政廳ニ訴願セントスルトキハ同法第二條第二項ニ依リ其ノ裁決ヲ爲シタル行政廳ヲ經由シ之ヲ提起スルコトヲ得ルノミナラス同法第三條ニ依リ各省大臣ノ處分ニ對シテモ訴願ヲ提起シ得ラルルモノトス然レトモ關稅法第六十八條ニ依リ大藏大臣ニ訴願シタルモノハ其ノ訴願裁決ノ結果ニ對シテハ縱令之ニ不服アルモ更ニ訴願ヲ提起スヘキ上級行政廳ナキノミナラス訴願法第四條ニ「裁判所ノ裁判各省ノ裁決ヲ經タルモノハ其ノ事件ニ付キ更ニ訴願スルコトヲ得ス」トアルヲ以テ關稅ノ賦課ニ關シ之カ救濟ノ途ハ大藏大臣ノ訴願裁決ヲ以テ終局トス

第三節 訴願裁決

訴願ニ對スル審議ノ形式ハ各其ノ訴願ニ關スル事件ノ性質及種類ニ依リ多少異ナル處アルモ要スルニ其ノ審議ハ訴願審査委員會ニ付シ審議ノ上裁決ス而シテ其ノ審議ハ前節述フルカ如ク同法第十三條ニ依リ文書ニ付キ審議ノ上裁決スルヲ原則トス

關稅法第六十八條ニ依ル訴願ノ審議ニ對シテハ明治三十二年六月勅令第二百四十九號關稅訴願審査委員會規則ニ依リ大藏次官會長トナリ大藏省高等官三人帝國大學教授三人農商務省高等官二人司法省高等官一人（委員ハ大藏大臣ノ奏請ニヨリ内閣ニ於テ之ヲ命スルモノニシテ官報ニ掲載セラル）トナリ之ヲ審議ス而シテ其ノ審議ノ結果ハ之ヲ大藏大臣ニ具申（關稅法第七十二條參照）ス大臣ハ之ニ依リ裁決ヲ下スモノトス

叙上ノ審議ヲ經裁決セラレタル裁決書ハ訴願法第十四條ニ依リ裁決ノ理由ヲ明記（訴願却下ノ場合モ亦同シトス）シ處分ヲ爲シタル行政廳ヲ經由シテ之ヲ訴願人ニ交付セラル而シテ尙一方其ノ裁決ノ全文ハ之ヲ官報ニ告示スルヲ常トス

尙叙上ノ裁決ノ效力ニ關シテハ同法第十六條ニ依リ其ノ裁決ハ下級行政廳ヲ羈束スルヲ以テ一

且訴願ニ依リ裁決セラレタル事項ハ以後之ト同様ノ事項ニ關シテハ下級行政廳ハ其ノ裁決ト異リタル處分ヲ爲スコトヲ得サルモノトス尤モ法規ノ變更改正等ニ依リ處分上異動ヲ生シタル場合ハ下級行政廳ハ更ニ新ナル見解ニ基キ相當處分ヲ爲シ得ラルルコト勿論ナルヲ以テ關稅定率法ノ如キ屢々改正變更アル法規ニ關シテハ裁決ノ前例ノミニ因ルルコトナキヲ要スト共ニ一方裁決ノ前例アルモノト雖モ内外産業狀態ノ變遷推移ニ應シ産業政策上稅率類別ノ變動ハ之ニ伴フモノナルヲ以テ稅關長ノ課稅處分ニ對シ不服アル者ハ裁決前例ノ有無ニ係ラス自己ノ所信ヲ披瀝シ訴願提起ヲ可トス

訴願人訴願裁決書ノ交付ヲ受ケ其ノ裁決ノ結果曩ニ納付シタル稅金ニ過納分アル場合ニ於テハ直ニ返戻ノ請求ヲ爲シ又關稅法第三十四條但書ニ依リ稅金ヲ供託シ引取タル場合ナルニ於テハ裁決ノ通り稅金ヲ納付シ然ル後曩ニ供託シタル金錢ニ對シテハ之カ解除ノ手續ヲ爲スモノトス

第十三章 稅關ノ執務時間及諸料金

第一節 稅關ノ執務時間

一、内地

内地稅關ノ執務定時間ハ休日ヲ除ク外一年ヲ通シ午前九時ヨリ午後四時迄ニシテ土曜日ハ午後三時迄トス而シテ稅關ノ休日ハ大祭日、日曜日、十二月二十五日及十二月三十一日トス

横濱、神戸、長崎、大阪、及函館ノ各稅關ニ於テハ右休日ノ外其ノ地氏神ノ祭日當日ヲ以テ休日トス而シテ稅關ノ休日及定時間外ニ船舶貨物ニ關スル手續ヲ爲ス場合ニハ臨時開廳ノ特許ヲ受ケサルヘカラス（第五章第二節參照）又貨物ノ積卸、搬入、搬出等ノ仕役ハ平日ハ日出ヨリ日没迄爲シ得ラルルモノナルモ日没ヨリ日出迄又ハ稅關ノ休日ニ於テ以上ノ仕役ヲナサントスルニハ臨時仕役ノ特許ヲ得サルヘカラス而シテ日出及日没ノ時刻ハ一々曆ニ依ルハ頗ル煩雜ナルヲ以テ稅關ニ於テハ便宜左記豫定時刻表ニ依リ之ヲ定ム

二、朝鮮

朝鮮税關ニ於ケル出務時間ハ休日ヲ除キ五月一日ヨリ十月卅一日ハ午前九時ヨリ午後四時三十分迄十一月一日ヨリ四月卅日ハ午前九時三十分ヨリ午後四時迄トス但何レモ土曜日ハ午後三時迄トス尤モ貨物ノ陸揚、船積又ハ納稅濟ノ貨物引取等ニ關シテハ日出ヨリ日没迄ハ自由ニ爲シ得ラルルコトハ内地税關ト異ナル處ナシ

三、臺灣

臺灣税關ニ於ケル出務時間ハ休日ヲ除クノ外ハ五月一日ヨリ九月三十日迄ハ午前八時ヨリ午後二時迄十月一日ヨリ四月三十日迄ハ午前九時ヨリ午後四時迄トス但シ土曜日ハ午後三時迄トス尤モ貨物ノ陸揚、船積又ハ納稅濟ノ貨物引取ニ關シテハ前述ノ如ク休日ヲ除キ日出ヨリ日没迄ノ間ハ自由ニ爲シ得ラルルモノトス

四、樺太

樺太税關ニ於ケル出務時間ハ休日ヲ除クノ外一月一日ヨリ二月末日迄ハ午前十時ヨリ午後二時迄三月一日ヨリ四月三十日迄ハ午前九時ヨリ午後四時迄、五月一日ヨリ十月卅日迄ハ午前八時ヨリ午後四時迄、十一月一日ヨリ十二月卅一日迄ハ午前九時ヨリ午後三時迄トス

五、大連

大連税關ニ於ケル出務時間ハ明治四十年都督府令第三十八號關東州租借地稅關假則第廿五條規定ノ如ク日曜日及祭日ヲ除キ午前九時ヨリ午後四時迄トス但シ貨物ノ検査場ハ午前八時ヨリ開場シ午後四時閉場又貨物ノ積卸ニ關シテハ日曜及祭日ヲ除クノ外午前六時ヨリ午後六時迄ハ自由ニ之ヲ爲スコトヲ得而シテ叙上定日時以外ニ於テ貨物ノ引取、發送其他ノ積卸ニ關シテハ稅關長ノ特許ヲ受ケサルヘカラス而シテ之カ特許ヲ受クルニハ特許手数料ヲ納ムルモノトス之カ料金ハ本章第二節手数料ノ部參照

六、内地各稅關貨物積卸特許ニ關スル日出没豫定時刻表

二十四節期間日割	每期中間歴時		豫定時刻	
	日出	日没	日出	日没
自一月十五日	六時五十三分	四時四十六分	七時	五時
自一月二十日	六時四十七分	五時〇〇分	七時	五時
自二月八日	六時三十五分	五時十七分	七時	五時
自二月十九日	六時十八分	五時三十一分	六時	六時

至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自
同九	九八	同八	八七	同七	七六	同六	六五	同五	五四	同四	四三	同三	同三	同三
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
二七	六二	二七	六二	二七	六二	二五	四二	十五	四二	十四	二二	十五	十五	十五
十一	十三	十二	十二	十一	十一	十	十	九	九	九	九	九	九	九
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
五時	五時	五時	四時	四時	四時	四時	四時	四時	四時	五時	五時	五時	五時	五時
二十四	十三	〇〇	四十八	三十七	二十九	二十六	三十	四十	五十五	十五	三十六	五十七	五十七	五十七
分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分
五時	六時	六時	六時	六時	六時	六時	六時	六時	六時	六時	五時	五時	五時	五時
四十八	十	三十	四十六	五十六	五十九	五十六	四十七	三十五	二十三	十	五十七	五十七	四十五	四十五
分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分
五	五	五	五	五	四	四	四	五	五	五	六	六	六	六
時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時
六	六	六	七	七	七	七	七	七	六	六	六	六	六	六
時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時

第二節 特許手数料、使用料及敷料

至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自
一十二	同十二	十二	同十一	十一	同十	十	十九
月	月	月	月	月	月	月	月
四二	二六	五二	二七	六二	二八	七二	七二
十一	十	十二	十一	十三	十二	十二	十二
日	日	日	日	日	日	日	日
六時	六時	六時	六時	六時	五時	五時	五時
五十二	四十四	三十一	十七	〇三分	四十九	三十六	三十六
分	分	分	分	分	分	分	分
四時	四時	四時	四時	四時	五時	五時	五時
三十四	二十七	二十七	三十四	四十七	〇四分	二十六	二十六
分	分	分	分	分	分	分	分
七	七	七	六	六	六	六	六
時	時	時	時	時	時	時	時
五	四	四	五	五	五	五	五
時	時	時	時	時	時	時	時

特許手数料ニハ前節述フル處ノ税關ノ休日及定時間外ニ要スル特許手数料ノ外不開港出入特許
 手数料、官吏派出特許手数料其他證明手数料等アリ又使用料ノ内ニモ上屋、假置場、起重機、棧
 橋、浮標、繫船岸壁其他土地、建物、使用料等ノ區別アリ敷料モ又之ト同シク收容敷料、保税倉
 庫敷料アリ而シテ此等ニ對スル各料金額ハ内地、臺灣及朝鮮何レモ多少ノ差アルヲ以テ左ノ三項

ニ區別シ之ヲ掲ク

一、内地

(イ) 臨時開應特許手数料

- 一、日出ヨリ日没マテ 一時間マテ毎ニ 拾五圓
- 一、日没ヨリ午後十二時マテ 同 參拾圓
- 一、午後十二時ヨリ日出マテ 同 四拾五圓

税關支署ニ在テハ其ノ地ノ狀況ニ依リ半額迄ニ低減スルコトヲ得

(ロ) 積卸、搬出入、特許手数料

- 一、日出ヨリ日没マテ 一時間マテ毎ニ 參圓
- 一、日没ヨリ午後十二時マテ 同 六圓
- 一、午後十二時ヨリ日出マテ 同 九圓

(ハ) 指定地外ニ於ケル貨物検査特許手数料

普通貨物検査ノ爲メ税關官吏ノ派出ヲ要スルトキ

- 一、検査ニ要スル時間 一時間マテ毎ニ 五圓

但旅費ヲ要スルトキハ別ニ其ノ實費ヲ加フ

(ニ) 聯絡船内官吏乗船特許料

- 一、乗船官吏每一人 一箇月マテ毎ニ 百四拾圓

(ホ) 外國貿易船不開港出入特許手数料

- 一、一回ニ付 四拾五圓

(ヘ) 諸證明手数料

- 一、證明 每一件 貳圓
- 一、輸出入貨物日計表 每一件一箇月迄毎ニ 拾圓
- 一、其他船舶貨物ニ關スル計表 每一件一枚迄毎ニ 五拾錢

(ト) 土地建物使用料

- (A) 上屋又ハ上屋以外ノ土地 無料
- 一、貨物搬入ノ日ヨリ五日迄

- 二、同上六日以上十五日迄、五十斤又ハ十立方尺迄毎ニ 一日 金一錢

- 三、同上十六日以後 同上 一日 金二錢

前項使用料ハ從量稅品ニ對シテハ容積ニ依リ又從價稅品ニ對シテハ斤量ニ依リ徵收ス
(B) 土地又ハ建物ヲ專用スル者

一坪迄毎ニ一箇月金二圓(但事務所其ノ他建設ノ爲土
地使用料ハ一坪一月一圓)

但シ十五日迄ハ半箇月分ヲ十五日ヲ超ユルトキハ一箇月分ヲ徵收ス

前項使用料ノ徵收上便宜ト認ムルトキハ第一號ノ貨物ヲ第二號ノ定率ニ第二號ノ貨物ヲ第一號
ノ定率ニ依ラシムルコトヲ得

第一號及第二號ノ貨物ニ付テハ貨物ヲ上屋又ハ上屋以外ノ土地ニ搬入ノ日及上屋又ハ上屋以外
ノ土地ヨリ搬出ノ日ハ使用料ヲ徵收スヘキ日數ニ算入セス

輸出スヘキ貨物、關稅定率法第七條第一號及第二號ノ物品並ニ旅客ノ携帶セル旅具ハ使用料ヲ
徵收セス尤モ輸出貨物ノ如キ其ノ藏置月餘ニ亘ル場合ニハ縦令ヒ使用料ヲ徵收セサルモ收容セラ
ルルコトナキヲ保セス旅具ノ如キモ亦然リトス

(チ) 起重機使用料

一、電氣起重機

揚力一噸半ノモノ

一臺 一時間迄毎ニ

壹 圓

揚力三噸乃至五噸ノモノ

同 同

壹圓五拾錢

揚力十五噸ノモノ

同 同

四圓五拾錢

揚力五十噸ノモノ

同 同

拾五 圓

一、蒸汽起重機

浮動ノモノ但揚力二十噸迄ノモノ

同 同

五 圓

揚力五噸迄

同 同

壹 圓

以上五噸迄ヲ増ス毎ニ金五拾錢ヲ加フ

一、手動起重機

揚力五噸迄

同 同

五拾 錢

以上揚力五噸迄ヲ増ス毎ニ金貳拾五錢ヲ加フ

(リ) 曳船使用料

一、一隻一回金參拾圓但使用豫定日時ヨリ二時間以上ヲ經過シタルトキ一時間迄毎ニ貳圓増徴ノコ

(又) 港務部所屬船浮標使用料

- 一、總噸數五千噸未滿 二十四時間ニ付(二十四時間未滿ハ二十四時間トス) 拾 圓
- 一、總噸數一萬噸未滿 同 拾五 圓
- 一、總噸數一萬五千噸未滿 同 貳拾參圓
- 一、總噸數一萬五千噸以上 同 參拾圓

(ル) 棧橋及繫船岸壁使用料

- 一、繫留二十四時以内ノトキ 登簿噸數一噸ニ付 貳 錢
- 二、繫留二十四時ヲ超ユルトキ 同 參 錢
- 三、繫留九十六時ヲ超ユルトキ 同 前後ノ金額ニ超過時間二十
四時間迄毎ニ一錢ヲ加フ

前項ノ繫留時間ニハ税關ノ休日及税關長ノ命令ニ依リ一時棧橋又ハ繫船岸壁ヲ離レタル時間ヲ算入セス但シ税關ノ休日カ船舶ヲ繫留ノ初日又ハ解纜シタル日ナルトキ或ハ貨物積卸ノ特許ヲ受ケタル日ナルトキハ此ノ限ニ在ラス

税關長ハ大藏大臣ノ認可ヲ得テ定期航海船又ハ常時棧橋又ハ繫船岸壁ヲ使用スル船舶業者ニ對シ期間ヲ定メテ使用料減額ノ特約ヲ爲スコトヲ得

(ヲ) 收容貨物敷料

- 一、重量ニ依リ關稅ヲ賦課セラルヘキ貨物 五百斤迄毎ニ一日金參錢
- 二、前號以外ノ貨物 十立方尺迄毎ニ一日金參錢

前項使用料ノ徵收上便宜ト認ムルトキハ第一號ノ貨物ヲ第二號ノ定率ニ第二號ノ貨物ヲ第一號ノ定率ニ依ラシムルコトヲ得

收容ノ初日ハ敷料ヲ徵收シ解除ノ日ハ徵收セス

(ワ) 電燈使用料

- 十六燭光電燈五燈毎ニ一月金五圓
 - 三十二燭光電燈五燈毎ニ一月十圓
- 但シ一月未滿ノ使用料ハ十五日迄ハ半月分ヲ、十五日ヲ超ユルトキハ一月分ヲ徵收ス

二、朝 鮮

(イ) 臨時開應特許手数料

- 一、日出ヨリ日沒迄 一時間毎ニ 參 圓

- 一、日没ヨリ午後十二時迄 同 拾五圓
- 一、午後十二時ヨリ日出迄 同 貳拾五圓

税關支署及税關出張所ニ在リテハ税關長ハ其ノ他ノ狀況ニ依リ半額迄ニ低額スルコトヲ得

(ロ) 臨時貨物積卸・搬出入、特許手数料

- 一、日出ヨリ日没迄 二時間迄毎ニ 參圓
- 一、日没ヨリ午後十二時迄 同 五圓
- 一、午後十二時ヨリ日出迄 同 拾圓

(ハ) 派出検査特許手数料

- 一、検査ニ要スル時間 一時間迄毎ニ 參圓

但シ旅費ヲ要スルトキハ別ニ其ノ實費ヲ加フ

(ニ) 外國貿易船不開港出入特許手数料

- 一、壹回ニ付 貳拾圓

開港トノ交通著シク不便ナル場所ニ於テ貨物ノ陸揚又ハ船積スル爲メ外國貿易船ノ開港ニ出入スル特許ヲ與フル場合ニ於テ土地ノ情况及船舶ノ種類ニ依リ必要アルトキハ税關長ハ豫メ朝鮮總督

ノ認可ヲ得テ手数料ノ減額ヲ爲スコトヲ得

(ホ) 諸證明手数料

- 一、證明 每一件 貳圓

- 一、輸移出入貨物日計表 每一箇月 拾圓乃至參拾圓

但シ税關支署及税關出張所ニ在リテハ 五圓乃至貳拾圓

- 一、其他船舶貨物ニ關スル計表 每一件 五拾錢乃至壹圓

(ヘ) 上屋其他貨物藏置使用料

- 一、貨物搬入ノ日ヨリ五日迄 無料

- 二、同上六日以上十五日迄十立方尺又ハ五百斤迄毎ニ 一日 壹錢

- 三、同上十六日以後 一日 貳錢

(ト) 收容貨物敷料

- 一、立方尺又ハ五百斤毎ニ 一日 參錢

但シ收容ノ初日ハ日數ニ算入シ解除ノ日ハ日數ニ算入セス

(チ) 釜山棧橋使用料

第十三章 税關ノ執務時間及諸料金 第二節 特許手数料、使用料及敷料

棧橋使用ノ許可ヲ受ケムトスル船舶ハ登簿噸數一噸ニ付二十四時間迄毎ニ金二錢二十四時間ヲ超ユルトキハ超過時間二十四時間迄毎ニ一錢ノ割合ヲ以テ使用料ヲ關稅ニ納ムヘシ但シ一噸未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツ稅關長ハ必要アリト認ムルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ得テ期限ヲ定メ前項使用料ノ定率ヲ減額スルコトヲ得

鐵道院關釜連絡船ニ對スル棧橋使用料及其ノ納付方法ニ付テハ稅關長ハ朝鮮總督ノ認可ヲ得テ適宜之ヲ定ムルコトヲ得

三、臺灣

(イ) 臨時開港特許手数料

- 一、日出ヨリ日沒迄 一時間迄毎ニ 拾 圓
- 一、日沒ヨリ午後十二時迄 一時間迄毎ニ 拾五 圓
- 一、午後十二時ヨリ日出迄 一時間迄毎ニ 貳拾五 圓
- 一、日出ヨリ日沒迄 貨物積卸、搬出入、特許手数料 一時間毎ニ 貳 圓
- 一、日沒ヨリ午後十二時迄 一時間毎ニ 參 圓

一、午後十二時ヨリ日出迄

一時間毎ニ

五 圓

以上(イ)(ロ)ノ二項手数料ハ基隆支署打狗支署及假置場ヲ除クノ外之ヲ半額トス

(ハ) 派出検査特許手数料

一、検査ニ要スル時間

一時間迄毎ニ

參 圓

但シ旅費ヲ要スルトキハ別ニ其ノ實費ヲ加フ

(ニ) 外國貿易船不開港出入特許手数料

一、一回ニ付

拾 圓

(ホ) 諸證明手数料

一、證明

每一件

貳 圓

一、輸出貨物日計表

每一箇月

拾 圓

一、其他船舶貨物ニ關スル計表

每一件

五拾錢

(ヘ) 土地建物使用料

一、浮標

船舶一隻ニ付

一日

五 圓

一、土地

一坪ニ付

一箇月

拾五錢乃至五錢

一、建物 一坪ニ付 一箇月 六拾錢乃至貳拾錢

土地建物ノ使用料ハ一箇月未滿ナルトキハ十五日迄ハ半箇月分十五日ヲ超ユルトキハ一箇月分ヲ徵收ス

一、曳船 一隻ニ付一回 參圓乃至參拾圓

(ト) 收容貨物敷料

一、重量ニ依リ關稅ヲ賦課セラレヘキ貨物 五百斤迄毎ニ一日金三錢

二、前號以外ノ貨物 十立方尺迄毎ニ一日金三錢

料金ノ徵收上便宜ト認ムルトキハ第一號ノ貨物ヲ第二號ノ定率ニ、第二號ノ貨物ヲ第一號ノ定率ニ依ラシムルコトヲ得

收容ノ初日ハ敷料ヲ徵收シ解除ノ日ハ徵收セス

四、大連稅關

貨物積卸發送及荷役特許手数料

午前六時前 海關兩 十兩

午後六時ヨリ午後十二時迄 同 十兩

午後六時ヨリ翌日午前六時迄 同 二十兩

日曜日(終日) 同 四十兩

日曜日(半日) 同 二十兩

祭日(終日) 同 四十兩

祭日(半日) 同 二十兩

前記海關兩ノ換算率ハ牛莊建相場ニ依リ定マルモノトス

第十四章 貨幣及度量衡換算

第一節 貨 幣

凡ソ國際貿易上相互ニ交換セラルヘキ貨物ニ對スル價格ノ尺度タルヘキ貨幣ヲ一定スルニ於テハ通商貿易上至大ノ便利ヲ有ス是ヲ以テ國際貨幣制定ノ唱導セラルル亦故ナキニアラス然レトモ各國互ニ其ノ國狀ヲ異ニシ且ツ經濟上並ニ社會上各發展進步ノ程度ヲ異ニスルヲ以テ母國ト其ノ殖民地ノ間ニ於テサヘ多クハ其ノ制度ヲ異ニスル現下ノ狀態ニ徴シ國際貨幣制定ノ如キハ到底遠キ未來ノコトニ屬ス

是ヲ以テ對外彼我取引上ノ計算ハ勿論國際貿易貸借ニ關スル決濟ハ主トシテ爲替相場ニ依リ換算セラルル而シテ爲替相場ハ商取引上種々ナル原因ニ因リ常ニ變動シ一低一昂アルヲ免レサルモ要スルニ其ノ變動ノ主ナル原因ハ金貨對金貨ノ取組ノ場合ニ於テハ彼我貿易ノ轉逆若クハ爲替ノ順逆ノミニ基因スルニ反シ金貨對銀貨ノ取組ノ場合ニ於テハ前記原因ノ外尙銀價昂落ニ因ル一大原因之ニ伴フヲ常トス

是ヲ以テ普通金貨國間ニ於ケル爲替相場ハ相互ノ貿易順潮ニシテ且ツ他ニ爲替ヲ逆轉スヘキ現象ナキニ於テハ其ノ變化ハ至テ少ナキモノトス反シ之金貨國對銀貨國間ニ於テハ前記貿易ノ轉逆若クハ爲替順逆ノ變動ニ依ルノ外銀價ノ變動之ニ伴フモノナルヲ以テ其ノ變動ノ頻繁且ツ激甚ナル到底金貨國間ニ於ケルノ比ニアラス從テ關稅賦課上ニ於ケル價格換算ノ標準ハ常ニ之カ激動アルヲ免レサルモノトス

元來課稅上、價格換算ノ基礎標準タルヘキモノハ成ルヘク之ヲ一定シ務メテ變動ノ少カルヘキヲ要ス之レ獨リ徵稅ノ簡易利便ヲ期スルノミナラス一方當業者ニ於テモ之カ標準一定スルニ於テハ豫メ稅金額ヲ算出決定シ得ラレ從テ商談進捗上至大ノ利便ヲ有シ延イテ一〇商取引上利スル處少ナシトセス

是ヲ以テ關稅賦課ノ上ニ於テハ主トシテ之カ標準ヲ一定スルノ主義ヲ採用スルモ前述ノ如ク金貨國對銀貨國ノ如キニ在リテハ金銀對價ノ變動頻繁且ツ激甚ナルモノニ對シテハ豫メ之カ標準ヲ一定スルカ如キハ殆ント不可能ノコトニ屬ス是ヲ以テ課稅上稅關ニ於テハ變動ノ少ナキ金貨國對間ノ金貨ニ對スル換算ト金貨國對銀貨國ノ貨幣ニ對スル換算トハ全ク其ノ標準ノ根基ヲ異ニス左ニ金本位貨幣ト銀本位貨幣トニ區別シ之カ換算標準ヲ述フルニ

一、金本位貨幣換算方法

前述ノ如ク爲替相場ハ常ニ一低一昂アルヲ免レサルモ金貨國間ニ於ケル變動ハ概シテ其ノ變動ノ範圍狹小ニシテ彼ノ金貨國對銀貨國間ニ於ケルカ如キ激甚ナル變動ナキノミナラス金價ハ概シテ常ニ一定ス是ヲ以テ我國ニ於テハ關稅賦課ノ上ニ於テハ勿論貿易統計上外國金貨幣ノ換算ハ其ノ換算ノ基礎ヲ爲替相場ニ置カスシテ貨幣ノ實質即チ含有純金量目ノ上ニ置キ之カ含有金量ヲ對比考査シ之ニ因リ比較計算シタルヲ以テ價格換算ノ基礎トシ之カ標準ヲ一定セリ而シテ此ノ標準ニ依リ換算シタル外國金貨ノ邦貨ニ對スル換算價格ハ左記ノ通トス

尤モ金貨本位國ノ貨幣ト雖モ植民地ニ於ケル特種貨幣ノ如キモノニシテ特ニ銀貨ヲ以テ表示セラレタル場合ハ銀貨幣トシテ以下述フル處ノ換算率ニ依ルヘキハ勿論縱令金貨本位國ト雖モ一朝事變ニ際シ爲替ノ變動甚シク若クハ兌換停止ノ狀態ヲ呈シ全然金貨本位國ノ實ナキニ於テハ是亦銀貨貨幣ト同様爲替相場ニ依ルノ外ナシトス之カ一例ヲ舉クレハ目下露貨留及獨逸ノ「マーク」ノ如キモノ即チ之ナリ

Austria Hungary.....^{幣字}Krone (Kr) Yen 0.407
 " ".....Florin or Gulden " 0.814

British India Rupee (Ru) " 0.651
 " " Anna (An) " 0.04068
 Denmark, Sweden and Norway Krone (Kro) " 0.538 (2Kro=1 Florin)
 France, Belgium and Switzerland Franc (Fr) " 0.387
 Germany..... Mark (Mk) " 0.478
 Greece Drachm (Dra) " 0.37
 Netherland Guilder or Florin " 0.806
 Italy Lira (Lit) " 0.387
 Portugal..... Milreis (Ml) " 2.168
 Russia Rouble (Rbl) " 1.028
 Spain Peseta (Pes) " 0.387
 Turkey Piastre (Pr) " 0.083
 United Kingdom Pound (£) " 9.763
 " " Shilling (S) " 0.48315

1 Hectometre	同	百倍	330,0000 (55間)	3937.00787
1 Kilometre	同	千倍	3300,0000 (9間10間)	39370.07874
1 Myriametre	同	萬倍	33000,0000 (2里19間40間)	393700.78740 (6.17)

備考

上表ハ本邦度量衡法第四條ニ「メートル」ハ尺ノ十分ノ三十三トアリ又「インチ」ハ同法施行令第一條ニ「ヤード」ハ尺ノ一萬二千五百分ノ三萬七千七百十九トアリ是ニ依リ比較換算セリ之ヲ以テ「メートル」ヲ「インチ」ニ換算スルニハ「メートル」ニ三十九「インチ」三七ヲ乘シ又「インチ」ヲ「メートル」ニ換算スルニハ「インチ」ヲ三十九「インチ」三七ニテ除スルコ

ト

English Measures of Lengths

	尺	Metre
1 Inch	0.08382	0.0254
1 Foot	1.00584	0.3048
1 Yard	3.01752	0.9144
1 Chain	66.38544	20.1168

1 Mile 5310.83520 (14, 45, 0, 8352) 1609.344

備考

上表ハ本邦度量衡法施行令第一條「ヤード」ハ尺ノ一萬二千五百分ノ三萬七千七百十九トアリ又「メートル」ハ前表備考ニ掲クルカ如ク尺ノ十分ノ三十三ナルヲ以テ是ニ依リ計算ス是ヲ以テ「インチ」ヲ「メートル」ニ換算スルニハ「インチ」ニ零、零二五四ヲ乘スルカ又ハ前表ノ如ク三九、三七ニテ除シ、「フット」ニハ零、三〇四八ヲ、「ヤール」ニハ零、九一四四ヲ、「チェン」ニハ二〇、一一六八ヲ又「マイル」ニハ一六〇九、三四四ヲ乘スレハ「メートル」トナル尙以上名稱ノ外ニ商業上他ノ名稱ヲ交ユルモノアルヲ以テ以下之カ命位ヲ掲ケ參考ニ資ス

	12	3	4	10	8
Foot	12	3	4	10	8
Yard	36	3	4	10	8
Pole	198	16 1/2	5 1/2	10	8
Chain	792	66	22	40	32
Furlong	7,920	660	220	400	320
Mile	63,360	5,280	1,760	3,200	2,560

1 Line	1/2 inches	
1 Palm	3 "	
1 Hand	4 "	
1 Cubit	18 "	
1 Military pace	2 ft 6 inches	
1 Geometrical pace	5 ft	
1 Fathom	6 ft	
1 Cable length	240 yards	
1 Degree	69 1/2 statute miles	
1 League	3 miles	
1 Square foot	144 inches	
1 " yard	1,296 " 9 ft	
1 " pole	39,240 " 27 1/2 , 30 1/4 yds	
1 " chain	627,264 " 4,356 " 484 " 16 pole	

1 Square rood	1,568,160 "	10,890 "	1,120 "	40 "	2 1/2 chain
1 " acre	6,272,640 "	43,560 "	4,840 "	160 "	10 " 4 rood
1 Cubic ft =	1,728 cubic inches				
1 " yard =	27 "	ft			
1 " ton =	40 "	"			

Russian Measures of Length.

1 Stopa	^R 1.17344	^{サナ} 14
1 Arsheen	2.34689	28
1 Sushan	7.04078	84
Others		
1 Arsin (匈牙利)	^R 1.63352	^{サナ} 0.43440
1 Stab (同)	5.21565	1.58050
1 Piede (伊太利)	1.69539	0.51375
1 Vara (墨西哥)	2.76193	0.83695

1 Palen (葡萄牙)	0.72600	0.22000
1 Vara (同)	3.63000	0.11000
1 Pe (葡萄牙)	0.99000	0.30000

Metric Square Measures

土地又ハ水面ノ面積 (大正十三年勅令第十七號參照)

坪(歩)

1 Centiare	= 1アール(Are)ノ百分ノ一	0.3025
1 Are	= 100平方メートル	30.2500 (一畝除)
1 Hectare	= 100アール	3025.0000 (十反二十五歩)

海面ニ於ケル長 (同上)

1 海里 = 1852メートル

名稱略字ハ左ノ如シ

ミクロン	μ	
ミリメートル	mm	又ハ耗
センチメートル	cm	又ハ糶

デシメートル	dm	又ハ粉
メートル	m	又ハ米
キロメートル	km	又ハ糶
アール	a	
ヘクタール	ha	
海里	哩	

備考

上表ハ本邦度量衡法第四條「アール」ハ歩ノ四分ノ百二十一トアリ(「センチアール」ハ「アール」ノ百分ノ一、「ヘクトアール」ハ「アール」ノ百倍)是ニ依リ算出ス

二、量

Litre Measures

1 Millilitre	「リットル」ノ千分ノ一升
1 Centilitre	同 百分ノ一 0.00554
1 Decilitre	同 十分ノ一 0.05543

1 Litre		0.55435
1 Decilitre	同	十倍 5.54352
1 Hectolitre	同	百倍 55.43525
1 Kilolitre	同	千倍

備考

上表ハ本邦度量衡法第四條ニ「リットル」ハ舛ノ二千四百〇一分ノ千三百三十一トアリ之ニ依リ算出ス

名稱略字左ノ如シ(大正十三年勅令第十七號參照)

立方センチメートル		cc
ミリリットル	(リットルノ千分ノ一)	ml 又ハ 託
デシリットル	(同 十分ノ一)	dl 又ハ 分
リットル	(立方デシメートル)	l 又ハ 立
ヘクトリットル	(百リットル)	hl 又ハ 頭
キロリットル	(千リットル)	kl 又ハ 軒

以上孰レモ液體、瓦斯體、粒狀物又ハ粉狀物ノ量

Gallon Measures		
1 Gallon (Standard)	^米 升 2.09846	^ヤ トル 3.78543

備考

上表ハ本邦度量衡施行令第一條ニ「ガロン」ハ舛ノ五萬分ノ十萬四千九百二十三トアリ之ニ依リ算出ス

英 Gallon (Imperial) ハ本邦度量衡法ニ其ノ根基ヲ有セサルモ普通商業上四「リットル」五四三四六ノ標準ニテ換算シ居ラルルヲ以テ税關モ亦此ノ標準率ニ依リ換算ス此ノ割合ニ依リ換算スレハ「インペリアル、ガロン」ハ二舛五一八六八ニ當ル計算トナル

Other Measures

匈牙利 1 Urna or Finer		14.305339 Standard gallon
同 1 Fars		52.545000 "
露西亞 1 Vedoro		3.249000 "
伊太利 1 Brenta		12.963170 "

墨西哥	1 Fanega	= 55.50100	litre
葡萄牙	1 Alnudo	= 4.42240	Standard gallon
同	1 Alquiro	= 13.84100	litre
	Liquid Measure			
1 Pint	= 4	Gills	
1 Quart	= 2	Pints	
1 Gallon	= 4	Quarts	
1 Quarter Barrel	= 9	Imp. gallon	
1 Half Barrel	= 18	"	
1 Barrel	= 36	"	
1 Hogshead of Ale	= 54	"	
" of Wine	= 63 or 46	"	
1 Punchion of Ale	= 84	"	
1 Butt of Ale	= 108	"	

1 Pipe of Port	= 115	"
" of Madeira	= 92	"
" of Marsola	= 93	"

三、 量

Metric Weights

Milligramme	「キログラム」ノ百萬分ノ一	0.00026	$\frac{1}{3}$ 斤
Centigramme	同	0.00266	$\frac{0.000005}{3}$
Decigramme	同	0.02666	$\frac{0.0005}{3}$
Gramme	同	0.26666	$\frac{0.005}{3}$
Decigramme	同	2.66666	$\frac{0.05}{3}$
Hectogramme	同	26.66666	$\frac{0.5}{3}$
Kilogramme	同	266.66666	$\frac{5}{3}$ 即チ 1.666

Myriogramme 「キログラム」ノ十 倍 2666.66666... $\frac{50}{3}$ $\frac{R}{3}$ 16.666.....

備考

上表ハ本邦度量衡法第四條ニ一「キログラム」ハ貫ノ十五分ノ四トアルヲ以テ之ニ依リ算出ス而シテ一斤ハ百六十匁ナルヲ以テ又之ヲ斤ニ換算ス

English Avoirdupois Weights

Grain	$\frac{R}{3}$ 0.01728	$\frac{R}{3}$ 0.00010
Ounce	7.56000	0.04725
Pound	120.96000	0.75600
Ton	270950.40000	1693.44000

備考

上表ハ本邦度量衡法施行令第一條ニ一「ポンド」ハ貫ノ三千二百二十五分ノ三百七十八トアルヲ以テ之ニ依リ算出ス又同様ニ「グレーション」ハ「ポンド」ノ七分ノ一「オンス」ハ「ポンド」ノ十六分ノ一「トン」ハ二千二百四十「ポンド」トアルヲ以テ各其ノ率ニ依リ計算シ尙参照ノ爲メ

斤ヲ對照セリ

以下此等ノ細別名稱ヲ掲クルニ

27 1/3 Grains	=	1 Drachm	兩字 兩
16 Drachms	=	1 Ounce	兩 or oz
16 Ounces	=	1 Pound	LB or lb
28 Pounds	=	1 Quarter	qr
4 Quarters	=	1 Hundred Weight	C.W.T.
20 Hundred Weights	=	1 Ton	T

Troy Weights

30 1/6 Grains	=	1 Carat
24 Grains	=	1 Penny Weight
20 Pennyweights	=	1 Ounce
12 Ounces	=	1 Pound

備考

下表ノ計數ニ關シテハ本邦度量衡法規ニハ何等ノ規定ナキモ稅關ハ此ノ割合ニ依リ換算ス

Short and Metric Ton	
1 Short Ton	2,000 Pounds
1 Metric Ton	100 Myingramme 卽チ 1666.666..... ^斤
備考	同上
Others	
印度	Factory Mound 74. 10. 10 ^斤
	Bazaar Mound 82 ² / ₇ ”
	Donbay Mound 28 ”
	(1 Mound = 40 Seer. 1 Seer = 16 Challer)
獨逸	Pfund 1/2 Kilogramme
同	Zentner 50 ”
同	Ton 1,000 ”
	(1 Zentner = 100 Pfund. 1 Ton = 2,000 Pfunds)

露西亞	Funt	0.4095 Kilogramme
同	Pud	16.3802 ”
同	Perkovetz	163.8021 ”
	(1 Pud = 40 Funt. 1 Perkovetz = 40 Pudi)	
匈牙利	Oka	1.40090 Kilogramme
伊太利	Sibbra	0.36951 ”
葡萄牙	Arat or Libra	0.0459 ”
支那	Fiel (擔) 100斤	卽チ Caty 卅 1,008 ^斤
備考	同上	

寶石ノ重量(大正十三年勅令第百十七號參照)

一カラット(ct)ハ二〇〇ミリグラム

名稱略字左ノ如シ

ミリグラム	mg	又ハ庭
グラム	g	又ハ瓦

キログラム 百又ハ斤
 トン 十又ハ匁
 カラット 卍

増訂 改訂 關稅及稅關 (終)

大正十三年七月二十五日印刷
 大正十三年七月三十日發行

増訂 改訂 關稅及稅關
 定價金參圓五拾錢



著作者 綿貫音次郎

發行者 株式會社 巖松堂書店
東京市神田區中猿樂町二番地

印刷者 大杉直次郎
右代表者 波多野重太郎
 東京市牛込區山吹町一九八番地

發兌元 東京市神田區中猿樂町二番地 巖松堂書店
(振替東京六五五六番) (電話牛込一六五三番)

366
105

終